加西市行財政改革プラン

平成 27 年度評価検証結果

平成 28 年 9 月

加　西　市

【目次】

はじめに 1
１ 持続可能な財政基盤の確立について 2
（１）財政収支見通し 4
（２）財政指標の目標値 4
（３）歳入の確保 4
（４）歳出の最適化 4
２ 総合計画の取組について 6
（１）取組状況の概要 6
（２）取組状況の詳細 7
施策評価一覧表 8
評価シート項目説明 21

【別冊】評価シート
施策０１ 誰もが学べる学習環境づくり 1
施策０２ 主体的な青少年活動 6
施策０３ 地域で楽しめる体力づくり 8
施策０４ 出会いを求める若者の応援 11
施策０５ 特色ある教育 13
施策０６ 安全安心で潤いのある学校 22
施策０７ 地域に開かれた学校づくり 26
施策０８ 裾野の広い農業の育成 29
施策０９ 地域資源を活用した産業振興 40
施策１０ 加西に住んで働ける就労支援 50
施策１１ 加西らしい観光サービス 62
施策１２ 魅力ある中心市街地の形成 70
施策１３ 周辺地域の定住促進 82
施策１４ 公共交通網の構築 93
施策１５ 住みよい住環境 101
施策１６ 社会参加を通した生きがいづくり 109
施策１７ こころとからだの健康づくり 115
施策１８ 地域医療体制の充実 127
施策１９ 地域で支え合う安心の暮らし 133
施策２０ 防犯・防災のまちづくり 140
施策２１ 安心できる子育て支援 148
施策２２ 自然と共生する里地里山づくり 168
施策２３ 加西の風土を活かした景観づくり 174
施策２４ 省エネ・蓄エネ・創エネの推進 179
施策２５ 水環境のまちづくり 182
施策２６ ゴミ減量と資源リサイクルの推進 187
施策２７ 環境学習の推進 192
施策２８ 情報公開と住民自治のまちづくり 197
施策２９ 自己実現と共生のまちづくり 205
施策３０ 行政サービスの向上と効率経営 210

はじめに

本市では、平成 24 年 3 月に「加西市行財政改革プラン」を策定し、財政支出を厳しく抑制しながら進めてきた財政再建推進計画を継承して、第５次加西市総合計画の実施計画として定めています。平成 27 年 12 月、経済情勢の変化や税制改正等により当初計画と大きな乖離が生じてきたために、現状を反映させた計画に見直しを行いました。

このたび平成 27 年度決算が確定したため、次のとおり進捗及び内容について、評価・検証を行い、結果を公表します。

１　持続可能な財政基盤の確立について

（１）財政収支見通し

次ページに、平成 27 年度決算を踏まえた 10 年間の財政収支見通しを示しております。

まず、歳入では、市税において、税制改正に伴い法人市民税が前年度より 19 百万円減少したものの、大手企業の３年間にわたる課税免除の終了や太陽光発電設備の増加に伴い、基幹税目である固定資産税が 97 百万円増加したため、市税全体で前年度より 94 百万円の増収となりました。

また、地方交付税においては、消費増税による地方消費税交付金の増等に伴い基準財政収入額が 195 百万円増加、人口減少等特別対策事業費等にかかる基準財政需要額が 215 百万円増加、臨時財政対策債が 42 百万円減少したことにより普通交付税が前年度より 62 百万円増加しました。

さらに、譲与税・交付金では、税率引き上げの平年度化に伴い地方消費税交付金が 334 百万円増加したことにより前年度より 352 百万円増加し、その他の収入では、前年度繰越金が 111 百万円減少したことにより前年度より 97 百万円減少し、歳入全体では、平成 27 年度の決算ベースで財政収支見通しを 299 百万円上回り、前年度より 446 百万円増加しました。

一方、歳出では、人件費において人事院勧告に準拠した給料・賞与の引上げにより職員給は増加したものの、退職手当組合負担金が減少したため、前年度より 28 百万円減少しています。

扶助費において、私立保育所運営費交付金等の増に伴い前年度より 95 百万円増加し、公債費において、減税補てん債及び庁舎建設事業債等にかかる償還の減に伴い前年度より 173 百万円減少し、物件費において、子育て支援の充実にかかる賃金等の増に伴い前年度より 137 百万円増加しています。

また、投資的経費において、学校教育施設耐震化事業及び社会資本整備総合交付金事業等の増により、前年度より 79 百万円増加し、その他については、財政安定化に向けた国民健康保険特別会計繰出金及び課税免除の終了に伴う産業振興促進奨励金等の増により、前年度より 277 百万円増加しています。歳出全体では、平成 27 年度の決算ベースで財政収支見通しを 117 百万円上回り、前年度より 291 百万円増加しました。

以上の結果、平成 27 年度決算で差引収支額が 164 百万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源 26 百万円を控除した 138 百万円が平成 28 年度への繰越金となりました。

なお、行革改善額については、人件費の削減で 280 百万円の計画に対し、職員数の削減や退職手当組合特別負担金の減等により 303 百万円、事務事業の見直しについては、101 百万円の計画に対し、ふるさと納税業務の包括委託、新電力活用による電気料金削減、課税客体調査による課税強化等により 175 百万円、市有財産の売却については、2 百万円の計画に対し、法定外公共物等の売却により 3 百万円、施設の統廃合

については、25 百万円の計画に対し、保育園・幼稚園の統廃合、健康増進センターの移転、単独調理場の統廃合等により 32 百万円の効果額となりました。

【10年間の財政収支見通し】　～ 進捗状況表 ～

（単位：百万円）

項目	決算 H22		【決算】 H23	【決算】 H24	【決算】 H25	【決算】 H26	【決算】 H27	10年計画 H28	H29	H30	H31	H32
市税	6,453	新計画	6,662	6,589	6,739	6,717	6,693	6,677	6,731	6,607	6,659	6,710
		見込	6,662	6,589	6,739	6,717	6,811	6,677	6,731	6,607	6,659	6,710
		増減	0	0	0	0	118	0	0	0	0	0
地方交付税	4,450	新計画	4,381	4,282	4,058	3,912	3,970	3,690	3,717	3,648	3,711	3,696
		見込	4,381	4,282	4,058	3,912	4,009	3,690	3,717	3,648	3,711	3,696
		増減	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0
譲与税・交付金	990	新計画	958	879	925	973	1,270	1,285	1,298	1,390	1,396	1,402
		見込	958	879	925	973	1,325	1,285	1,298	1,390	1,396	1,402
		増減	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0
その他の収入	1,544	新計画	1,726	1,653	1,481	1,410	1,226	1,247	1,308	1,278	1,268	1,268
		見込	1,726	1,653	1,481	1,410	1,313	1,247	1,308	1,278	1,268	1,268
		増減	0	0	0	0	87	0	0	0	0	0
歳入計	13,437	新計画	13,727	13,403	13,203	13,012	13,159	12,899	13,054	12,923	13,034	13,076
		見込	13,727	13,403	13,203	13,012	13,458	12,899	13,054	12,923	13,034	13,076
		増減	0	0	0	0	299	0	0	0	0	0
人件費	3,101	新計画	2,553	2,430	2,393	2,475	2,475	2,481	2,483	2,486	2,457	2,463
		見込	2,553	2,430	2,393	2,475	2,447	2,481	2,483	2,486	2,457	2,463
		増減	0	0	0	0	△ 28	0	0	0	0	0
扶助費	1,002	新計画	932	1,019	996	1,008	1,012	1,020	1,029	1,037	1,046	1,055
		見込	932	1,019	996	1,008	1,103	1,020	1,029	1,037	1,046	1,055
		増減	0	0	0	0	91	0	0	0	0	0
公債費	2,018	新計画	1,964	1,897	1,718	1,735	1,561	1,631	1,588	1,620	1,715	1,830
		見込	1,964	1,897	1,718	1,735	1,562	1,631	1,588	1,620	1,715	1,830
		増減	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
物件費	1,424	新計画	1,595	1,577	1,592	1,635	1,688	1,705	1,730	1,746	1,753	1,761
		見込	1,595	1,577	1,592	1,635	1,772	1,705	1,730	1,746	1,753	1,761
		増減	0	0	0	0	84	0	0	0	0	0
投資的経費	243	新計画	403	639	939	809	878	900	900	900	900	900
		見込	403	639	939	809	888	900	900	900	900	900
		増減	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
下水道事業繰出金	1,664	新計画	1,623	1,539	1,481	1,421	1,325	1,158	990	950	940	920
		見込	1,623	1,539	1,481	1,421	1,325	1,158	990	950	940	920
		増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院事業繰出金	609	新計画	620	700	800	800	800	900	900	900	900	900
		見込	620	700	800	800	800	900	900	900	900	900
		増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,687	新計画	3,424	3,353	2,987	3,120	3,438	3,425	3,281	3,292	3,323	3,334
		見込	3,424	3,353	2,987	3,120	3,397	3,425	3,281	3,292	3,323	3,334
		増減	0	0	0	0	△ 41	0	0	0	0	0
歳出計	12,748	新計画	13,114	13,154	12,906	13,003	13,177	13,220	12,901	12,931	13,034	13,163
		見込	13,114	13,154	12,906	13,003	13,294	13,220	12,901	12,931	13,034	13,163
		増減	0	0	0	0	117	0	0	0	0	0
歳入歳出差引	689	新計画	613	249	297	9	△ 18	△ 321	153	△ 8	0	△ 87
うち行革改善額			(144)	(227)	(399)	(326)	(408)	(542)	(552)	(572)	(581)	(588)
財調・減債基金残高	1,847		2,345	2,618	2,692	2,621	2,603	2,282	2,435	2,427	2,427	2,340
歳入歳出差引		見込	613	249	297	9	164	△ 321	153	△ 8	0	△ 87
うち行革改善額			(144)	(227)	(399)	(326)	(513)	(542)	(552)	(572)	(581)	(588)
財調・減債基金残高			2,345	2,618	2,692	2,621	2,655	2,334	2,487	2,479	2,479	2,392
財調・減債基金残高		増減	0	0	0	0	52	52	52	52	52	52

（２）財政指標の目標値

健全化判断比率等、財政指標の目標値を設定し、持続可能な健全財政を目指しています。

平成 27 年度決算では、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、前年度に引き続きいずれも黒字となりました。また、実質公債費比率は、前年度 12.4%から 2.1 ポイント改善し 10.3%に、将来負担比率は、前年度 66.5%から 4.9 ポイント改善し 61.6%となりました。さらに、9 億円以内に設定された投資的・政策的経費枠に対し 8.9 億円に、6 億円に設定された市債の発行額枠（老朽施設耐震化除く）に対し 6.6 億円の決算額となりました。

６指標において一部の特殊事情を考慮すると概ね目標値を達成しており、健全財政が維持されていることが分かります。

（３）歳入の確保

歳入のうち市税等の「自主財源」の占める割合は、前年度 45.0%から平成 27 年度は 5.4 ポイント減少し 39.6%となり、行政運営の自主性と安定性が低下しています。これは、学校施設耐震化事業及び社会資本整備総合交付金事業により国庫支出金及び市債が一時的に増加したためで、次年度以降は改善される見込みです。

市税収入の確保については、経済全般の著しい好転が見られず、雇用情勢の不安定化・非正規労働者の増加が続く状況下で、一斉徴収の実施、地区別滞納整理や所在不明者の調査、短期保険証更新事務と連携した納税相談、現年分滞納者を重点とした夜間電話催告及び訪問徴収により、徴収率の向上を目指した結果、前年度 94.5%から平成 27 年度は 0.1 ポイント上昇し 94.6%となりました。

新たな財源の確保については、地方税法改正に伴うふるさと納税枠（控除上限額）の拡大に対応するため、平成 27 年 10 月より返礼品対象額を引き下げ、同ラインナップを充実させるとともに、ふるさと納税業務の包括委託を行うことで、前年度を大幅に上回る２億円超のふるさと寄附を受け付けることができました。

また、市有財産の売却については、法定外公共物をはじめとする売却可能な土地を売却し、土地売払収入は 3 百万円となりました。

（４）歳出の最適化

必要な公共サービスを安定的に提供していくためには、歳入に見合った歳出構造への転換が喫緊の課題となります。平成 27 年度決算では、固定資産税等市税収入の増加や国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」にかかる地域支援交付金の有効活用により、歳入から歳出を控除した差引収支額は 1.6 億円の黒字となり、財政調整基金積立金や取崩額を考慮した実質単年度収支は、5 千万円の黒字となりました。

人件費については、職員数の削減や退職手当組合負担金の減により 303 百万円を削減しております。

各種施設の統廃合については、公立４保育園及び３幼稚園の再編・統廃合、健康増

進センターの健康福祉会館への移転、北部学校給食センター建設に合わせた単独調理場５施設統廃合により 32 百万円を削減しております。

事務事業の見直しについては、従来からの継続分 26 項目に加え、新たに追加分としてふるさと納税業務の充実・包括委託等 17 項目に取り組むことより 175 百万円を削減しております。

今後とも、行財政改革プランに基づき、歳出の重点化・効率化に取り組み、最終年度において標準財政規模の２割程度の基金を維持できるよう、持続可能な財政運営に向けて取り組んでまいります。

２　総合計画の取組について

行財政改革プラン第３編第２章は、第５次加西市総合計画の実施計画として、重要なまちづくりの課題等を解決するために、市が向こう３ヵ年度に実施する具体的な事業を社会情勢や財政状況を考慮して選択し取りまとめた短期計画です。この実施計画の進捗管理についてはＰＤＣＡマネジメントサイクルにより実施し、毎年度評価検証を行い、結果を公表します。そして、市民の目線で事業の効果や方向性についてのチェック機能を加えたうえで、新しい３ヵ年（平成 28 年度～30 年度）の行財政改革プランに改定します。

（１）取組状況の概要

後期期基本計画に掲げられた取り組みは全部で 30 施策（196 事業）ありますが、28 年度から着手する事業等を除いた検証可能な 189 指標の進捗や到達度等を基に 30 施策について評価・検証したところ、次の結果となりました。

各施策の評価・検証については、27 年度単年度の指標達成率のほか事業内容・規模等にも配慮しながら事業毎の到達度を「Ｓ（目標を大きく上回って達成)」、「Ａ（目標を上回って達成)」、「Ｂ（目標を達成)」、「Ｃ（目標を下回っている)」、「Ｄ（目標を大きく下回っている)」の５段階で評価のうえ、施策全体の総合評価を、同様の５段階区分で評価しました。

全体として一番多いのはＢで 22 施策、次いでＡの５施策となっており、Ｓは１施策のみで、Ｃは２施策となっています。今回の評価・検証は、総合計画の後期計画の現状値となる平成 27 年度数値が見込み通りだったか確認の年度となっています。初年度でもあり、概ねＢ評価が多くなっており、各事業の指標の単年度達成率から算出した全体の単純平均値は、108％となっています。

なお、地域創生戦略に掲上した 95 事業については参照できるよう、施策評価一覧表等に戦略アクションプランの整理番号を明示しています。

基本政策	総合評価（１次評価）					達成率（単年度）
	S	A	B	C	D	
1　明日を担い未来へつなげる人づくり	1		3			136%
2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり		1	2			109%
3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり		1	3			126%
4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり		1	2	1		111%
5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり			3			102%
6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり			3			107%
7　自然環境の保全と特色ある景観づくり			2			93%
8　循環型社会をめざす生活環境づくり		2	1	1		89%
9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西			2			76%
10　健全な行財政運営の確立			1			98%
合計	1	5	22	2	0	108%
割合	3.3%	16.7%	73.3%	6.7%	0.0%	

（２）取組状況の詳細

次ページ以降に示します。

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
									区分	単年（H27）	最終（H32）					
1	1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	1	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	80	B	②	B	公民館活動の活性化を図り、新たに小学校で、土曜日に教育活動事業等を実施するほか、図書館で、学校図書館と連携して学校託送や読み聞かせの出前講座等を行いました。文化ホール改修中にも関わらず文化祭はチラシ作成・配布等により前年度を上回る出品となりました。	学校休業日の教育活動は、新しい校区での実施等を目指すほか、アスティアかさいと連携しながら図書館の来館者増を図ります。文化連盟の会員の固定化・高齢化により自律・発展的な活動が困難な状況なのでさらなる指導・支援が必要となっています。
			2		2	教育委員会	生涯学習課	②	B	83	42	C	②			
			3		3	教育委員会	図書館	②	A	100	92	B	②			
			4		4	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	102	102	B	②			
			5	5-83	5	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	60	B	②			
1	2	主体的な青少年活動	1		6	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	60	B	②	B	市外の若者団体との交流や各種イベントに参加するとともに、加西サイサイまつり等の企画運営に携わるほか、ジュニアリーダー教室等の指導者として参加しました。	就職等によりジュニアリーダー活動から離れた若者が、再加入できるよう継続的な情報提供をするとともに、新規メンバーの獲得のため広報活動を充実します。
			2		7	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	60	B	②			
1	3	地域で楽しめる体力づくり	1		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	99	B	②	B	屋内ゲートボール場の改修、ぜんぼうグリーンパークの排水工事を実施し、利用者の利便性向上を図りました。また、環太平洋大学による指導者養成講座や各種スポーツ教室を開催しました。	各種スポーツ教室の開催にあたって、市内スポーツ団体等との連携、市民が参加しやすい環境整備を行うとともに、指導者の育成が必要です。
			2		9	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	110	88	B	②			
			3		10	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	118	88	B	②			
1	4	出会いを求める若者の応援	1	1-17	11	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	116	110	A	③	S	官民連携によるカップリングパーティの実施により、良質な事業をリスクなく効率的に進められ、加西市の資源を有効活用することができました。	婚活推進に民間活力の導入をさらに進めます。
			2		12	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	500	250	S	④			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
2	5	特色ある教育	1	5-82	13	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	33	B	②	B	小中連携のため、小中合同研修会、教育推進委員会、研修講座を実施するほか、外国人語学指導助手（ALT）を6名確保し、英語科・外国語活動の充実を図りました。北条高校活性化協議会を実施主体にアフタースクールゼミ等を行いました。	小中連携による9年間のカリキュラムの検討など、小中連携推進プランに基づく取組を強化するとともに、小学校外国語活動に係る教員の指導力向上研修の充実を図ります。 市内普通科高校の4クラスを堅持するため引き続き支援を行う必要があります。
			2		14	教育委員会	学校教育課	②	A	100	86	B	②			
			3		15	教育委員会	教育総務課	②	A	100	11	B	②			
			4		16	教育委員会	学校教育課	②	B	80	80	C	②			
			5		17	教育委員会	学校教育課	②	A	100	60	B	②			
			6		18	教育委員会	総合教育センター	②	A	240	90	B	②			
				5-86				②	A	100	100					
			7	5-85	20	教育委員会	学校教育課	①	H28新規	－	－	－	②			
			8	5-87	21	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	104	83	B	②			
2	6	安全安心で潤いのある学校	1		22	教育委員会	教育総務課	③	A	100	100	A	①	A	賀茂・下里・九会小学校の耐震化工事、西在田・富田小学校の地震改築工事、富田・西在田小学校太陽光発電設備設置工事を完成し、耐震化及び地震改築により耐震化率は100%となりました。	昭和56年以降に建設された建物は改修を行っていないため、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要となっています。
								③	A	100	100					
				5-84				③	S	100	100					
			2		24	教育委員会	教育総務課	①	H28新規	－	－	－	②			
			3		25	教育委員会	教育総務課	①	H28新規	－	－	－	②			
2	7	地域に開かれた学校づくり	1	6-93	26	教育委員会	学校教育課	②	A	100	93	B	②	B	各校で地域の方々をゲストティーチャーとして招き、「生きる力」の育成を図るとともに、ワッショイスクール事業の充実により安全確保に努めるほか、全校でオープンスクールを実施し、日常の学校生活を公開しました。	学校として希望する内容を指導できる人材の確保を目指すとともに、オープンスクール実施は地域への周知を図り、参加者増をめざします。
			2		27	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	100	B	②			
			3		28	教育委員会	学校教育課	②	A	100	67	B	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
3	8	裾野の広い農業の育成	1	4-65	29	地域振興部	農政課	②	B	100	33	B	②	A	営農組織化及び法人化推進講座、冬至かぼちゃのブランド化、市民農園設立支援を推進するとともに、新規就農は4名認定し、集落営農及び個人農家の法人化のほか、ICTを活用した施設は平成27年8月に竣工しました。	JAと連携したアスパラガスの生産を推進するとともに、切れ目のない就農支援や大規模経営がない地区での担い手参入とICTを活用した施設園芸の普及促進を行います。大学サテライトキャンパスの設置については調査研究を進めます。
				3-60				②	A	100	50					
			2	2-46	31	地域振興部	農政課	②	B	50	33	C	②			
			3	3-62	32	地域振興部	農政課	②	A	108	61	A	②			
				2-47				②	S	300	150					
			4		34	地域振興部	農政課	②	S	100	90	B	②			
				2-49				②	S	150	150					
				2-50				②	S	500	250					
			5		36	地域振興部	農政課	②	B	50	48	C	②			
			6		37	地域振興部	農政課	③	A	100	100	B	①			
			7	2-48	38	地域振興部	農政課	③	A	100	50	B	②			
			8	3-59	39	ふるさと創造部	人口増政策課	①	H28新規	－	－	－	②			
3	9	地域資源を活用した産業振興	1	4-66	40	地域振興部	農政課	②	A	300	60	A	②	B	加西産野菜を使ったオリジナルメニューを開発し学校給食の一部で使用を始めるほか、共通商品券事業、宿泊施設誘致に向けた調査検証を行いました。加西市観光まちづくり協会では、市内外の物産展に12回出展しました。新産業団地候補地は絞り込み等を実施しました。	仕入コストや流通ルート等の費用対効果を勘案しながら、給食で必要な量の確保や提供タイミングの検討が課題です。宿泊施設の事業者選定等の取り組みを行います。加西産品のPRのため市内外の物産展等に積極的に参加するほか、新産業団地整備のため、県関係機関との協議を行います。
			2		41	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②			
			3	2-52	42	地域振興部	産業振興課	②	A	104	94	A	②			
			4		43	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	86	67	B	②			
				3-57				②	S	100	71					
			5		45	地域振興部	産業振興課	②	A	95	89	C	②			
			6	4-67	46	地域振興部	産業振興課	②	A	104	94	A	②			
			7	2-39 4-68	47	都市整備部	都市計画課	②	B	91	89	C	②			
			8		48	地域振興部	産業振興課	②	調査	－	－	B	②			
			9	3-56	49	地域振興部	産業振興課	①	H28新規	－	－	－	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
									区分	単年（H27）	最終（H32）					
3	10	加西に住んで働ける就労支援	1		50	地域振興部	産業振興課	②	A	101	93	B	②	B	市内出身者の多い15大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めるとともに、ふるさとﾊﾛｰﾜｰｸを運営し就職の促進を図るほか、女性や社会的弱者に対する相談体制を構築しました。出産や子育てのために未就業の女性のための講座の経費の一部を助成する制度を創設しました。 UJIターン促進補助金の交付、加西市PR動画制作による定住促進や若者起業支援により、ピザ店舗開業に至り、他にも相談案件があり内1件は平成28年度中に開業予定となっています。	就職ポータルサイトの見直しとサイトの強化、就職支援セミナーの実施回数増や内容の充実を図ります。子育てママ就職支援補助制度の対象と利用者の拡大を図るほか、UJIターン促進補助金については、アンケート結果等を踏まえ適宜見直しを行います。また、起業・創業については、起業後のフォローアップの関係づくりが必要です。
				2-37				②	A	98	82					
			2		52	地域振興部	産業振興課	②	A	106	86	A	②			
			3		53	地域振興部	産業振興課	②	A	103	90	B	②			
				2-34				②	A	98	82					
			4	2-38	55	地域振興部	産業振興課	②	A	100	10	B	②			
			5	2-32	56	地域振興部	産業振興課	①	H28新規	－	－	－	②			
			6	2-33	57	地域振興部	産業振興課	②	A	95	82	C	②			
			7	2-36	58	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	30	B	②			
			8	2-41	59	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	100	B	②			
			9	2-42	60	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	100	80	B	②			
			10	2-45	61	地域振興部	産業振興課	②	A	167	71	A	②			
3	11	加西らしい観光サービス	1		62	教育委員会	生涯学習課	②	B	80	53	C	②	B	五百羅漢石仏調査を文化財サポーター活動として実施しました。「玉丘古墳」の特別展の開催、「青野原俘虜収容所開設100周年事業」として冊子の作成やイベント開催のほか、戦後70年の節目として戦争遺産シンポジウムの開催、加西喝采みやげ事業の創設、各種ガイドマップ等の作成、五百羅漢公衆トイレ整備事業などに取り組みました。	平成28年度から歴史文化基本構想の策定に着手し日本遺産申請をめざすため、文化や観光部局、住民活動等、横断的な組織づくりと運用が必要となります。加西市の魅力を発見する新たなプログラムの発掘と体験交流プログラムづくりに取り組む団体の育成が必要です。
			2		63	教育委員会	生涯学習課	①	H28新規	－	－	－	②			
			3		64	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	66	A	②			
				3-58				②	S	137	67					
			4		66	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	86	B	②			
			5	2-51 6-92	67	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	211	80	A	②			
			6	3-54	68	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	10	B	②			
			7	3-55	69	ふるさと創造部	人口増政策課	①	H28新規	－	－	－	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
									区分	単年（H27）	最終（H32）					
4	12	魅力ある中心市街地の形成	1		70	総務部	管財課	②	協議	－	－	C	②	B	未利用地は近畿財務局や市のHPで情報を発信するなどし、太陽光発電設備や倉庫用途として複数協議を行ったものの宅地利用はなく、市有地売却は、道路残地の限られたものでした。 平成27年度より、区画整理事業の工事に着手するため候補地の役員との勉強会を4回開催しました。空き店舗補助制度、オフィス立地補助制度を創設のほか、創業支援事業を実施しました。 宅地供給促進補助金の交付により、市街化区域の土地の流動化を図り、住宅建築による定住促進を推進しました。	旧消防署跡地は形状が不整形なため未売却であり、東南住宅跡地については隣地の開発状況を見ながら売却方法を検討していくほか、旧庁舎跡地については北条市街地という点から活用検討していきます。 市街地の補助事業の周知と助成内容の拡充が必要で、土地活用アンケート調査を実施し、地域住民の合意形成を図るほか、空き店舗補助制度、創業支援事業、空き家バンクについて関係機関と連携した取り組みを進めていきます。
			2	1-31	71	都市整備部	都市計画課	②	工事	－	－	B	②			
			3		72	都市整備部	都市計画課	②	A	80	80	C	②			
								②	A	100	100					
			4		74	地域振興部	産業振興課	②	B	84	84	C	②			
				2-40				②	A	0	0					
				2-43				①	H28新規	－	－					
				2-44				②	A	100	27					
			5	4-77	76	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	40	B	②			
			6	1-25	77	都市整備部	都市計画課	②	地元調整	－	－	B	②			
			7・8	1-27	78	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	96	35	C	②			
			9	1-28	79	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	67	B	②			
			10	4-74	80	ふるさと創造部	人口増政策課	①	H28新規	－	－	－	②			
			11	4-78	81	都市整備部	都市計画課	②	S	200	13	A	②			
4	13	周辺地域の定住促進	1	3-63	82	ふるさと創造部	人口増政策課	①	H28新規	－	－	B	②	A	新規居住者の住宅区域での住宅建築に対する公共インフラの助成、飛行場周辺整備計画の策定を行うほか、ベルデしもさとは28戸完売となりました。新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施し、産業(工業)団地及び市外在住者等へ定住周知を図りました。 ふるさと創造会議にお試し住宅の運営等の説明と必要な制度の検討を行うほか、ひょうご田舎暮らし・多自然地域支援協議会に加入し、セミナー等へ参加しました。	新規居住者区域の勉強会や土地利用計画の策定、飛行場周辺整備の核施設の整備計画の具体化、第二のベルデ計画候補地の開発を進めていきます。 定住促進の補助制度を活用し周知徹底を進め、若者世帯の流出を防ぐ必要があります。地域の移住受入の機運を高めることが最初の課題と捉え、必要な施策・支援策を検討する必要があります。
				3-64				②	A	400	40					
				4-76				②	A	100	20					
			2		84	都市整備部	都市計画課	②	A	100	30	B	②			
			3	1-26	85	地域振興部	産業振興課	②	S	106	74	A	②			
				1-30				②	S	110	81					
			4	4-75	87	都市整備部	都市計画課	②	調査	－	－	B	②			
			5	3-53	88	都市整備部	都市計画課	②	A	100	50	B	②			
			6		89	都市整備部	都市計画課	②	A	108	108	B	②			
			7	1-24	90	都市整備部	都市計画課	②	A	100	14	B	②			
			8	1-29	91	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	60	B	②			
			9	2-35	92	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	200	67	A	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
4	14	公共交通網の構築	1 2 6 9	1-1 4-69 4-71	93	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	95	60	C	②	C	平成26年度実施したコミバス再編検討調査結果に基づき、増便など再編に取り組みました。公共交通活性化協議会では「地域主体型交通導入の手引き」「かさいおでかけナビ」を作成し、北条鉄道においては、踏切設備更新など国・県・小野市と共に補助を行いました。	公共交通が移動の選択肢となるよう、定期的な情報提供を行います。また、公共交通不便地域の解消をめざす各施策と調整しながら、効率的な交通網形成をめざします。
								②	A	98	92					
			3	1-1 4-71	95	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	95	60	C	②			
			4	1-1 4-69 4-71	96	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	95	60	C	②			
								②	A	98	92					
			5	4-69	98	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	98	92	C	②			
			7・8	1-1 4-69 4-71	99	ふるさと創造部	人口増政策課	①	H28新規	－	－	－	②			
								①	H28新規	－	－					
4	15	住みよい住環境	1		101	都市整備部	都市計画課	②	A	100	92	B	②	B	史跡整備基本計画の策定が完了するとともに、指定管理者による適切な公園管理を実施しました。基幹道路網整備と集落道路の改良工事及び歩道の整備とともに、橋梁修繕工事及び河川修繕工事に取り組みました。	基本計画に従い、順次、史跡整備（笹塚古墳・マンジュウ古墳・玉丘古墳）を実施します。公園利用者の更なる増加と計画的な道路整備、橋梁・河川修繕を推進します。
			2		102	教育委員会	生涯学習課	②	計画策定	－	－	B	②			
			3	4-70	103	都市整備部	土木課	②	A	100	4	B	②			
								②	A	100	11					
			4		105	都市整備部	土木課	②	A	100	96	B	②			
			5		106	都市整備部	土木課	②	S	180	36	A	②			
			6		107	都市整備部	土木課	②	A	100	29	B	②			
			7		108	都市整備部	土木課	②	B	0	0	C	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
5	16	社会参加を通した生きがいづくり	1		109	教育委員会	生涯学習課	②	S	107	99	A	②	B	公民館における高齢者講座について、情報提供を積極的に行うほか、講座の運営委員会の自主運営で事業を実施するなど、高齢者講座の活性化を進めました。	高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営をめざします。高齢者講座のボランティアの確保が難しくなっている現状にあります。 CCRC構想について、具体化に向けた調査研究の前段階として、事例等の資料収集を行います。
			2		110	健康福祉部	長寿介護課	②	A	92	81	C	②			
			3		111	健康福祉部	長寿介護課	②	A	101	70	B	②			
			4		112	健康福祉部	地域福祉課	②	A	120	108	A	②			
			5		113	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	72	B	②			
			6	3-61	114	ふるさと創造部	人口増政策課	①	H28新規	－	－	－	②			
5	17	こころとからだの健康づくり	1		115	健康福祉部	健康課	②	A	98	76	B	②	B	がん検診無料クーポンの配布、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種助成、検診・健康相談の実施、野菜摂取を主眼とした食育の推進等を行うとともに健康増進計画「（第2次）健康かさい21」計画を策定しました。また、歩くまちづくり条例に基づき、運動ポイント事業を実施しました。	食育や睡眠・休養の大切さなどに関して更に積極的な周知が必要で、インセンティブの充実も行い運動ポイント事業の参加者の拡大を図ります。 また、不妊治療助成については回数制限を撤廃し、不育症治療費の助成事業を新たに開始します。
				5-80				②	A	120	87					
			2	1-2	117	健康福祉部	健康課	①	H28新規	－	－	－	②			
			3		118	健康福祉部	健康課	②	A	（5年に1回調査）		B	②			
								②	A	100	52					
			4		120	健康福祉部	健康課	②	A	100	91	B	②			
			5		121	健康福祉部	健康課	②	A	100	79	B	②			
			6		122	健康福祉部	健康課	②	A	100	81	B	②			
			7		123	健康福祉部	健康課	②	A	（5年に1回調査）		B	②			
								②	A	（5年に1回調査）						
								②	A	100	78					
			8	1-19	125	健康福祉部	健康課	②	A	98	73	C	②			
			9	5-79	126	健康福祉部	健康課	②	A	100	25	B	②			
5	18	地域医療体制の充実	1		127	加西病院		②	A	101	66	B	②	B	救急救命講習会を4中学校で初めての実施、医師・看護師医療技術職員の研修を積極的に受入ました。超音波画像診断装置、生体情報モニター等の高度医療機器を更新しました。 地域医療市民フォーラムを開催して医療・保健・福祉・介護等についての課題の共有を図るほか、医師会による休日診療に加え、平成27年度より歯科医師会による年末年始の休日歯科診療を実施しました。	医療や介護が必要となっても安心して地域で生活できる仕組みを構築するため、医療と介護の具体的な連携のあり方を検討します。市立加西病院以外の産婦人科医院は必要であると考え、誘致の具体化を図ります。
			2		128	加西病院		②	B	98	86	B	②			
			3		129	健康福祉部	健康課 福祉企画課	②	A	100	91	B	②			
			4		130	健康福祉部	福祉企画課 健康課 長寿介護課	②	A	100	76	B	③			
			5		131	健康福祉部	健康課	②	A	100	100	B	②			
			6	1-4	132	ふるさと創造部	人口増政策課	①	H28新規	－	－	－	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
6	19	地域で支え合う安心の暮らし	1		133	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	A	100	86	B	②	B	認知症対策として、あったか声かけ作戦、認知症カフェの設立（市内3カ所）などを行い、地域で支え合う環境づくりを行いました。障がい者に対しては地域活動支援センターの活動を支援することによって障がい者の日中における活動の場の確保を図りました。	障がい者の生活介護サービス及び地域移行支援の拠点となるグループホームの設置支援を行います。高齢者の在宅生活を支える生活支援コーディネーターを設置して、より在宅生活を進めるうえでの相談体制の充実と円滑なサービスの提供を図ります。
								②	A	100	87					
			2		135	健康福祉部	長寿介護課	②	A	74	74	C	②			
			3		136	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	A	97	97	C	②			
			4		137	健康福祉部	長寿介護課	②	A	100	60	B	②			
			5	5-81	138	健康福祉部	長寿介護課	①	H28新規	－	－	－	②			
			6		139	健康福祉部	長寿介護課	②	A	125	91	A	②			
6	20	防犯・防災のまちづくり	1		140	総務部	危機管理課	②	A	100	92	B	②	B	防災対策については自主防災組織の育成に取り組んだほか、防犯対策では、子どもの安全を確保する取組として、登下校時の防犯パトロールを行うとともに、防犯カメラ、防犯灯の設置も予定通り行いました。	空き家対策については、条例、空き家特措法により解決することが望ましいため、対策計画の策定と補助のあり方を検討します。
			2	5-89	141	総務部	危機管理課	②	A	97	48	A	②			
								②	S	260	130					
			3		143	総務部	危機管理課	②	A	100	88	B	②			
			4		144	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②			
			5		145	総務部	危機管理課	②	A	100	102	B	②			
			6		146	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②			
			7		147	総務部	危機管理課	②	A	114	16	B	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】･･･①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】･･･S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】･･･S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】･･･①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】･･･S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
6	21	安心できる子育て支援	1	1-6	148	教育委員会	こども未来課	②	A	100	100	B	②	B	学童保育の対象年齢を小学6年生まで拡充するとともに、北条東小に学童保育専用棟を整備したほか、4･5歳児の保育料無料化を実施するための制度設計を行いました。 中学3年生までの医療費無料化に加え、指定難病等の対象者に対して、自己負担分について助成制度を新設しました。 ひとり親家族及び第3子以降が小学生以下の下水道基本料金を減免するとともに、乳幼児保護者世帯や生活保護世帯等に対して指定ごみ袋の支給を行いました。	ほとんどの学童保育園において、定員に空きがなくなってきているため、教室と指導員の確保が課題です。保育料の無料化について、対象年齢を引き下げると、利用者数増加が見込まれるため、設備や保育士の確保が課題となります。子育て世代包括支援センター「すくすく相談窓口」を設置し、相談窓口機能をより充実させ、関係機関との連携を十分とりながら、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行う仕組みをつくります。下水道料金の減免範囲の見直し検討が必要で、ごみ袋についてもごみ処理の広域化等に伴い制度見直しが必要となります。
			2	1-20	149	健康福祉部	健康課	②	A	95	93	C	②			
			3	1-6	150	教育委員会	こども未来課	②	A	100	100	B	②			
			4		151	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	44	B	②			
			5	1-23	152	教育委員会	こども未来課	②	A	100	100	B	②			
			6	1-22	153	教育委員会	こども未来課	②	A	100	71	B	②			
			7	1-12	154	教育委員会（ふるさと創造部）	こども未来課（人口増政策課）	②	A	100	100	B	②			
				1-7				①	H28新規	－	－					
			8	1-13	156	教育委員会	こども未来課	②	S	137	82	A	②			
			9	1-21	157	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	92	B	②			
			10	1-18	158	健康福祉部	国保医療課	②	A	99	96	C	②			
			11	1-3	159	健康福祉部	健康課	①	H28新規	－	－	－	②			
			12	1-5	160	健康福祉部	地域福祉課	①	H28新規	－	－	－	②			
			13	1-8	161	地域振興部	産業振興課	①	H28新規	－	－	－	②			
			14	1-9	162	健康福祉部	地域福祉課	①	H28新規	－	－	－	②			
			15	1-10	163	ふるさと創造部	人口増政策課	①	H28新規	－	－	－	②			
			16	1-11	164	教育委員会	こども未来課	①	H28新規	－	－	－	③			
			17	1-14	165	教育委員会	こども未来課	②	B	83	17	C	②			
			18	1-15	166	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	113	90	A	②			
			19	1-16	167	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	83	67	C	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】･･･①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】･･･S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】･･･S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】･･･①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】･･･S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
7	22	自然と共生する里地里山づくり	1		168	地域振興部	農政課	②	B	80	80	C	②	B	里山整備は4町、4団体、計8団体で実施し、企業の森活動フィールド候補地として市内1箇所を登録しました。獣害防護柵を13町で設置のほか、営農組織化や新規参入を積極的に推進しました。あびき湿原に300mの防鹿柵を設置し生態系の保全を図るとともに自然環境の保全の啓発を目的として兵庫県立人と自然の博物館との連携事業を実施しました。	地元主体の里山整備、企業の社会貢献森林活動、狩猟者の世代交代の支援のほか、耕作放棄樹園地の再整備が課題です。あびき湿原以外の自然資源の保全と活用を進める仕組みづくりや人と自然の博物館との連携事業の参加人数を増やす工夫が求められています。
			2		169	地域振興部	農政課	②	B	0	0	C	②			
			3		170	生活環境部	環境課	②	S	100	200	A	②			
			4		171	地域振興部	農政課	②	B	100	7	C	②			
			5		172	地域振興部	農政課	②	S	76	95	A	②			
			6		173	地域振興部	農政課	②	A	110	138	C	②			
7	23	加西の風土を活かした景観づくり	1		174	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	50	B	②	B	播磨国風土記1300年記念事業、四季報「ぷらっと加西」、「加西ふーど記」の発行、定住自立圏の取組として「のぼってみよう北はりま」を発行しました。フォトコンテストを4回開催し、加西市の良さをPRしました。違反屋外広告物パトロール、開発条例に基づきトラブル防止に努めました。市老連の協力により、花の苗を6万ポット育成し市内花いっぱいまちづくりを進めました。	市民に愛着と誇りを持っていただくため、加西市の地域資源に光を当てていく必要があります。 違反広告物の指導、開発事業者のトラブル防止、花の苗育成は、継続実施する必要があります。
			2	6-92	175	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	79	B	②			
			3		176	都市整備部	都市計画課	②	A	138	39	B	②			
			4		177	都市整備部	都市計画課	②	A	117	117	B	②			
			5		178	都市整備部	都市計画課	②	A	100	100	B	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
									区分	単年（H27）	最終（H32）					
8	24	省エネ・蓄エネ・創エネの推進	1		179	生活環境部	環境課	②	A	99	104	A	②	A	デマンド監視システムの運用により、市庁舎の電気使用量は前年比1%削減を達成しました。太陽光発電補助金、電気自動車補助金の実施と、大規模太陽光発電施設に対する指導、助言を行うほか、ベルデしもさとの分譲にグリーンハウス建築促進補助を行いました。	住環境に配慮した大規模太陽光発電施設の設置を担保する制度が必要です。 新たな分譲地についての制度設計の検討を行う必要があります。
			2		180	都市整備部	都市計画課	②	A	100	36	B	③			
			3		181	生活環境部	環境課	②	S	129	64	S	①			
8	25	水環境のまちづくり	1		182	生活環境部	上下水道課	②	A	100	96	B	②	B	配水管の耐震化3,050m、水洗化率の低い地区の戸別訪問(400軒)とともに水洗化促進補助金の創設し8,700千円（63軒）交付しました。 また、兵庫県企業庁への料金値下げ要望、市川町と単価交渉を実施したほか、透水性舗装に取り組みました。	耐震化事業費確保が困難になっていること、高齢者世帯、生活困窮世帯等への水洗化普及が課題です。処理施設の統廃合、新配水池の整備、配水池の統合による経費削減と災害対策、受水単価交渉を継続します。また、引き続き透水性舗装に取り組みます。
			2		183	生活環境部	上下水道管理課	②	A	100	96	B	②			
			3		184	生活環境部	上下水道課	②	B	0	0	C	②			
			4		185	生活環境部	上下水道管理課	②	A	100	99	B	②			
			5		186	都市整備部	土木課	②	A	100	6	B	②			
8	26	ゴミ減量と資源リサイクルの推進	1		187	生活環境部	環境課	②	A	100	90	B	②	A	剪定枝、小型家電、古繊維、古紙、電池、蛍光灯、廃食用油などの再資源化、資源集団回収への補助金実施を行いました。また、加西市クリーンセンターでリサイクルプラザを実施し、普及啓発と再利用を促進しました。	より一層の、ごみ減量化、リサイクル率向上を図る施策が必要です。
			2		188	生活環境部	環境課	②	A	101	104	B	②			
								②	A	95	91					
			3		190	生活環境部	環境課	②	A	97	87	C	②			
			4		191	生活環境部	環境課	②	A	100	98	B	②			
8	27	環境学習の推進	1		192	教育委員会	生涯学習課	②	B	25	10	D	②	C	こどもや高齢者を対象とした環境学習講座を実施したほか、地域と連携し「あびき湿原レジャー養成講座」を開催し、小学校では希少生物調査活動等の環境体験学習を実施し、教員対象の環境学習を実施しました。商工会議所と連携して、環境マネジメントシステムの普及セミナーを実施したほかエコアクション21の10周年記念大会に招待され、市に感謝状をいただきました。	公民館における環境保全ボランティア養成について、自主活動へ移行をめざすとともに小学校において、平成２８年度は「あびき湿原」での実地体験学習を展開します。EA21、ISO14001の認証登録には多額の費用を要するため、継続しない中小事業者が増えており少ない費用負担で環境に配慮した経営を継続してもらる仕組み作りが必要です。
			2		193	教育委員会	生涯学習課	②	B	58	46	D	②			
			3		194	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②			
			4		195	生活環境部	環境課	②	A	98	98	B	③			
			5		196	教育委員会	学校教育課 総合教育センター	②	A	100	40	B	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
									区分	単年（H27）	最終（H32）					
9	28	情報公開と住民自治のまちづくり	1		197	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	C	②	B	地域おこし協力隊を2名採用し、地域住民とともに地域課題に取り組み市内外の若い世代へ刺激を与えています。市内11小学校区で「加西ふるさと春ミーティング2015」を実施しました。	地域おこし協力隊の人材確保が困難となっています。またふるさと創造会議の取組は、地域差があり課題です。
				6-91				②	A	100	100					
			2		199	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	90	54	B	②			
				6-90				②	S	100	8					
			3		201	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	H28新規	－	－	－	②			
			4	4-73	202	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	114	73	B	②			
			5		203	ふるさと創造部	秘書課	②	A	100	100	B	②			
			6	4-72	204	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	H28新規	－	－	－	②			
9	29	自己実現と共生のまちづくり	1		205	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	48	40	C	②	B	若者の起業支援・商業誘致、女性創業者の育成を行いました。国際交流としては、外国人親子のための学習サポート教室を実施しました。人権においては、各種学習会等を開催しました。	外国人親子への学習サポートや支援者の増員と研修を充実させる必要があります。人権学習会では、自治会の役員に固定化されてしまう傾向が強いため、見直しが必要です。
			2		206	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	34	23	C	②			
			3		207	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	40	B	②			
			4		208	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	43	26	B	②			
			5		209	ふるさと創造部	人権推進課	②	A	108	86	B	②			

平成27年度評価

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延　　※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価（施策単位）】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本政策	施策		枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価（1次評価）								
						部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針	総合評価	H27取組状況	課題と今後の取組
10	30	行政サービスの向上と効率経営	1		210	総務部	総務課	②	A	100	102	B	②	B	策定から3年を経過した行財政改革プランを平成27年12月にリニューアルしました。加西市地域創生戦略を反映させた第5次加西市総合計画後期基本計画を策定したほか、姫路市を中枢都市とした播磨圏域連携中枢都市圏、加西市・加東市を中心市とした北播磨広域定住自立圏を形成しました。	少子高齢化が進む中、社会保障、子育て支援等の多様化する住民ニーズに対応した歳出の重点化・効率化に取り組み、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持することで、持続可能な財政運営をめざします。 広域の圏域自治体と協力し事業実施を行うため、その進捗管理の手法を検討する必要があります。
			2		211	総務部	総務課	②	A	100	67	B	②			
			3・8	6-95	212	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	93	B	②			
			4		213	総務部	管財課	②	計画策定	－	－	B	②			
			5	6-94	214	総務部	財政課	②	A	102	110	B	②			
								②	A	98	101					
								②	A	98	129					
								②	S	88	95					
			6		216	総務部	税務課	②	A	100	97	B	②			
			7		217	総務部	管財課	②	A	100	87	B	②			

評価シート項目説明

次ページからの評価シート（個票）については、以下の項目に基づき記載しております。なお、評価対象は、前年度（今回は平成 27 年度）の取組内容となります。

1. **基本政策**
   総合計画に基づき基本政策番号、基本政策名を記載しています。
2. **施策**
   総合計画に基づき施策番号、施策名を記載しています。
3. **到達目標**
   総合計画に基づき５年後の到達目標を記載しています。
4. **関連課名**
   総合計画に基づき行政の取り組みに関係する課名を施策単位で記載しています。
5. **基本計画**
   総合計画に基づき行政の取り組み（取組毎）に記載しています。
6. **主管部課**
   総合計画に基づき行政の取り組みに関係する主管部課名を記載しています。
7. **実施スケジュール**
   取組内容は、前年度に策定した加西市行財政改革プランの内容を記載しています。地域創生戦略アクションプランから総合計画に追加分は、新たに記載しています。
   経費は、平成 27 年度評価検証より新たに項目を追加しております。
8. **指標名・目標・実績・目標数値の達成度**
   取り組みの進捗状況を確認するための数値として、原則、指標を設けております。その目標数値、実績数値及び目標数値の達成度を記載しています。
9. **H27 取組状況**
   平成 27 年度に取り組んだ内容を記載しています。
10. **課題と今後の取組**
    H27 取組状況を踏まえた課題と今後の取組について記載しています。
11. **自己評価**
    前年度の取組状況を整理し課題と今後の取組を分析した上で、次の自己評価を行ったものを記載しています。

<table>
<tr><td colspan="2">進捗状況</td><td>①未着手、②実行中、③完了</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目標数値の達成度</td><td>区分</td><td>Ｓ：予定より早く進行
Ａ：予定通り進行
Ｂ：予定より遅延</td></tr>
<tr><td>単年（H27）</td><td>上記８の単年度を再掲</td></tr>
<tr><td>最終（H32）</td><td>上記８の最終年度を再掲</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の到達度</td><td>Ｓ：目標を大きく上回って達成
Ａ：目標を上回って達成
Ｂ：目標を達成
Ｃ：目標を下回っている
Ｄ：目標を大きく下回っている</td></tr>
<tr><td colspan="2">今後の方針</td><td>①完了、②継続、③見直し、④廃止</td></tr>
</table>

12. **実施計画**
    当年度を含む向こう３か年の取組内容、それに係る経費を記載しています。

別冊

評価シート

（平成 27 年度評価）

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1　誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	1　公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供	・同左	・同左
	経費（千円）	2,856	3,264	3,300

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★公民館主催年間講座数【5-88】 （1回だけの単発講座を除く）	目標		40	42	44	46	50	50
	実績	ー	40					
（指標及びH32目標値の設定理由） 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		80%					

H27取組状況	地域の文化やボランティア養成講座、社会課題に応じた公民館主催講座を連続講座40、単発講座13、合計53講座開催し、延434回、昨年より1,000人多い延9,510人が参加しました。生涯学習情報については市広報誌の外、新聞、チラシ、ブログやSNS等のインターネットなど、様々な媒体を活用し情報提供を行いました。
課題と今後の取組	主催講座の参加者が地域活動に参加するなど、少しずつ学習成果を還元できるようになってきました。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	80%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供	・同左	・同左
	経費（千円）	3,264	3,300	3,300
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★公民館主催年間講座数 （定義）公民館の単発講座を除く主催講座の数 （根拠）公民館主催講座の開催実績から算定 （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　講座　　現状：　40講座　　5年後：　50講座 （目標値3年）平成28年度：42講座　　平成29年度：44講座　　平成30年度：46講座			

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1　誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	2　公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の活動支援を行います。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度（公民館出前講座）参加グループ数	目標		30	35	40	45	50	60
	実績	ー	25					
（指標及びH32目標値の設定理由） 出前講座実施グループ実数。10年後に約半数のグループが実施と設定。	目標数値の達成度 単年度		83%					
	目標数値の達成度 最終年度		42%					

H27取組状況	公民館登録グループ25ｸﾞﾙｰﾌﾟが36回にわたり、市民2,300人に対して出前講座を行いました。制度の普及啓発により年々依頼が増えています。
課題と今後の取組	実施延回数や参加人数は増加しているが、実施する登録グループには偏りが見られます。多様な依頼に応じ、２年に１度は全てのグループが参画できるようコーディネートしていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	83%	42%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度（公民館出前講座）参加グループ数 （定義）公民館で学んだ学習成果を地域へ還元し、地域貢献を推進する （根拠）各公民館で社会貢献活動を実施するグループから算定 （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　グループ　　現状：　30グループ　　５年後：　60グループ （目標値３年）平成28年度：35グループ　　平成29年度：40グループ　　平成30年度：45グループ			

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1　誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	3	幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。		
主管部課	部名	教育委員会	課名	図書館

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・学校等への図書配送、出前講座等の充実 ・読書手帳導入による読書啓蒙	・学校図書館との連携強化 ・学校司書の導入 ・アスティアかさい連携による来館者増対策	・学校図書館との連携強化 ・アスティアかさい連携事業の充実
	経費（千円）	122,990	119,320	119,320

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
年間図書館来館者数（万人）	目標		23	23	23	24	24	25
	実績	26	23					
（指標及びH32目標値の設定理由） 図書館への来館者数の減少傾向をストップし、増加を目指す。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		92%					

H27取組状況	学校図書館と市立図書館の連携事業として、学校託送や読み聞かせの出前講座を行うことで子どもたちの読書推進を図るとともに、市立図書館を知ってもらうよう取組みました。また、読書手帳の導入、図書館まつりやキッズクラフト等の各種イベントを行い、図書館に足を運んでもらえるよう努めました。
課題と今後の取組	図書館に全く興味がない方に図書館を知ってもらうことが必要であるため、各種イベントを企画していきます。複合施設であるアスティアかさいの中にあるということでアスティアと連携しながら来館者増を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	92%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・学校図書館との連携の促進 ・各種イベントの実施 ・図書館資料の充実	・学校図書館との連携強化 ・アスティアかさい連携事業の充実	・学校図書館との連携強化 ・アスティアかさい連携事業の充実
	経費（千円）	119,320	119,320	119,320
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）年間図書館来館者数 （定義）加西市立図書館の年間来館者数 （根拠）集計データに基づく （担当者）図書館長 （目標値10年）当初（H22）：　26万人　　現状：　23万人　　5年後：　25万人 （目標値3年）平成28年度：　23万人　　平成29年度：　23万人　　平成30年度：　24万人			

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1　誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	4　芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・文化連盟50周年記念事業
	経費（千円）	3,206	3,509	4,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西市文化祭参加者人数	目標		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	実績	―	2,440					
（指標及びH32目標値の設定理由） 加西市文化祭参加者人数（出演者・出品者）について一定の水準を維持するよう、27年度の実績をもとに目標値として設定した。	目標数値の達成度 単年度		102%					
	目標数値の達成度 最終年度		102%					

H27取組状況	平成27年度より文化ホールの改修工事が始まったため、文化祭各事業は開催場所を移動したり、開催時期を早めるなどして対応しました。特に美術公募展は開催時期が早まることについて関係団体が神経を尖らせていたが、啓発チラシを作成・配布するなどして理解と協力を求め、結果、前年度を上回る、のべ351名の方に出品していただくことができました。 また、文化連盟事務を担っていた社会教育団体連絡協議会が解散したことをうけ、会計管理を自ら行えるよう指導を行いました。
課題と今後の取組	市文化連盟においては徐々に理解と信頼が得られつつあるが、会員の固定化・高齢化も手伝い、自律的・発展的な活動が難しくなっています。今後も継続して指導・支援を行い、市民自ら創造する芸術文化の薫り高い市民生活を目指します。 また、市が保有する文化資産の有効活用について、所属を超えて協力を求め、検討・実行します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	102%	102%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・文化連盟50周年記念事業	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・東はりま大茶会
	経費（千円）	3,509	4,000	4,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）　加西市文化祭参加者人数 （定義）　加西市文化祭における出演者・出品者のべ人数 （根拠）　同上 （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：－　現状：2,400　　5年後：　2,400 （目標値3年）平成28年度：　2,400 平成29年度：2,400　平成30年度：　2,400			

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	1　誰もが学べる学習環境づくり
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課

基本計画	5　★地域での子どもの共育活動を推進します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施	・同左	・同左
	経費（千円）	1,137	2,669	2,669

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★土曜チャレンジ学習事業（校区）【5-83】	目標		3	5	5	5	5	5
	実績	―	3					
（指標及びH32目標値の設定理由） 学校家庭地域の連携協力推進事業のうち、代表的な事業の土曜日の教育活動事業の実施校数。小学校区の約半数と設定。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		60%					

H27取組状況	初年度であるH27は北条小・北条東小・下里小学校区で学校や地域団体と連携して、土曜日等学校休業日に教育活動事業を実施しました。31回にわたり、延1,768人の小学生が参加し、非常に参加者の多い事業となりました。
課題と今後の取組	今後も学校や地域団体、家庭との連携・協力を推進し、地域で学ぶ教育活動を継続するとともに新しい校区での実施を目指します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	60%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・5校区で実施	・同左	・同左
	経費（千円）	2,669	2,669	2,669

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）土曜チャレンジ学習事業 （定義）土曜日の教育活動事業実施学校数 （根拠）土曜日の教育活動事業実施学校数から算定 （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　校区　　現状：　3校区　　5年後：　5校区 （目標値3年）平成28年度：5校区　　平成29年度：5校区　　平成30年度：5校区

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	2　主体的な青少年活動
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。
関連課名	総合教育センター

基本計画	1　様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・うれしの春のフェスティバル（5/4） ・ハチドリ祭り（7/5） ・夏祭り大作戦（8/2） ・12月クリスマス大作戦 ・1月成人式 ・交流会（年間7回）	・地域事業に参画 ・東日本支援事業（ハチドリ祭り）に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会（年間7回）	・同左
	経費（千円）	183	183	183

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
若者広場年間事業数（回）	目標		6	7	7	8	9	10
	実績	3	6					
（指標及びH32目標値の設定理由） 参画する地域事業の回数を示すもので、当初値から3倍を設定	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	60%					

H27取組状況	東日本大震災イベントのハチドリ祭りに参加しました。加西サイサイまつりにおいては、お化け屋敷「夏祭り大作戦」を実施しました。その他、子ども会や成人式等のイベントの企画運営に携わりました。
課題と 今後の取組	市外の若者団体との交流やイベント事業は定着しています。しかし、青年連絡会は少人数であるため会員の拡大に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	60%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業（ハチドリ祭り）に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会（年間7回）	・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業（ハチドリ祭り）に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会（年間7回）	・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業（ハチドリ祭り）に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会（年間7回）
	経費（千円）	183	183	183

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）若者広場年間事業数 （定義）若者が主体となって様々なグループと連携して行う交流事業の数 （根拠）加西市青年連絡会「えんどれす」の実施状況より設定 （担当者）総合教育センター所長 （目標値10年）当初（H22）：　3回　　現状：　6回　　5年後：　10回 （目標値3年）平成28年度：　7回　　平成29年度：　7回　　平成30年度：　8回

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	2　主体的な青少年活動
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。
関連課名	総合教育センター

基本計画	2	地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。		
主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・野外活動指導者講習会 ・かさいキッズふれあい事業 ・ジュニアリーダー教室（ボランティア参加）	・同左	・野外活動指導者講習会 ・かさいキッズふれあい事業
	経費（千円）	280	280	280

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
青少年団体連絡協議会登録者数（人）	目標		30	30	30	40	40	50
	実績	ー	30					
（指標及びH32目標値の設定理由） 青少年団体連絡協議会の各団体の登録者の合計人数を示し、事業内容をもとに50名を設定	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	60%					

H27取組状況	ジュニアリーダー教室の卒業生が、現役の高校生や大学生で学業やクラブ活動で多忙にあるにもかかわらず、ジュニアリーダー教室の指導者として定着・活躍している望ましい現状があります。さらに、新規で活動に参加した青年達も定着・活躍しています。
課題と今後の取組	就職活動や就職によりジュニアリーダークラブ等を離れた後でも、いつでも再加入し活動できるような、継続的な情報提供を含む声かけや、新規メンバーの獲得につながる広報活動が必要と考えます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	60%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・ジュニアリーダー教室 ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き	・ジュニアリーダー教室 ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き	・ジュニアリーダー教室 ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き
	経費（千円）	280	280	280

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）青少年団体連絡協議会登録者数 （定義）地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく人材の登録人数 （根拠）青少年団体連絡協議会の各団体の登録者総数 （担当者）総合教育センター所長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　　現状：　30人　　5年後：　50人 （目標値3年）平成28年度：　30人　　平成29年度：　30人　　平成30年度：　40人

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	3　地域で楽しめる体力づくり
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課

基本計画	1	住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しめる機会を拡充します。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
実施スケジュール	取組内容	・屋内ゲートボール場改修	・市民グラウンド防球ネット設置等	・アラジンスタジアム改修
	経費（千円）	3,473	3,000	5,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市が所管するスポーツ施設の年間利用者数（人）	目標		89,000	89,200	89,400	89,600	89,800	90,000
	実績	78,000	88,890					
（指標及びH32目標値の設定理由） 多くの住民がスポーツを楽しめる機会の充実を図るため、1000人増を設定。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		99%					

H27取組状況	屋内ゲートボール場の改修を行い利用者の利便性向上を図りました。 ぜんぼうグリーンパークの排水工事を実施し、利用者の利便性向上を図りました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 体育施設の有効活用を行うため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、スポーツ教室やスポーツイベントを開催する必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	99%	B：目標を達成	②継続

		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
実施計画	取組内容	ウォーキングコース増設	ウォーキングコース増設	ウォーキングコース増設
	経費（千円）	100	100	100

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市が所管するスポーツ施設の利用者数 （定義）勤労者体育センター、加西球場、加西市民グラウンド、加西テニスコート、加西南テニスコート、アクアスかさい、スパーク加西、多目的グラウンド、加西南多目的グラウンド、加西南ゲートボール場、ぜんぼうグリーンパークの年間利用者数 （根拠）指定管理業者等からの集計データに基づき過去の実績データから算出 （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　78,000人　　現状：　89,000人　　5年後：　90,000人 （目標値3年）平成28年度：89,200人　平成29年度：89,400人　平成30年度：89,600人

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	3　地域で楽しめる体力づくり
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課

基本計画	2　地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・指導者養成講座開催	・指導者養成講座開催	・指導者養成講座開催
	経費（千円）	149	150	150

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
指導者養成講座の参加人数	目標		100	105	110	115	120	125
	実績	―	110					
（指標及びH32目標値の設定理由） 指導者不足の解消のため指導者養成講座参加者を約100名増の125名とする。	目標数値の達成度 単年度		110%					
	目標数値の達成度 最終年度		88%					

H27取組状況	環太平洋大学との連携による指導者養成講座(実技研修)を開催しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 スポーツ推進計画に基づき各スポーツ団体の連携強化を図り、指導者不足を解消するため指導者講習会や実技研修会の開催が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	110%	88%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・指導者養成講座開催	・指導者養成講座開催	・指導者養成講座開催
	経費（千円）	150	150	150

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）指導者養成講座の参加人数 （定義）実技及び講義による指導者養成講座の参加者数 （根拠）指導者養成講座の参加者数から算定 （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　現状：　110　人　5年後：　125　人 （目標値3年）平成28年度：　105　人　平成29年度：　110　人　平成30年度：　115　人

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	3　地域で楽しめる体力づくり
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課

基本計画	3　高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催	・同左	・同左
	経費（千円）	850	500	500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
スポーツ教室の年間参加人数	目標		300	320	340	360	380	400
	実績	ー	353					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市及びスポーツ推進委員会が開催するスポーツ教室の参加者数をH32に100人増とする。	目標数値の達成度 単年度		118%					
	目標数値の達成度 最終年度		88%					

H27取組状況	・スポーツ推進委員会によるニュースポーツ教室を開催しました。 ・少年少女を対象とした女子プロ野球教室、サッカー教室を開催しました。 ・子どもと壮年を対象としたバスケットボール教室を開催しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 少年少女、青壮年が参加できるスポーツ教室や親子で参加できるスポーツ教室の開催。色々な教室を開催し、市民が参加しやすい環境を作っていくことが必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	118%	88%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催
	経費（千円）	500	500	500

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）スポーツ教室の年間参加人数 （定義）市及びスポーツ推進委員会が開催するスポーツ教室の参加者数 （根拠）スポーツ教室の参加者数から算定 （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　　現状：　300人　5年後：　400人 （目標値3年）平成28年度：　320　人　平成29年度：　340　人　平成30年度：　360　人

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	4　出会いを求める若者の応援
到達目標	出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課

基本計画	1	事業者と連携し、若者の出会いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・スキルアップ講座 ・カップリング事業への助成金事業 ・サブカルチャー婚活事業 ・若者応援パートナー事業者との連携事業	・キューピットプラン見直し ・婚活コラボ事業	・婚活コラボ事業
	経費（千円）	50	50	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
カップル成立年間組数【1-17】	目標		19	20	20	20	20	20
	実績	ー	22					
（指標及びH32目標値の設定理由） 婚活実施事業数を3～4回　1回あたりのカップル数を5として算定	目標数値の達成度 単年度		116%					
	目標数値の達成度 最終年度		110%					

H27取組状況	カップリングパーティーの実施について、官民連携を推進したことにより、良質な事業をリスクなく効率的に進められ、加西市の資源を有効活用することができました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 民間活力の導入をすすめ、平成29年度以降予算を0円にします。 加西市では結婚を理由とする転出が、転入に比べ圧倒的に多いため、カップリングパーティーの行政マターによる実施は非効率であるため、民間シフトを実施しますが、実施数やカップル数の目標達成を至上とするのであれば、市直営で安価なパーティも可能です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	116%	110%	A：目標を上回って達成	③見直し

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	婚活コラボ事業	婚活コラボ事業	婚活コラボ事業
	経費（千円）	0	0	0
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）カップル成立年間組数 （定義）カップリング事業において、男女の意思によりカップルとなったもの （根拠）カップリング事業1回あたり3組を目標とし、事業回数を乗ずる。 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　組　　現状：　19組　　5年後：　20組 （目標値3年）平成28年度：　20組　　平成29年度：　20組　　平成30年度：　20組			

平成27年度

基本政策	1　明日を担い未来へつなげる人づくり
施策	4　出会いを求める若者の応援
到達目標	出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課

基本計画	2	関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントや交流機会の創出を支援します。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・スキルアップ講座 ・カップリング事業への助成金事業 ・サブカルチャー婚活事業 ・若者応援パートナー事業者との連携事業	・キューピットプラン見直し ・婚活コラボ事業	・婚活コラボ事業
	経費（千円）	50	50	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
職域交流年間事業数（回）	目標		1	1	1	1	1	2
	実績	0	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 会議所との連携による。加西市の規模であれば1回が妥当であるため。	目標数値の達成度	単年度	500%					
		最終年度	250%					

H27取組状況	カップリングパーティーの実施について官民連携を推進したことにより、良質な事業をリスクなく効率的に進められ、加西市の資源を有効活用することができました。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 異業種交流を特記化せず上記婚活プログラムに含めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	S：予定より早く進行	500%	250%	S：目標を大きく上回って達成	④廃止

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容			
	経費（千円）			

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）職域交流年間事業数 （定義）複数の企業団体の独身従業員同士による交流会開催数 （根拠）以前に実施していた実績と市内産業団地への企業進出と採用状況から算出 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　0回　　現状：　1回　　5年後：　2回 （目標値3年）平成28年度：　　回　　平成29年度：　　回　　平成30年度：　　回

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	1	義務教育9年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。		
主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・推進プランに基づく取組みの充実 ・9年間の教科カリキュラムの検討、作成	・同左	・推進プランに基づく取組みの充実 ・9年間の教科カリキュラムの検討、作成 ・9年間の道徳カリキュラムの検討、作成
	経費（千円）	294	1,352	1,352

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数【5-82】	目標		1	1	1	2	3	3
	実績	ー	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数を示し、当初値から3倍を設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		33%					

H27取組状況	・小中連携教育推進委員会を実施しました。 ・小中連携の取組の充実（合同研修、合同行事、合同授業、中学校授業体験）を図りました。 ・小中連携教育研修講座を実施しました。
課題と今後の取組	小中連携による9年間のカリキュラムの検討・作成等、小中連携推進プランに基づく取組を充実させます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	33%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムの検討・作成 ・小中連携教育研修講座の実施	・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムの検討・作成 ・小中連携教育研修講座の実施	・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムの検討・作成 ・小中連携教育研修講座の実施
	経費（千円）	1,352	1,352	1,352
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数 （定義）保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数 （根拠）保幼小中連携強化に係る総合教育センター主催の研修講座の年間開催数 （担当者）総合教育センター所長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　回　　現状：1回　　5年後：3回 （目標値3年）平成28年度：　　1回　　平成29年度：1回　　平成30年度：2回			

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	2　小中教員の連携、外国人語学指導助手（ALT）の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・外国人語学指導助手配置事業 ・小学校6年間における外国語活動実施事業 ・幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業	・同左	・同左
	経費（千円）	21,763	22,262	22,262

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
外国語指導助手の配置人数	目標		6	6	6	6	6	7
	実績	6	6					
（指標及びH32目標値の設定理由） H32年度から全面実施される小学校における外国語の教科化に伴い、小学校への派遣講師を1名増やし充実にあてる。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		86%					

H27取組状況	・業務委託及び市直接雇用で計6名のALTを確保し、小中学校における英語科・外国語活動の充実を図りました。 ・小中連携の視点から、外国語活動及び英語科における相互授業参観や教員研修の充実を図りました。 ・小学校においては、1～4年生に対する外国語活動や夏季休業中の英会話教室実施の推進を図りました。 ・幼稚園・幼児園や公民館活動および夏季休業中の「Kasai英語村サマーキャンプ」へALTの派遣を行い、幅広い外国語教育の展開を具現化しました。
課題と今後の取組	・小学校外国語の教科化を見通して、小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図るための研修を充実させます。 ・幼稚園、幼児園及び公民館等でのALTの派遣は大いに効果があったため、さらに配置時間を増やすなどの事業の拡大を推進します。 ・長期休業中等を活用して、社会教育施設での国際理解教育の充実を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	86%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・外国人語学指導助手配置事業 ・小学校6年間における外国語活動実施事業 ・幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業	・同左	・同左
	経費（千円）	22,262	22,262	22,262
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）外国語指導助手の配置人数 （定義）外国人語学指導助手の小中特別支援学校への配置 （根拠）外国人語学指導助手の小中特別支援学校への配置人数 （担当者）学校教育課長 （目標値10年）当初（H22）：　6人　　現状：　6人　　5年後：　7人 （目標値3年）平成28年度：　6人　平成29年度：　6人　平成30年度：　6人			

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	3　情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	教育総務課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・日吉・泉小学校　教育用パソコン更新	・富田・賀茂・富合・宇仁・西在田小学校　教育用パソコン更新 ・加西特別支援学校　教育用パソコン更新	・中学校　教育用パソコン更新
	経費（千円）	3,966	7,000	7,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
教育用PC更新済校数	目標		2	8	12	13	16	18
	実績	ー	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） リース更新年により決定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		11%					

H27取組状況	日吉・泉小学校教育用PCの5年リース期間が完了したため、最新機器の更新と最新OSに切り替え情報教育の環境整備を行いました。
課題と 今後の取組	各学校の教育用PCリース期間に応じ、適宜更新を行います。更新・継続施策で有るため、最終目標数値も単年度も数値は同じです。現在16校を、5年で全て更新しており、今後もこのサイクルで更新を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	11%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・富田・賀茂・富合・宇仁・西在田小学校　教育用パソコン更新 ・加西特別支援学校　教育用パソコン更新	・中学校　教育用パソコン更新	北条東小学校教育用パソコン更新
	経費（千円）	7,000	7,500	2,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）PC更新校数 （定義）単年度の計画更新校数と実施更新校数 （根拠）更新実績 （担当者）教育総務課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　　現状：　　5年後：5年で16校を順次更新する。 （目標値3年）平成28年度：6校　　平成29年度：　4校　　平成30年度：　1校			

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	4　加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・環境体験学習事業	・同左	・同左
	経費（千円）	2,014	1,942	1,942

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
小中学校での体験型環境教育の年間時間数	目標		10	10	10	10	10	10
	実績	8	8					
（指標及びH32目標値の設定理由） 1校あたりの年間授業時数を示すもので、数値設定のみならず、学習内容の充実を図ることをねらいとする。	目標数値の達成度 単年度		80%					
	目標数値の達成度 最終年度		80%					

H27取組状況	地元人材や専門家の協力を得ながら、河川の環境調査、里山体験、昆虫や希少生物の観察等の活動を通して、自然の不思議・すばらしさを実感した学習を実施しました。本事業を通して、自分たちのふるさとの身近な自然環境について考え、みずから環境保全等に働きかける子どもたちの意識の向上を図ることができました。
課題と今後の取組	中学校では、理科を中心とした教科学習の範疇での環境教育にとどまっているため、校区の実態や特性から環境教育に関する教材やカリキュラムの作成に関して計画していきます。 また、平成28年度は、整備された「あびき湿原」での環境学習を実施していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	80%	80%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校における「あびき湿原環境学習」の実施	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校及び中学校における「あびき湿原環境学習」の実施	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校及び中学校における「あびき湿原環境学習」の実施
	経費（千円）	1,942	1,942	1,942
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）小中学校での体験型環境　教育の年間時間数 （定義）小中学校における環境教育の実施 （根拠）小中学校における環境教育の年間時間数 （担当者）学校教育課長 （目標値10年）当初（H22）：　8時間　　現状：　10時間　　5年後：　10時間 （目標値3年）平成28年度：　10時間　　平成29年度：　10時間　　平成30年度：　10時間			

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	5　個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議	・同左
	経費（千円）	126	185	185

指標名	区分		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数	目標			3	4	4	5	5	5
	実績		ー	3					
（指標及びH32目標値の設定理由） 指標：専門研修の開催数 目標値設定理由：校内支援体制の充実	目標数値の達成度	単年度		100%					
		最終年度		60%					

H27取組状況	コーディネーター研修を1回、特別支援担当者とコーディネーターとの合同研修会を1回、さらに幼保園のコーディネーターも参加してのネットワーク会議を含め3回の研修会を行いました。インクルーシブ教育システム構築に向けた各学校の具体的な取組について話し合いを深めることができ、関係機関との連携もスムーズにできつつある状況です。
課題と今後の取組	加西特別支援学校のセンター的機能の活用や特別支援教育担当者や特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーターを中心とする研修会の実施によって、市内のすべての学校における特別な支援の必要な児童生徒に対する適正な教育がなされています。更に各学校間での情報交換や情報共有の場を多く持つために、研修会の開催数の増加と内容の充実を図ります。今後の課題と取組としては、ライフステージを通した保護者支援に向けて、市内の資源をうまく活用し各関係機関との連携をさらに進めていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	60%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議	・同左	・同左
	経費（千円）	185	185	185
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数 （定義）該当教員を対象とした専門研修の開催 （根拠）専門研修の開催数 （担当者）学校教育課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　回　　現状：3回　　5年後：5回 （目標値3年）平成28年度：4　回　　平成29年度：4　回　　平成30年度：5　回			

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	6　総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・小中連携教育推進委員会の開催 ・小中合同研修講座の開催 ・小中連携教育策定委員会の開催	・同左	・同左
	経費（千円）	502	1,075	1,075

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①総合教育センターにおける年間研究講座数	目標		15	39	40	40	40	40
	実績	10	36					
（指標及びH32目標値の設定理由） 総合教育センターが主催する研修講座の年間開催数を示し、教育課題から内容回数を設定	目標数値の達成度	単年度	240%					
		最終年度	90%					
②★校内研修の実施回数（月あたり回数）【5-86】	目標		3	3	3	3	3	3
	実績	ー	3					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数（月あたり）を示し、各月週1回開催をもとに設定	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	100%					

H27取組状況	・小中連携教育推進委員会を実施しました。 ・教職員研修講座の充実（教育フォーラム、学力向上、小中連携、教師力向上 等）を図りました。
課題と今後の取組	・校種間連携強化のための先進的な取組を導入した研修を実施しました。 ・英語・道徳の教科化に向けた小中合同研修を実施しました。 ・先進的な取組を導入した研修を実施しました。 ・目標数値を大幅に見直し、積極的に研究講座を開催することにしました。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	240%	90%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催
	経費（千円）	1,075	1,075	1,075
変更する内容				

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）総合教育センターにおける年間研究講座数 （定義）学校・学級経営の研修講座や小中連携・校種間連携のための研修講座数 （根拠）専門研修の開催数 （担当者）総合教育センター所長 （目標値10年）当初（H22）：　10講座　　現状：　15講座　　5年後：　40講座 （目標値3年）平成28年度：　39講座　　平成29年度：　40講座　　平成30年度：　40講座 （指標名）★校内研修の実施回数 （定義）市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数（月あたり） （根拠）市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数（月あたり） （担当者）総合教育センター所長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　回／月　　現状：　3回／月　　5年後：　3回／月 （目標値3年）平成28年度：　　3回／月　　平成29年度：　3回／月　　平成30年度：　3回／月

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	7　★特色のある部活や教室を設置します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・加西市中学校部活動ガイドラインの策定	・部活動外部指導者の活用 ・加西市中学校部活動ガイドラインの見直し ・部活動指導者研修会の実施	・同左
	経費（千円）	0	1,512	1,512

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★部活動の指導者研修会の実施数【5-85】	目標			―	1	1	3	3	3
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 総合教育センターとの連携により、職員研修の一環として講座を開設する	目標数値の達成度	単年度		－					
		最終年度		－					

H27取組状況	・加西市中学校部活動ガイドラインを策定し、現状の課題を克服し、生徒や保護者の多様化するニーズに対応できる枠組みを作りました。
課題と今後の取組	・部活動ガイドラインに基づき、指導者研修会の実施により、教師の指導力向上を図ります。 ・部活動の外部指導者の活用によって、部活動の活性化を図ります。 ・部活動ガイドラインを点検評価し、加西市中学校の実態に合わせた体制作りを推進します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価	・同左	・同左
	経費（千円）	1,512	1,512	1,512
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★部活動の指導者研修会の実施数 （定義）教職員を対象とした部活動指導に関する研修会の実施回数 （根拠）総合教育センターが開催する研修講座数による （担当者）学校教育課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　回　　現状：　―　回　　5年後：　3回 （目標値3年）平成28年度：　　1回　　平成29年度：　　1回　　平成30年度：　　3回			

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	5　特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。
関連課名	総合教育センター、学校教育課、教育総務課

基本計画	8　★地元高校の活性化を支援します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	北条高校活性化協議会への支援（アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、学校案内パンフレット制作事業）	北条高校活性化協議会への支援（アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動）	同左
	経費（千円）	8,705	9,900	10,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数【5-87】	目標		400	420	440	460	500	500
	実績	ー	416					
（指標及びH32目標値の設定理由）北条高校活性化協議会の柱となる取組みであるアフタースクールゼミの参加者数を示すもので、年々延べ20人増えると想定。	目標数値の達成度 単年度		104%					
	目標数値の達成度 最終年度		83%					

H27取組状況	北条高校活性化協議会を実施主体とし、①学校法人河合塾の講師による「北条高校アフタースクールゼミ」の実施、②第3学区北部からの通学の利便性の向上を目的とした「通学バス事業」の実施、③オーストラリアの高校との国際交流事業への補助、④民間事業者への委託による学校案内パンフレットの作成等を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 少子化により北条高校への進学を希望する中学生が減少してきており、今後一層この傾向は強まっていくと想定されます。活性協の北条高校に対する支援は中長期的なものである必要がありますが、4クラスを堅持するため今後数年間は出来得る支援を最大限に行う必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	104%	83%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	北条高校活性化協議会への支援（アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動）	同左	同左
	経費（千円）	9,900	10,000	10,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数 （定義）アフタースクールゼミ受講者数 （根拠）受講申込者名簿 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　　現状：　400人　　5年後：　500人 （目標値3年）平成28年度：420人　　平成29年度：440人　　平成30年度：460人

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	6　安全安心で潤いのある学校
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。
関連課名	教育総務課

基本計画	1	すべての小中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。		
主管部課	部名	教育委員会	課名	教育総務課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・賀茂小学校校舎耐震補強工事 ・下里小学校北校舎耐震補強工事 ・九会小学校北校舎耐震補強工事 ・西在田小学校地震改築工事Ⅰ期（RC） ・富田小学校南校舎地震改築工事Ⅱ期 ・西在田小学校地震改築工事Ⅰ期（W） ・富田小太陽光発電設備工事（10kw） ・西在田小太陽光発電設備工事（25kw）	・西在田小学校地震改築工事Ⅱ期 （RC解体工事のみ） ・西在田小学校地震改築工事Ⅱ期 （W解体工事のみ）	
	経費（千円）	2,201,005	132,744	

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①学校耐震化率（鉄筋コンクリート・鉄骨造）	目標		100	100				
	実績	58	100					
（指標及びH32目標値の設定理由）	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					
②学校耐震化率（木造）	目標		100	100				
	実績	0	100					
（指標及びH32目標値の設定理由）	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					
③学校施設における太陽光発電容量（kw）【5-84】	目標		197	197	197	197	197	197
	実績	10	197					
（指標及びH32目標値の設定理由）	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	賀茂・下里・九会小学校の耐震化工事、西在田・富田小学校の地震改築工事、富田・西在田小学校太陽光発電設備設置工事を完成しました。耐震化及び地震改築により耐震化率は100%となりました。
課題と今後の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以降に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
①	③完了	A：予定通り進行	100%	100%	A：目標を上回って達成	①完了
②	③完了	A：予定通り進行	100%	100%		
③	③完了	S：予定より早く進行	100%	100%		

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	6　安全安心で潤いのある学校
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。
関連課名	教育総務課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・西在田小学校地震改築工事Ⅱ期（RC解体工事のみ） ・西在田小学校地震改築工事Ⅱ期（W解体工事のみ）		
	経費（千円）	132,744		
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）学校耐震化率（鉄筋コンクリート・鉄骨造） （定義）鉄筋コンクリートまたは鉄骨造の小中学校施設における耐震化完了施設の割合 （根拠）現在、耐震化済棟数／全棟数＝29棟／50棟＝58.0%　H28年度に52棟／52棟＝100% （担当者）教育総務課長 （目標値10年）当初（H22）：　58.0%　　現状：　100.0%　　5年後：　※耐震化完了 （目標値3年）平成28年度：　100.0%　　平成29年度：　※耐震化完了　　平成30年度：　※耐震化完了 （指標名）学校耐震化率（木造） （定義）木造の小学校施設における耐震化完了施設の割合 （根拠）耐震化済棟数／全棟数＝0棟／5棟＝0%　平成28年度に2棟／2棟＝100%をめざす （担当者）教育総務課長 （目標値10年）当初（H22）：　0.0%　　現状：　100.0%　　5年後：　※耐震化完了 （目標値3年）平成28年度：　100.0%　　平成29年度：　※耐震化完了　　平成30年度：　※耐震化完了 （指標名）学校施設における太陽光発電量 （定義）木造の小学校施設における耐震化完了施設の割合 （根拠）10kw×7校（善防中、泉中、九会小、西在田小、富合小、賀茂小、下里小）＋15kw×2校（北条中、宇仁小）＝100kw （担当者）教育総務課長 （目標値10年）当初（H22）：　10kw　　現状：　197kw　　5年後：　197kw （目標値3年）平成28年度：197kw　　平成29年度：　197kw　　平成30年度：　197kw			

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	6　安全安心で潤いのある学校
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。
関連課名	教育総務課

基本計画	2　★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	教育総務課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容		次年度からの改修工事に向けた調整	富田小体育館、日吉小北校舎、宇仁小体育館、北条中北校舎・武道場、特別支援学校プールの改修工事
	経費（千円）			280,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改修工事の完了棟数	目標		0	0	6	10	11	13
	実績	―	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 建築年度により計画棟数を設定	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	改修計画を策定しました。
課題と今後の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以降に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	次年度からの改修工事に向けた調整	富田小体育館、日吉小北校舎、宇仁小体育館、北条中北校舎・武道場、特別支援学校プールの改修工事、加西中学校プール改築工事	富田小北校舎、賀茂小北校舎、善防・加西中武道場
	経費（千円）		417,000	197,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）改修建物の棟数 （定義）各年度に実施する改修棟数 （根拠）各年度に実施された改修棟数／計画棟数 （担当者）教育総務課長 （目標値10年）当初（H22）：　　現状：　5年後： （目標値3年）平成28年度：0棟　平成29年度：6棟　平成30年度：4棟

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	6　安全安心で潤いのある学校
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。
関連課名	教育総務課

基本計画	3　★南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行います。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	教育総務課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容		計画策定	実施設計
	経費（千円）			16,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
単独調理場数	目標		3	3	3	3	0	0
	実績	―	－					
（指標及びH32目標値の設定理由） 南部給食センターH29設計、H30建設工事、H31解体工事　H31に単独調理場統合	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	事業計画を策定しました。
課題と今後の取組	単独調理場施設が、建設より26年経過しており、南部給食センターの早期完成により統合することが必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	計画策定	実施設計	建設工事
	経費（千円）		16,000	580,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）　事業費の割合 （定義）　単独調理場の統廃合 （根拠）　統廃合後の単独調理場数 （担当者）　教育総務課長 （目標値10年）当初（H22）：　　現状：計画策定　　5年後：稼働 （目標値3年）平成28年度：　　平成29年度：実施設計　平成30年度：建設工事

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	7　地域に開かれた学校づくり
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。
関連課名	学校教育課、総合教育センター

基本計画	1　ゲストティーチャー 等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業	・同左	・同左
	経費（千円）	1,811	1,900	1,900

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ゲストティーチャーの延べ人数【6-93】	目標		380	385	390	395	400	410
	実績	380	380					
（指標及びH32目標値の設定理由） 指標：ゲストティーチャーの延べ人数 目標値設定理由：地域に開かれた学校づくり	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		93%					

H27取組状況	市内の小・中・特別支援学校の教育活動全般に地域の方々にゲストティチャーとして協力していただき、児童生徒の「生きる力」の育成と、地元加西市の良さを再発見、再確認する「ふるさと意識」の育成を醸成する上で大きな効果を発揮しました。各校が地元の資源を活かし、地域人材を発掘し、年間計画に位置づけた教育課程を編成し、計画的な取組を実施しました。
課題と今後の取組	各校が児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、学校として希望する内容を指導できる人材の確保が難しい状況です。前年度から次年度の構想を考えつつ、各学校の地域資源を活かした特色ある取組を展開できるようにし、市内での情報共有によって有効な活用方法を見いだしていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	93%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業
	経費（千円）	1,900	1,900	1,900
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）ゲストティーチャーの延べ人数 （定義）小・中・特支学校におけるゲストティーチャー数 （根拠）ゲストティーチャーの延べ人数 （担当者）学校教育課長 （目標値10年）当初（H22）：　380人　　現状：　350人　５年後：　410人 （目標値3年）平成28年度：　385人　平成29年度：　390人　平成30年度：　395人			

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	7　地域に開かれた学校づくり
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。
関連課名	学校教育課、総合教育センター

基本計画	2　小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・学校支援地域本部事業	・同左	・同左
	経費（千円）	1,106	1,264	1,264

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
校内交流広場設置数	目標		16	16	16	16	16	16
	実績	11	16					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内の小中特別支援学校の校内交流広場設置数を示し、全校設置を設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	現在ワッショイスクール事業を展開している11小学校すべてにおいてメンバーの部屋が設置され、交流の場としての機能を果たしています。また、校舎の耐震工事・新築に伴い、コミュニティールームの設置も進みました。
課題と今後の取組	校舎の耐震工事・新築に伴い、コミュニティールームの設置が進み地域との交流の場となることが期待されるが、地域住民にどのように周知するのかが当面の課題です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・学校支援地域本部事業	・学校支援地域本部事業	・学校支援地域本部事業
	経費（千円）	1,264	1,264	1,264

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）校内交流広場設置数 （定義）市内各小中学校において地域住民が立ち寄れる広場を設置している学校数 （根拠）中学校・特別支援学校での設置 （担当者）総合教育センター所長 （目標値10年）当初（H22）：　11校　　現状：　16校　　5年後：　16校 （目標値3年）平成28年度：　16校　　平成29年度：　16校　　平成30年度：　16校

平成27年度

基本政策	2　郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	7　地域に開かれた学校づくり
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。
関連課名	学校教育課、総合教育センター

基本計画	3　学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・学校評議員委嘱 ・オープンスクールの実施	・同左	・同左
	経費（千円）	309	306	309

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
オープンスクール年間開催数（1校あたり）	目標		10	11	12	13	14	15
	実績	ー	10					
（指標及びH32目標値の設定理由） 1校あたりのオープンスクールの開催回数を示しており、当初値から1.5倍増で設定。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	67%					

H27取組状況	小・中・特別支援学校において、信頼される学校づくりを推進するために、オープンスクール（学校参観日や運動会、音楽会等を含む）を実施しました。児童生徒の学習・生活の様子を保護者や地域に開放し、多様な意見を聴取し、組織マネジメントサイクルによる学校改善を図るよう努めました。
課題と 今後の取組	オープンスクールの開催をできるだけ週休日に設定し、多くの保護者や地域住民の参加が叶うように各校で努めました。ただし、地域住民への周知が十分でない面もあり、今後は、全戸への広報の手段や平成27年度にリニューアルした各校ホームページの活用などに努めていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	67%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催
	経費（千円）	306	309	309
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）オープンスクール年間開催数 （定義）小・中・特支学校のオープンスクール開催 （根拠）オープンスクールの開催数 （担当者）学校教育課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　　現状：　10回／校　　5年後：　15回／校 （目標値3年）平成28年度：　11回／校　　平成29年度：　12回／校　　平成30年度：　13回／校			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	1　各機関と連携して、生産者等を対象とした公開講座を開催します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・かさい農業塾の開催（1回）	・同左	・同左
	経費（千円）	0	20	20

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①「かさい農業塾」の年間開催回数【4-65】	目標		1	1	1	2	2	3
	実績	0	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 主要作物毎に塾の開催を目標とする。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	33%					
②★大学等連携による農業分野での地域活動年間件数【3-60】	目標		1	1	2	2	2	2
	実績	ー	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 現行の取り組み以外に学生と密に交流できる取り組みを行う。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	50%					

H27取組状況	主に加西市集落営農組織連絡協議会向けに営農組織化及び法人化の重要性等について講座を行った。神戸大学にて小学校による柿収穫体験を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 農業塾は、学術研究機関との連携調整（マッチング）が課題。地域活動は学生が学外で取り組める環境作りが必要となります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	B：予定より遅延	100%	33%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	50%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動
	経費（千円）	20	100	100
変更する内容				

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）「かさい農業塾」の年間開催回数 （定義）新規就農者、認定農業者支援のための「かさい農業塾」の開催回数 （根拠）加西農業改良普及事業協議会活動計画 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　0回　　現状：　1回　　５年後：　3回 （目標値３年）平成28年度：　1回　　平成29年度：　1回　　平成30年度：　2回 （指標名）大学等連携による農業分野での地域活動年間件数 （定義）市内学術研究機関と市民が連携した活動の取り組み件数 （根拠）加西市食育推進計画 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　回　　現状：　1回　　５年後：　2回 （目標値３年）平成28年度：　1回　　平成29年度：　2回　　平成30年度：　2回

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	2　生産、加工、販売の一体的な6次産業化 に向け、講座や研修の充実を図り、起業者への支援を行います。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・特産品開発支援事業の拡充（加西ブランド協議会への委託）	・同左	・同左
	経費（千円）	500	500	500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★高付加価値品種育成数【2-46】	目標		2	2	2	2	3	3
	実績	ー	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 加西ブランド協議会の取り組みに加え、JAによる産地形成の取り組みに協力する。	目標数値の達成度	単年度	50%					
		最終年度	33%					

H27取組状況	冬至かぼちゃダークホースのブランド化に向けて生産者増を図りました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 夏かぼちゃとの栽培方法の違いを理解してもらい、より密に生産者と情報交換を行うことで精度を高めていきます。全農が推進するアスパラガスの県内産地化に向けて、その先頭を走るJA兵庫みらいと連携を深め支援を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	B：予定より遅延	50%	33%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・特産品普及推進（加西ブランド協議会委託） ・アスパラガスの実験栽培支援	・特産品普及推進（加西ブランド協議会委託） ・アスパラガスの生産推進	・特産品普及推進（加西ブランド協議会委託） ・アスパラガスの生産及び加工推進
	経費（千円）	500	500	500

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★高付加価値品種育成数 （定義）産地化に向けて取り組む農産物の品種数 （根拠）JA兵庫みらい営農振興計画 （担当者）課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　品種　　現状：　2　品種　　5年後：　3　品種 （目標値3年）平成28年度：　2品種　　平成29年度：　2品種　　平成30年度：　2品種

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	3　新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なPRに努めます。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・西笠原営農組合市民農園の設立支援	・市街地近郊での市民農園設立支援	・同左
	経費（千円）	24,000	4,800	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市民農園年間利用区画数【3-62】	目標		40	50	60	60	70	70
	実績	ー	43					
（指標及びH32目標値の設定理由） H28～30は西笠原による増。H31以降は新たな園による増を想定。	目標数値の達成度	単年度	108%					
		最終年度	61%					
②★新規年間就農者数【2-47】	目標		1	2	2	2	2	2
	実績	ー	3					
（指標及びH32目標値の設定理由） 毎年2名以上の就農認定を想定。	目標数値の達成度	単年度	300%					
		最終年度	150%					

H27取組状況	西笠原市民農園の設立に向けての支援を行いました。新規就農については、ぶどう1人、とまと2人、花卉1人の認定を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 市民農園の利用率を上げるための取り組みが必要です。新規就農については、就農希望をしてから就農まで最低1年、研修を含めると2～3年の期間を要します。また就農後も含めた切れ目のない支援体制が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	108%	61%	A：目標を上回って達成	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	300%	150%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・市民農園の整備（継続） ・新規就農の受け入れ促進	・市民農園の設立支援 ・新規就農の受け入れ促進	・市民農園の設立支援 ・新規就農の受け入れ促進
	経費（千円）	4,800	0	0
変更する内容				

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市民農園年間利用区画数 （定義）年度末時点で利用契約を締結している区画数（県市民農園概況調査） （根拠）加西市食育推進計画 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　区画　　現状：40区画　　5年後：70区画 （目標値3年）平成28年度：50区画　　平成29年度：60区画　　平成30年度：60区画 （指標名）★新規年間就農者数 （定義）年度内の青年等就農計画認定件数 （根拠）若手農業者総合対策事業計画（北播地域農業後継者育成対策協議会） （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　人　　現状：1人　　5年後：2人 （目標値3年）平成28年度：2人　平成29年度：2人　平成30年度：2人

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	4　法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・法人化を目指す営農組合の支援 ・法人化した集落営農に対する機械導入補助	・同左	・同左
	経費（千円）	6,239	4,000	4,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①農業法人数	目標		9	9	9	10	10	10
	実績	1	9					
（指標及びH32目標値の設定理由） 指標は法人化した集落営農組織の数。農業生産法人はこれ以外にも多数あり。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	90%					
②★加西市就農研修生年間受入者数【2-49】	目標		2	2	2	2	2	2
	実績	―	3					
（指標及びH32目標値の設定理由） 安定して研修受入から就農に結びつけることを想定。	目標数値の達成度	単年度	150%					
		最終年度	150%					
③★新規就農者支援事業補助金の年間受給者数【2-50】	目標		1	2	2	2	2	2
	実績	―	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 就農認定に伴い補助制度の有効活用を図る。	目標数値の達成度	単年度	500%					
		最終年度	250%					

H27取組状況	集落営農組織2組合において関係機関との連携調整を行い法人化を進めました。また個人農家においても法人化が進みました。新規就農においては、習熟度に合わせて研修に誘導するとともに、就農者には積極的に支援策の活用を推進しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 集落営農組織全体の安定経営ならびに規模拡大が必要となってきます。新規就農はよりきめ細かな支援をすることによる加西市の強みを発揮する必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	S：予定より早く進行	100%	90%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	150%	150%		
③	②実行中	S：予定より早く進行	500%	250%		

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助
	経費（千円）	16,600	17,000	17,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）農業法人数 （定義）法人登記している集落営農組織数 （根拠）農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　1法人　　現状：　9法人　　5年後：　10法人 （目標値3年）平成28年度：　9法人　　平成29年度：　9法人　　平成30年度：　10法人 （指標名）★加西市就農研修生年間受入者数 （定義）市内での就農を前提として市、県及び国の研修制度を適用している人数 （根拠）加西市就農研修受入農業者支援補助金交付要綱、雇用就農独立支援事業 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　人　　現状：　2　人　　5年後：　2　人 （目標値3年）平成28年度：　2人　　平成29年度：　2人　　平成30年度：　2人 （指標名）★新規就農者支援事業補助金の年間受給者数 （定義）加西市新規就農者支援事業補助金及び青年就農給付金の受給初年度となる者の人数 （根拠）加西市新規就農者支援事業補助金交付要綱、加西市青年就農給付金交付要綱 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　人　　現状：　1人　　5年後：　2人 （目標値3年）平成28年度：　2人　　平成29年度：　2人　　平成30年度：　2人			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	5　認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図る。	・同左	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図り、新たな推進施策を検討する。
	経費（千円）	5,454	5,680	5,680

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
農用地利用権設定面積（ha）	目標		570	300	350	400	450	600
	実績	241	286					
（指標及びH32目標値の設定理由） 認定農業者と認定就農者の増に伴う設定面積増を図る。	目標数値の達成度 単年度		50%					
	目標数値の達成度 最終年度		48%					

H27取組状況	集落営農組織の法人化及び認定農業者による集積を推進しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 集落営農組織や認定農業者による大規模営農が行われていない地区における担い手の育成と参入を検討しなければならないと考えます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	50%	48%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速	認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図り、新たな推進施策の検討	新たな推進施策を開始
	経費（千円）	5,680	5,680	3,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）農用地利用権設定面積 （定義）農用地利用権が設定されている農地面積 （根拠）農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　241ha　　現状：　570ha　　5年後：　600ha （目標値3年）平成28年度：　300ha　　平成29年度：　350ha　　平成30年度：　400ha

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	6　多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・多面的機能支払交付金実施状況報告書作成説明会	・同左	・同左
	経費（千円）	289,766	289,766	290,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
多面的機能支払交付金事業への参加団体数	目標		110	110	110	110	110	110
	実績	ー	110					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内全域の農地を地域住民が管理していく仕組み作りのため。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	多面的機能支払交付金事業において、農地・農業用水等の資源と農村環境の保全活動及び農業用施設の長寿命化のための取り組みとして、農地維持活動110組織、資源向上（共同）活動109組織、資源向上（長寿命化）活動108組織が事業を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 まだ取り組みができていない地区の組織化が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	③完了	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	①完了

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・農地維持活動　110組織 ・共同活動　109組織 ・長寿命化活動　108組織	・農地維持活動　110組織 ・共同活動　109組織 ・長寿命化活動　108組織	・農地維持活動　110組織 ・共同活動　109組織 ・長寿命化活動　108組織
	経費（千円）	289,766	290,000	290,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）多面的機能支払交付金事業への参加団体数 （定義）多面的機能支払交付金事業への参加団体数 （根拠）同上 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　　現状：110組織　５年後：110組織 （目標値3年）平成28年度：110組織　平成29年度：110組織　平成30年度：110組織

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	7　★ICTを利活用した施設園芸の普及に努めます。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	大規模施設園芸の誘致・整備支援	運営の安定化・ICTの普及	同左
	経費（千円）	7,994	7,994	7,994

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★施設園芸新設数【2-48】	目標		1	1	1	1	2	2
	実績	―	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 大規模施設園芸の開設数 投資規模（1億円以上の投資）により設定	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	50%					

H27取組状況	大規模施設園芸の整備支援を行い、3.6haの施設栽培ハウス整備が8月に竣工しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 大規模施設園芸の取り組み主体誘致は、投資規模が大きくまたその運営には多くのノウハウが必要になります。鶉野に整備された施設を核に規模にかかわらずICTを活用した施設園芸の普及促進を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	③完了	A：予定通り進行	100%	50%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	大規模施設園芸の誘致・整備支援	運営の安定化・ICTの普及	同左
	経費（千円）	7,994	7,994	7,994
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★施設園芸年間新設数 （定義）投資金額が1億円以上の施設栽培施設 （根拠）加西市農林畜産振興事業補助金交付規則 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　施設　現状：1施設　5年後：1施設 （目標値3年）平成28年度：　施設　平成29年度：　施設　平成30年度：　施設			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	8　裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。
関連課名	農政課、人口増政策課

基本計画	8　★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	―	調査研究
	経費（千円）	0	0	3,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★サテライト機能の具体化（大学数）【3-59】	目標			―	0	0	0	1	1
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） サテライトキャンパス機能を加西市に有する大学数が指標として最適である。	目標数値の達成度	単年度	－						
		最終年度	－						

H27取組状況	―
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 どのような問題があり、それを解消すれば大学が加西市にサテライトキャンパスを設置するかなどについて調査研究を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	―	調査研究	同左
	経費（千円）	0	3,000	3,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★サテライト機能の具体化 （定義）サテライト機能設置大学数 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　大学　　現状：　―　大学　　5年後：　1大学 （目標値3年）平成28年度：　―　大学　　平成29年度：　―　大学　　平成30年度：　―　大学

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	1　地元農産物を食材利用する事業者を支援します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・店舗オリジナル「加西カレー」の推進及び特産品開発支援事業を行う	・新たな特産品の開発支援	・同左
	経費（千円）	500	500	500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★加西産農産物提供店舗数【4-66】	目標		4	15	15	15	20	20
	実績	ー	12					
（指標及びH32目標値の設定理由） 地元産の食材を使用した加西カレーのPR・販売推進と新たな特産品開発を目標とする。	目標数値の達成度 単年度		300%					
	目標数値の達成度 最終年度		60%					

H27取組状況	加西ブランド協議会において、華麗なる加西カレースタンプラリーと題した加西産農産物を使ったオリジナルカレーのキャンペーンを実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 飲食店のメニュー提供コストと加西産農産物の提供価格のバランスが検討課題です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	300%	60%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。	加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。	加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。
	経費（千円）	500	500	500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★加西産農産物提供店舗数 （定義）加西産農産物を使用していることを公表している飲食店の数 （根拠）同上 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　店　　現状：　4店　　5年後：　20店 （目標値3年）平成28年度：　15店　　平成29年度：　15店　　平成30年度：　15店			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	2　地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・教育委員会、JA等生産者との調整 ・学校における食育授業の推進	・同左	・同左
	経費（千円）	572	1,480	1,480

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内小中学校における食育授業の時間数	目標		10	10	10	10	10	10
	実績	ー	10					
（指標及びH32目標値の設定理由） 現場で体感体験することが食育上最も効果が高いと考える。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	100%					

H27取組状況	加西とまと出荷組合による食育授業を支援した。学校給食においては、キャベツ、じゃがいも、だいこん等の主要な野菜のほか、根日女みどり、加西とまと等の特産品も積極的に取り扱いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 食育においては何が安心安全で最も健康に良い食べ物かを教育する方法を検討する必要があります。給食では一品目を一日で大量に使うため、提供できる野菜及び日が限られます。また給食加工には多くのルールがあり、ぶどう等適用できない品目も多数あります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・教育委員会、生産者との調整 ・学校における食育授業の推進	・教育委員会、生産者間の調整 ・学校における食育授業の推進	・教育委員会、生産者間の調整 ・学校における食育授業の推進
	経費（千円）	1,480	1,480	1,480
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）食材搬送及び食材差額補填 （定義）学校給食センターに加西産農産物を学校給食に提供する。 （根拠）食材搬送（自動借上げ料）、市内産野菜使用に対する差額補填。 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　　現状：10時間　5年後：10時間 （目標値3年）平成28年度：10時間　平成29年度：10時間　平成30年度：10時間			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	3　地域ビジネス講座を拡充します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾	同左	・同左
	経費（千円）	1,500	1,500	1,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
製造品出荷額等（億円）【2-52】	目標		2420	2480	2540	2600	2662	2662
	実績	2538	2514					
（指標及びH32目標値の設定理由） 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。	目標数値の達成度 単年度		104%					
	目標数値の達成度 最終年度		94%					

H27取組状況	商工会議所と連携を図り、商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、各種ビジネス講座を開講しました。 （モノづくり実践力強化セミナー（「ヒューマンエラーの撲滅と現場力の伝承」）、ISO9001・14001、2015年規格改正セミナー、かさい創業塾、経営計画作成支援セミナー、国・県・市の支援制度紹介セミナー）
課題と今後の取組	地域ビジネスのあり方、その必要性について検討し、即時に役立つビジネス講座を開講していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	104%	94%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾	同左	同左
	経費（千円）	1,500	1,500	1,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）製造品出荷額等 （定義）工業統計　4人以上の事業所のうち製造品出荷額等 （根拠）商業統計（毎年実施）　現状の2%増（25年度）、4%増（32年度）を見込む （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H20）：　2,538億円　　現状：　2,420億円　　5年後：　2,662億円（★5年間増加率10%） （目標値3年）平成28年度：2,480億円　　平成29年度：2,540億円　　平成30年度：2,600億円			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	4　加西喝采みやげのブランド化を進め、イベントへの出展や各販売所での販売の促進に努めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・五つ星ひょうごの選定 ・各物産展への積極的参加 ・北播磨おいしんぼ館取扱商品数増加 ・今ある特産品の選定	・同左	・同左
	経費（千円）	839	850	860

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①加西産品の販売店舗数	目標		35	37	39	41	43	45
	実績	27	30					
（指標及びH32目標値の設定理由） 加西産品を商品・食材として販売し、PRしている小売店舗数をH32に10店舗増とする。	目標数値の達成度	単年度	86%					
		最終年度	67%					
②★PRブース年間開設数【3-57】	目標		12	13	14	15	17	17
	実績	ー	12					
（指標及びH32目標値の設定理由） 物産展に参加し、加西産品を販売した回数をH32に5回増とする。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	71%					

H27取組状況	五つ星ひょうごに高橋醤油の古式三年しょうゆが選ばれました。 加西市観光まちづくり協会として、市内外の物産展に12回出展しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 5年後の目標値を6→17に変更します。毎年、市内外の物産展等に参加をし、加西産品のPR、販売を市内事業者とともに行ってきています。今後も積極的に参加し、加西の魅力ある物産品を発信していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	B：予定より遅延	86%	67%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	100%	71%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	物産展に積極的に参加し、加西産品をPRするとともに、市内外での取扱い店舗を増やていく。	同左	同左
	経費（千円）	850	860	870
変更する内容				

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）加西産品の販売店舗数 （定義）加西産品を商品・食材として販売し、PRしている小売店舗数 （根拠）加西産品を販売している小売店、直売所をカウントする 　現在数の30%増（H27）及び60%増（H32） （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　27店　　現状：　35店　　5年後：　45店 （目標値3年）平成28年度：　37店　　平成29年度：　39店　　平成30年度：　41店 （指標名）★PRブース年間開設数 （定義）物産展に参加し、加西産品を販売した回数 （根拠）物産展へのブース出展回数をカウントする （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　回　　現状：　12　回　　5年後：　17（6）回 （目標値3年）平成28年度：　12回　　平成29年度：　13回　　平成30年度：　14回

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	5　ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業、ネットショップ事業	・同左	・同左
	経費（千円）	49,505	13,500	13,500

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
卸売業・小売業年間販売額（億円）	目標		700	710	720	735	750	750
	実績	493	667					
（指標及びH32目標値の設定理由） 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。	目標数値の達成度	単年度	95%					
		最終年度	89%					

H27取組状況	ポイントカードや市内共通商品券の発行だけでなく、ネットショップ事業にも活動範囲を広げることで、参加店が新しい商圏や販路の拡大、24時間受注できることによる売り上げの増加を目指し取り組みました。
課題と今後の取組	ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業やプレミアム付市内商品券事業の支援については、市内商業活性化に寄与していると考えられる。今後は、人口減少社会を迎え縮小するマーケットを補完するため、さらに効果的な事業運営を図る必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	95%	89%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業、ネットショップ事業	同左	同左
	経費（千円）	13,500	13,500	13,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）卸売業・小売業年間販売額 （定義）卸売業小売業合計の年間販売額 （根拠）商業統計 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H19）：　493億円　　現状：　700億円　　５年後：　750億円 （目標値３年）平成28年度：710億円　　平成29年度：720億円　　平成30年度：735億円			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	6　中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給	・同左	・同左
	経費（千円）	170,590	189,191	189,191

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
製造品出荷額等（億円）【4-67】	目標		2420	2480	2540	2600	2662	2662
	実績	2538	2514					
（指標及びH32目標値の設定理由） 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。	目標数値の達成度 単年度		104%					
	目標数値の達成度 最終年度		94%					

H27取組状況	中小企業制度融資について、中小企業支援対策として市が0.4%を利子補給しました。また信用保証協会保証料の20%を市が負担しました。
課題と今後の取組	他市町及び県の制度の動向等をみながら、制度のあり方を研究していく。また、金融機関と調整会議を開催し、ニーズの把握に努めていきたいと考えます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	104%	94%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給	同左	同左
	経費（千円）	170,590	189,191	189,191
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）製造品出荷額等 （定義）工業統計　４人以上の事業所のうち製造品出荷額等 （根拠）商業統計（毎年実施）　現状の２%増（25年度）、４%増（32年度）を見込む （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H20）：　2,538億円　　現状：　2,420億円　　５年後：　2,662億円（★5年間増加率10%） （目標値３年）平成28年度：2,480億円　　平成29年度：2,540億円　　平成30年度：2,600億円			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	7　地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・候補地調査	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	5,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内総生産（名目）【2-39、4-68】	目標		1931	1940	1950	1960	1980	1980
	実績	1819	1757					
（指標及びH32目標値の設定理由） H23年度の1,796億円から10年間で10%増を目安として設定	目標数値の達成度 単年度		91%					
	目標数値の達成度 最終年度		89%					

H27取組状況	（新規産業団地関係） ・H26に実施した新産業団地候補地絞込み調査業務の結果に基づき候補地の選定作業を進め、最有力候補地とした地域の自治会の役員向けに説明会を実施しました。 ・最有力候補地における都市計画法上の手続きについて県都市計画課と協議を行いました。 （市内企業の拡張の支援） ・市街化調整区域区域において、新たに工業系の土地利用を可能とする地区計画の策定手続きを進めました。（2地区）
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・新規産業団地については、整備手法・スケジュールについて県関係課と協議を行うとともに、都市計画法上の手続きを進めます。また、地域の理解を得るために、アンケート調査・説明会等を開催します。 ・特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の実情に沿った適切な制度の選択による規制緩和を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	91%	89%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	（新産業団地関係） ・整備手法等について、県関係課と協議 ・アンケート調査及び説明会の開催 （市内企業の拡張の支援） ・工業系特別指定区域制度における加西市独自基準の策定	（新産業団地関係） ・整備手法等について、県関係課と協議 ・市街化区域編入（一部）手続き （市内企業の拡張の支援） ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用	（新産業団地関係） ・将来整備計画地の調査 （市内企業の拡張の支援） ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用
	経費（千円）	0	5,000	0
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市内総生産（名目） （定義）名目市内総生産（GDP） （根拠）兵庫県市町内総生産統計表（毎年）H23年度の1,796億円から10年間で10%増を目安として設定 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H19）：1,819億円　現状：1,931億円　5年後：1,980億円 （目標値3年）平成28年度：1,940億円　平成29年度：1,950億円　平成30年度：1,960億円 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	8　宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・宿泊施設誘致にかかる効果検証支援業務	・公募型プロポーザルによる事業者の選定 ・基本設計、実施設計、建築手続 ・建築工事開始	・建築工事 ・開業
	経費（千円）	3,180	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★ホテル設置数	目標		―	0	1	1	1	1
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 宿泊施設誘致による市内へのホテル設置数。1カ所を目標に設定。	目標数値の達成度 単年度		－					
	目標数値の達成度 最終年度		－					

H27取組状況	宿泊施設誘致に向けた具体策を検討するため、宿泊施設誘致の可能性をあらゆる側面から調査検証を行いました。
課題と今後の取組	調査に基づき、関係部署による検討委員会を開催し、宿泊施設誘致に向けた課題について協議を行います。その後、プロポーザルによる事業者選定等、ホテル開業に向けた取り組みを行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	調査	－	－	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・公募型プロポーザルによる事業者の選定 ・基本設計、実施設計、建築手続 ・建築工事開始	・建築工事 ・開業	－
	経費（千円）	0	0	－
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★ホテル設置数 （定義）市内ホテル設置数 （根拠）市内ホテル設置数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　箇所　　現状：　―　箇所　　5年後：　1箇所 （目標値3年）平成28年度：　－　箇所　　平成29年度：　　1箇所　　平成30年度：　　1箇所			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	9　地域資源を活用した産業振興
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。
関連課名	農政課、産業振興課、文化・観光・スポーツ課、都市計画課、

基本計画	9　★魅力ある商業施設の誘致を図ります。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	－	・商業施設誘致についての調査研究	同左
	経費（千円）	－	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
卸売業・小売業年間販売額（億円）【3-56】	目標		700	710	720	735	750	750
	実績	493	667					
（指標及びH32目標値の設定理由） 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。	目標数値の達成度	単年度	95%					
		最終年度	89%					

H27取組状況	
課題と今後の取組	商業施設誘致についての調査・研究を行う。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究	同左	同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）卸売業・小売業年間販売額 （定義）卸売業小売業合計の年間販売額 （根拠）商業統計 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H19）：　493億円　　現状：　700億円　　5年後：　750億円 （目標値3年）平成28年度：710億円　　平成29年度：720億円　　平成30年度：735億円

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	1　新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・大学訪問 ・日経就職ナビ ・合同就職面接会	・同左	・同左
	経費（千円）	1,800	1,800	1,800

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①若者の加西市残存定住率	目標		73	75	76	77	80	80
	実績	73	74					
（指標及びH32目標値の設定理由） 大学就学前の若者が10年後に加西市に残存する率。年間1%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	101%					
		最終年度	93%					
②★勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率（%）【2-37】	目標		42	43	44	46	50	50
	実績	ー	41					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内事業所で働く従業員が市内に居住する割合。年間2%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	98%					
		最終年度	82%					

H27取組状況	兵庫県、大阪府、京都府の市内出身者の多い15大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めました。また、加西市雇用開発協議会、ハローワーク西脇と連携を図り、合同就職面接会を開催しました。 加西市雇用開発福祉協議会と連携を図り、就職ポータルサイト（日経就職ナビ）に市内の企業情報や採用情報を掲載しました。また企業情報の発信だけでなく、学生からのエントリーができるようにしました。
課題と今後の取組	大手企業の求人数増加により、地方の中小企業の人材確保が厳しい状況にあります。大学訪問や様々な媒体による市内企業のPRに努めていきます。また、現行の就職ポータルサイトの見直しも含め、サイトの強化を図りたいと考えています。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	101%	93%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	98%	82%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・大学訪問 ・日経就職ナビ ・合同就職面接会	同左	同左
	経費（千円）	1,800	1,800	1,800
変更する内容				

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）若者の加西市残存定住率 （定義）10年前に16～18歳であった若者における10年後（算出年度）の残存割合。新規転入者も含む。 （根拠）市人口データより算出 H22残存率（H22.3.31の26～28歳）÷（H12.3.31の16～18歳）　1,537人÷2,015人＝73% H27残存率（H27.3.31の26～28歳）÷（H17.3.31の16～18歳）　1,356人÷1,808人＝75% H32残存率（H32.3.31の26～28歳）÷（H22.3.31の16～18歳）　1,141人÷1,521人＝75% （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　73%　　現状：　73%　　5年後：　80% （目標値3年）平成28年度：　75%　　平成29年度：　76%　　平成30年度：　77% （指標名）★勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率 （定義）市内事業所従業員の市内居住率 （根拠）従業員数20名以上の市内事業所に対する雇用状況調査より算出 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　%　　現状：　42%　　5年後：　50% （目標値3年）平成28年度：　43%　　平成29年度：　44%　　平成30年度：　46%

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	2	働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。		
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業	・同左	・同左
	経費（千円）	8,104	8,725	8,725

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ふるさとハローワークにおける就職者数	目標		568	620	640	660	680	700
	実績	ー	600					
（指標及びH32目標値の設定理由） ふるさとハローワークからの紹介による就職者数。年間20名の増加を目標設定。	目標数値の達成度 単年度		106%					
	目標数値の達成度 最終年度		86%					

H27取組状況	・小学生の親子を対象に夏休み産業観光ツアーを開催し、子どもたちに「市内のモノづくり優良企業」への興味や関心を高めてもらい、将来の加西への定住促進を図りました。 ・ふるさとハローワークを運営し、市民の就職の促進と生活の安定を図りました。また、就労支援員による相談を実施しました。 ・利用者と就職件数の増加を目指して、定期的に就職支援セミナーを開催しました。
課題と今後の取組	・ふるさと就職支援事業については継続的に実施します。 ・ふるさとハローワークの利用者の増加と高い就職率を目指し、就労支援員と連携し、就職支援セミナーを定期開催していきます。今後、女性や社会的弱者にと特化したセミナー開催を目指します。 ・市内産業団地等の企業訪問により雇用のニーズ等を把握し、就職支援の充実を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	106%	86%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業	同左	同左
	経費（千円）	8,725	8,725	8,725
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）ふるさとハローワークにおける就職者数 （定義）ふるさとハローワークの紹介による就職者数 （根拠）ふるさとハローワークの紹介による就職者数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　－人　現状：600人　5年後：700人 （目標値3年）平成28年度：620人　平成29年度：640人　平成30年度：660人			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	3　若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・新規採用等雇用現況調査 ・各産業（工業）団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討	・同左	・同左
	経費（千円）	16	16	16

指標名	区分		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市内企業における住民就労率（%）	目標			35	36	37	38	39	40
	実績		30	36					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内産業団地において就労する市民の割合を示す数値で、年間1%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度		103%					
		最終年度		90%					
②★若者就職支援事業による市内事業所従業員市内居住率（%）【2-34】	目標			42	43	44	46	50	50
	実績		ー	41					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内事業所において就労する市民の割合を示す数値で、年間2%の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度		98%					
		最終年度		82%					

H27取組状況	産業（工業）団地を含む市内企業を対象に雇用アンケート調査を行い、若年者の新規雇用の状況及び就業形態、労働者の居住地域などの分析を行いました。また県土地開発公社や商工会議所、各産業（工業）団地連絡協議会と連携を図りました。
課題と今後の取組	アンケートの調査結果を分析し、新たな定住促進施策を立案していく必要があります。また、施策立案に当たっては、産業（工業）団地連絡協議会と連携を図り、様々なニーズ調査等を行う必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
①	②実行中	A：予定通り進行	103%	90%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	98%	82%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・新規採用等雇用現況調査 ・各産業（工業）団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討	同左	同左
	経費（千円）	16	16	16

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市内企業における住民就労率 （定義）市内4産業団地の企業に勤務する従業員における加西市民の割合 （根拠）各企業に聞き取り調査を行い、年1%増を見込む （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　30%　　現状：　35%　　5年後：　40% （目標値3年）平成28年度：　36%　　平成29年度：　37%　　平成30年度：　38% （指標名）★若者就職支援事業による市内事業所従業員市内居住率 （定義）市内事業所従業員の市内居住率 （根拠）従業員数20名以上の市内事業所に対する雇用状況調査より算出 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　%　　現状：　42%　　5年後：　50% （目標値3年）平成28年度：　43%　　平成29年度：　44%　　平成30年度：　46%

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	4　ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度	・同左	・同左
	経費（千円）	216	900	900

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★就職支援助成年間件数【2-38】	目標		1	2	4	6	10	10
	実績	―	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 再就職をめざす女性の講座受講を示す数値で、年間2件の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	10%					

H27取組状況	ふるさとハローワークの利用者の増加を目指し、求職者に対する就職支援セミナーを定期開催しました。また、関係機関との連携により、女性や社会的弱者に対する相談体制を構築しました。さらに、出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を創設しました。
課題と今後の取組	就職支援セミナーについて、年間の実施回数を増やすとともに、女性向けや社会的弱者向けのセミナーを開催する等、内容の充実を図ります。また、子育てママ就職支援補助制度の対象を拡大し、利用者の拡大を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	10%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度	同左	同左
	経費（千円）	216	900	900
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★就職支援助成年間件数 （定義）出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する制度の助成件数 （根拠）出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する制度の助成件数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　件　　現状：　―　件　　5年後：　10件 （目標値3年）平成28年度：　2件　　平成29年度：　4件　　平成30年度：　6件			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	5　★市内企業への高校生の就職を支援します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携	同左	同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数【2-32】	目標		71	75	80	85	100	100
	実績	―	－					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内事業所による高校生採用人数を示す数値で、年間5名の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	平成28年度より実施
課題と今後の取組	市内事業所への訪問を行い、雇用ニーズの把握や高校生の雇用に対する協力を依頼します。また、ハローワーク等の関係機関と連携し、必要な対策について協議を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携	同左	同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数 （定義）従業員数20名以上の市内事業所における高校新卒採用者数 （根拠）従業員数20名以上の市内事業所に対する雇用状況調査より算出 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　　現状：　71人　　5年後：　100人 （目標値3年）平成28年度：　75人　平成29年度：　80人　平成30年度：　85人

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	6　★働く女性の雇用を推進します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育てママ就職支援補助制度	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育てママ就職支援補助制度 ・国県等の助成制度の調査研究	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討
	経費（千円）	216	900	900

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★市内事業所女性従業員正社員率（%）【2-33】	目標		43	43	45	47	50	50
	実績	ー	41					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内事業所に勤務する女性従業員のうち正社員の割合。年間2%の増加を目標設定。	目標数値の達成度 単年度		95%					
	目標数値の達成度 最終年度		82%					

H27取組状況	ふるさとハローワークの利用者の増加を目指し、求職者に対する就職支援セミナーを定期開催しました。また、関係機関との連携により、女性や社会的弱者に対する相談体制を構築しました。さらに、出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を創設しました。
課題と 今後の取組	就職支援セミナーについて、年間の実施回数を増やすとともに、女性向けや社会的弱者向けのセミナーを開催する等、内容の充実を図ります。また、子育てママ就職支援補助制度の対象を拡大し、利用者の拡大を図ります。さらに、女性の正規雇用の拡充を推進する企業に対する助成制度等を検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	95%	82%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育てママ就職支援補助制度 ・国県等の助成制度の調査研究	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討	同左
	経費（千円）	216	900	900
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★市内事業所女性従業員正社員率 （定義）市内事業所の女性従業員数に占める正社員の割合 （根拠）従業員数20名以上の市内事業所に対する雇用状況調査より算出 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　%　　現状：　43%　　5年後：　50% （目標値3年）平成28年度：　43%　　平成29年度：　45%　　平成30年度：　47%			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	7　★返還している奨学金への助成により、UJIターンによる定住を促進します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助	同左	同左
	経費（千円）	6,727	9,780	11,400

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★UJIターン者数【2-36】	目標		123	170	228	288	350	410
	実績	ー	123					
（指標及びH32目標値の設定理由）「UJIターン促進補助金」の交付を受けたUIJターン者を指標とし、年間60名程度の増加を想定。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		30%					

H27取組状況	UJIターン促進補助金の交付により、奨学金の利用により大学等に進学した者のUJIターンの促進を積極的に図りました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 補助制度自体は就労を要件としていないが、就労に係る情報と併せて補助制度の周知を積極的に図ることにより、総合的なUJIターンの支援を行うようにします。 また毎年新たに補助金の交付を受ける者に対して実施しているアンケート結果を踏まえて、よりUJIターンに寄与するような制度となるよう適宜見直しを行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	30%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助	同左	同左
	経費（千円）	9,780	11,400	15,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★UJIターン者数 （定義）UJIターン促進補助金の交付を受ける者 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　　現状：　123人　　5年後：　410人 （目標値3年）平成28年度：170人　　平成29年度：228人　　平成30年度：288人			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	8　★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・若者チャレンジ事業	若者チャレンジ事業	若者チャレンジ事業
	経費（千円）	500	750	750

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数【2-41】	目標		5	5	5	5	5	5
	実績	―	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 若者事業予算に即して5とする。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	加西市PR動画制作、市内店舗と連携しはりまるを使用したメニューの開発などを実施しました。 市内高校生を中心とした若者グループの地域活性化活動を広げました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 若者活動の地域への還元⇒地域企業とのマッチングやコラボレーションにより地域産業貢献を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	若者チャレンジ事業	若者チャレンジ事業	若者チャレンジ事業
	経費（千円）	750	750	750

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数 （定義）若者誘致と自己実現 （根拠）自己実現可能なサードプレイスづくりとして機能する事業であるため。 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　件　　現状：　5件　　5年後：　5件 （目標値3年）平成28年度：5件　　平成29年度：5件　　平成30年度：5件

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	9　★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	若者起業調査助成事業	同左	同左
	経費（千円）	600	750	750

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★若者起業支援年間件数【2-42】	目標		4	5	5	5	5	5
	実績	ー	4					
（指標及びH32目標値の設定理由） 予算・人員に伴い、全体で5件程度が限界であるため。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		80%					

H27取組状況	webプロモーションコーディネートビジネス事業開設(予定)、ピザ店舗開業ほか4件の相談中1件開業に至りました。他の1件は今年度開業予定です。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 起業・創業誘致及び起業後の関係づくりが必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	100%	80%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	若者起業調査助成事業	同左	同左
	経費（千円）	750千円	750千円	750千円
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★若者起業支援年間件数 （定義）若者起業者誘致と起業化 （根拠）加西市における起業マーケット調査を推進する事で起業の実現性を調査し、ウィークポイントに関してサポートして起業に繋げる。 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　件　　現状：3件　　5年後：5件 （目標値3年）平成28年度：　5件　　平成29年度：5件　　平成30年度：5件			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10　加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
関連課名	産業振興課、人口増政策課、ふるさと創造課

基本計画	10　★創業希望者に対する支援体制を構築します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・創業支援事業計画の策定 ・ワンストップ相談窓口の設置 ・かさい創業塾の開催 ・創業支援相談窓口の設置	・ワンストップ相談窓口 ・かさい創業塾 ・創業支援相談窓口 ・創業支援施策の調査研究	同左
	経費（千円）	493	500	500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★年間創業者数【2-45】	目標		3	5	5	7	7	7
	実績	―	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 創業支援事業を受けて創業した人数で、最終年度に年間7名（倍増）の創業を目標設定。	目標数値の達成度 単年度		167%					
	目標数値の達成度 最終年度		71%					

H27取組状況	産業競争力強化法に基づく創業支援計画を策定し、国の認定を受けました。計画に基づき、ワンストップ相談窓口の設置（産業振興課）、かさい創業塾の開催（加西商工会議所）、創業支援相談窓口の設置（加西商工会議所）を行い、創業希望者に対する支援を行いました。
課題と 今後の取組	さらなる創業の促進を図るため、創業者向けの融資制度等の支援策を検討していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	167%	71%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・ワンストップ相談窓口 ・かさい創業塾 ・創業支援相談窓口 ・創業支援施策の調査研究	同左	同左
	経費（千円）	500	500	500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★年間創業者数 （定義）創業支援事業による年間創業者数 （根拠）創業支援事業による年間創業者数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　件　　現状：3件　　5年後：7件 （目標値3年）平成28年度：5件　　平成29年度：5件　　平成30年度：7件			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11　加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	1　地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・文化財サポーター活動と特別展示開催	・特別展示の開催 ・文化財等歴史遺産の看板設置	同左
	経費（千円）	0	384	400

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
文化財の新規指定・登録件数	目標		10	11	12	13	14	15
	実績	5	8					
（指標及びH32目標値の設定理由） H32までに3倍増の累計15件を指定する。	目標数値の達成度 単年度		80%					
	目標数値の達成度 最終年度		53%					

H27取組状況	文化財サポーター活動として五百羅漢石仏の調査を実施しました。H27年度に実施した丸山ノ下遺跡発掘調査の速報展および、秋の特別展として「玉丘古墳と巨大長持形石棺」を開催しました。歴史文化遺産の活用としては「青野原俘虜収容所開設100周年事業」を実施しました。 文化財指定に関しては2物件を文化財審議委員会に諮ったが継続審議となりました。
課題と今後の取組	文化財サポーターの石仏調査については、H28年度から歴史文化基本構想の基礎調査へ移行します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	80%	53%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	住吉神社歴史的建造物群の文化財指定 文化財等看板設置 特別展の開催	五百羅漢石仏追加指定 文化財等看板設置 特別展の開催	文化財等看板設置 特別展の開催
	経費（千円）	384	400	400
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）文化財の新規指定・登録件数 （定義）新規に指定・登録する国・県・市の文化財件数 （根拠）過去の実績データから算出 （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：5件　現状：8件　5年後：15件 （目標値3年）平成28年度：3件指定　平成29年度：1件指定　平成30年度：1件指定			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11　加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	2　★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容		・歴史文化基本構想策定のための基礎調査実施	・歴史文化基本構想策定 ・シンポジウムの開催
	経費（千円）		4,500	5,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★歴史文化遺産の調査	目標		0	10	15	18	20	20
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 歴史文化遺産20件の調査を実施する	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	H28年度から着手します。
課題と今後の取組	H28年度から歴史文化基本構想の策定に本格的に着手し、H29年度に策定、H30年度に日本遺産へ申請する予定です。基本構想の策定および日本遺産申請には、文化や観光部局、住民活動等、横断的な組織づくりと運用が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	歴史文化基本構想策定のための基礎調査実施	歴史文化基本構想策定 シンポジウムの開催	日本遺産申請
	経費（千円）	4,500	5,000	

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★歴史文化遺産の調査 （定義）石仏及び古史料の調査と記録 （根拠）市内10地区×2物件 （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　件　　現状：　0件　　5年後：　20件 （目標値3年）平成28年度：10件　　平成29年度：5件　　平成30年度：3件

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11　加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	3	ツーリズムによる地域資源をつなげる観光ツアーや着地型のふるさと再発見ツアーを実施し、市内外に魅力を情報発信します。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・加西風土記1300年ウォークの開催 ・観光まちづくり協会主催バスツアー ・加西市滞在型バスツアー助成金制度	・同左	・同左
	経費（千円）	1,756	900	1,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数	目標			2000	2200	2400	2600	2800	3000
	実績		1450	1990					
（指標及びH32目標値の設定理由） H32の参加者数を1000人増の3000人を想定	目標数値の達成度	単年度		100%					
		最終年度		66%					
②★フェイスブック「いいね！」件数【3-58】	目標			736	1100	1200	1300	1400	1500
	実績		ー	1011					
（指標及びH32目標値の設定理由） H32の目標値をH27に達成したため、倍増の目標に変更する	目標数値の達成度	単年度		137%					
		最終年度		67%					

H27取組状況	・H27は、戦後70年という節目の年であり、戦争遺産シンポジウムを開催し、大阪、神戸、姫路からバスツアーを企画しました。ガイド、神鉄との共催ハイキングは年約1,300人が参加。バス助成金制度を利用したツアーは16団体484名にのぼりました。 ・フェイスブックはほぼ毎日更新を行い、多くの方に「いいね！」をしていただきました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 フェイスブックの「いいね！」数は前倒しで達成したため、目標値を変更。今後も適時的確に旬な情報発信に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	100%	66%	A：目標を上回って達成	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	137%	67%		

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11　加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催でハイキングなどを企画、開催する。 ・加西の旬な情報を適時的確にfacebookで発信し、加西ファンを増やす。	同左	同左
	経費（千円）	900	1,000	1,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数 （定義）加西市観光まちづくり協会が主催、共催、後援、協力等を行う観光ツアーの参加者数 協会及び市が把握しているツアーの累計 （根拠）平成27年度　観光入込予測数（100万人）の0.2% 平成32年度　観光入込予測数（100万人）の0.5% （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　1,450人　　現状：　2,000人　　５年後：　3,000人 （目標値３年）平成28年度：　2,200人　　平成29年度：　2,400人　　平成30年度：　2,600人 （指標名）★フェイスブック「いいね！」件数 （定義）年度末時点の加西市観光まちづくり協会の「いいね！」数 （根拠）３月末日時点での加西市観光まちづくり協会facebookの「いいね！」数をカウント （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　件　　現状：　736件　　５年後：　1,500（1,000）件 （目標値３年）平成28年度：　1,100件　　平成29年度：　1,200件　　平成30年度：　1,300件			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11　加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	4　特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・加西喝采ブランド事業の創設	・加西喝采ブランド事業の創設 ・観光動態調査	・第2次加西市観光推進基本計画」の策定
	経費（千円）	713	500	3,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西喝采ブランド品数	目標		30	30	30	35	35	35
	実績	―	30					
（指標及びH32目標値の設定理由） 加西喝采みやげ数を増やすため現状の30品をH32に35品に増やします。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		86%					

H27取組状況	・加西喝采みやげ事業を創設し、市民の方々から推薦をいただいたお土産30品目を選定。ガイドブック、シール、ミニのぼり旗を作成しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・今後も定期的（3年に1回程度）に更新をしていき、加西喝采みやげ数を増やしていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	86%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	物産展等で加西喝采みやげブースを出展する	同左	加西喝采みやげを更新する
	経費（千円）	50	50	500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）加西喝采ブランド品数 （定義）加西喝采ブランド事業を創設し、加西おすすめ物産品をふやしていく。 （根拠）加西喝采みやげ認定数をカウント （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　なし　現状：30品　5年後：35品 （目標値3年）平成28年度：30品　平成29年度：30品　平成30年度：35品			

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11　加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	5	★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	かさいまちあそび体験交流プログラムの開催	同左	同左
	経費（千円）	1,634	2,000	1,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★かさいまちあそび年間参加人数【6-92】 ★田舎体験プログラム年間参加人数【2-51】	目標		400	850	900	950	1000	1050
	実績	―	843					
（指標及びH32目標値の設定理由） H32の目標値をH27に達成したため、約倍増の目標に変更する	目標数値の達成度 単年度		211%					
	目標数値の達成度 最終年度		80%					

H27取組状況	市内の各団体がそれぞれに開催していたイベントや体験プログラムを一冊のガイドブックに取りまとめ、42のプログラムを「かさいまちあそび2015秋」として10/3～11/3の1ヵ月間に集中して実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 加西市の魅力を発見する新たなプログラムの発掘と体験交流プログラムづくりに取り組む団体を育成します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	211%	80%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	かさいまちあそび体験交流プログラムの開催	同左	同左
	経費（千円）	2,000	1,500	1,500

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★かさいまちあそび年間参加人数 （定義）かさいまちあそびの各プログラムへの参加人数 （根拠）かさいまちあそびの各プログラムへの参加人数をカウント （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　　現状：　400人　　5年後：　1,050（500）人 （目標値3年）平成28年度：　850人　　平成29年度：　900人　　平成30年度：　950人

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11　加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	6　★観光拠点のネットワーク化を図ります。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	既に「いこいの村はりま」に設置済。その他観光拠点にはなし。	Wi-Fi整備計画の立案	観光拠点3ヵ所程度にWi-Fi施設を整備
	経費（千円）	0	0	1,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★観光施設Wi-Fiスポット数【3-54】	目標		1	1	4	6	10	10
	実績	ー	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 観光施設の利便性向上のため現状1箇所を10箇所に増やします。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	10%					

H27取組状況	特に取組みなし。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 Wi-Fiの整備は、インバウンドの関係からも今後必須になってきます。きちんと整備計画を立てて、計画的に行っていくことが必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	10%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	Wi-Fi整備計画の立案	観光拠点3ヵ所程度にWi-Fi施設を整備	観光拠点2ヵ所程度にWi-Fi施設を整備
	経費（千円）	0	1,000	600

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★観光施設Wi-Fiスポット数 （定義）観光動態調査で対象となっている観光施設にWi-Fi環境を整備 （根拠）Wi-Fi環境が整備されている観光施設数をカウントする。 （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　か所　　現状：　1か所　　5年後：　10か所 （目標値3年）平成28年度：　1か所　　平成29年度：　4か所　　平成30年度：　10か所

平成27年度

基本政策	3　地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	11　加西らしい観光サービス
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。
関連課名	生涯学習課、文化・観光・スポーツ課、人口増政策課、

基本計画	7　★緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	検討	調査研究
	経費（千円）	0	0	3,000

指標名	区分		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
★根日女の森整備構想とりまとめ【3-55】	目標			―	0	0	0	1	1
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 整備推進の前段となる基本構想のとりまとめが第1段階の目標となる。	目標数値の達成度	単年度		－					
		最終年度		－					

H27取組状況	―
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 根日女の森整備基本構想策定に向けた調査研究の前段階として、事例等の資料収集を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	検討	調査研究	同左
	経費（千円）	0	3,000	3,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★根日女の森整備構想とりまとめ （定義）根日女の森整備構想策定数 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課 （目標値10年）当初（H22）：　―　か所　　現状：　―　か所　　5年後：　1か所 （目標値3年）平成28年度：　―　か所　　平成29年度：　―　か所　　平成30年度：　―　か所

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	1　市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。			
主管部課	部名	総務部	課名	管財課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	市有未利用地売却の推進	市有未利用地売却の推進	北条町東南医師住宅解体
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市所有未利用地の住宅開発年間箇所数	目標		0	0	0	1	0	2
	実績	0	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 計画期間内に市有未利用地の解消を目標とする。	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	近畿財務局や市のホームページで情報を発信するなどし、太陽光発電設備や倉庫用途として複数協議を行ったが宅地利用としては協議に至りませんでした。売却できた市有地は、道路残地の限られたものとなりました。
課題と今後の取組	旧消防署跡地は、既に更地で売り出しているものの土地形状に問題があり売却には至りませんでした。東南住宅跡地については、隣地の開発状況を見ながら売却方法を検討していきます。旧庁舎については、北条市街地という点から宅地に限らない効果的な活用方法を検討していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	協議	－	－	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	売却の広報	北条町東南医師住宅解体	消防署跡地売却
	経費（千円）	0	5,000	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市所有未利用地の住宅開発箇所数 （定義）市所有未利用地を分譲開発した住宅数 （根拠）平成23年３月時点で市が所有する未利用地の内、住宅開発が見込める箇所数 （担当者）管財課長 （目標値10年）当初（H22）：　0箇所　　現状：　0箇所　　５年後：　2箇所 （目標値３年）平成28年度：　　0箇所　　平成29年度：　　0箇所　　平成30年度：　　1箇所

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	2　住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・埋蔵文化財発掘調査 ・測量業務 ・造成工事	・測量業務 ・造成工事 ・保留地販売業務	・測量業務 ・造成工事 ・保留地販売業務 ・換地計画業務
	経費（千円）	54,451	87,344	85,515

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数【1-31】	目標		0	0	30	40	50	50
	実績	0	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 保留地において整備された住宅戸数を指標としているが、完売には日数が必要なため、7割を設定（目標値は延べ件数）	目標数値の達成度 単年度		0%					
	目標数値の達成度 最終年度		0%					

H27取組状況	区画整理事業に必要な測量業務等を行うとともに、H27年7月より工事着手しました。 また、良好な住環境の形成を図ることを目的として、地区計画の指定を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 保留地販売面積が14,660㎡と大きく、住宅戸数にすると80戸超となることから、有効な保留地販売方法の検討を行い、販売促進に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	工事	0%	0%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・測量業務 ・造成工事 ・保留地販売業務	・測量業務 ・造成工事 ・保留地販売業務 ・換地計画業務	・換地計画、処分業務 ・登記業務
	経費（千円）	87,344	85,515	3,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数 （定義）西高室地区土地区画整理事業完了後の区域内住宅建築戸数 （根拠）保留地販売目標件数 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　0戸　　現状：　0戸　　5年後：　50戸 （目標値3年）平成28年度：　0戸　　平成29年度：　30戸　　平成30年度：　40戸			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	3	北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区 や文化財の指定を受け、規制、誘導方策によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。		
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
実施スケジュール	取組内容	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①景観形成に関する条例届出年間受付件数	目標		20	20	20	20	20	20
	実績	ー	16					
（指標及びH32目標値の設定理由） 区域内での建築確認申請見込み件数より設定	目標数値の達成度	単年度	80%					
		最終年度	80%					
②景観形成支援事業修景助成金年間交付件数	目標		1	1	1	1	1	1
	実績	ー	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） リフォーム、耐震改修なども兼ねて工事を行う見込み件数より設定	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	100%					

H27取組状況	・景観形成に関する条例に基づく届出に合わせ、北条地区の歴史的町並み景観に配慮した適切な指導・助言を行うとともに、制度のPRを行いました。 　また、北条市街化住環境整備事業との連携により、景観形成支援事業修景助成金の申請を1件受け付けました。 ・「水田家住宅」が県景観形成重要建造物に指定されました。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・引き続き、適切な指導・助言を行うとともに、制度のPRに努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	80%	80%	C：目標を下回っている	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%		

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR
	経費（千円）	0	0	0
変更する内容				

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）景観形成に関する条例届出年間受付件数 （定義）同上 （根拠）区域内での建築確認申請見込み件数より設定 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　件　　現状：20件　　５年後：20件 （目標値３年）平成28年度：20件　　平成29年度：20件　　平成30年度：20件 （指標名）景観形成支援事業修景助成金年間交付件数 （定義）同上 （根拠）リフォーム、耐震改修なども兼ねて工事を行う見込み件数より設定 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　件　　現状：1件　　５年後：1件 （目標値３年）平成28年度：1件　　平成29年度：1件　　平成30年度：1件

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	4　空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業	・同左	・同左
	経費（千円）	4,672	7,400	7,400

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市街化区域内の商業店舗立地件数	目標			250	250	250	250	250	250
	実績		244	211					
（指標及びH32目標値の設定理由） 中心市街地に立地する商業店舗数で、当初数値並の店舗数維持を目標設定。	目標数値の達成度	単年度		84%					
		最終年度		84%					
②★宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数【2-40】	目標			0	1	2	3	5	5
	実績		―	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市街地区域の土地の流動化を図ることにより年間1件程度の店舗新設を想定。	目標数値の達成度	単年度		0%					
		最終年度		0%					
③★店舗等立地促進補助金受給件数【2-43】	目標			―	1	2	3	5	5
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度		－					
		最終年度		－					
④★空き店舗活用補助金受給件数【2-44】	目標			4	3	6	9	15	15
	実績		―	4					
（指標及びH32目標値の設定理由） 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度		100%					
		最終年度		27%					

H27取組状況	平成26年度より空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度を創設しました。また、平成27年度に創業支援事業計画を策定し、創業希望者に対する支援を実施しました。
課題と今後の取組	空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度についての制度周知を図るとともに、創業支援事業について、関係機関と連携した取り組みを進めていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	B：予定より遅延	84%	84%	C：目標を下回っている	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	0%	0%		
③	①未着手	H28新規	－	－		
④	②実行中	A：予定通り進行	100%	27%		

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業	同左	同左
	経費（千円）	7,400	7,400	7,400
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市街化区域内の商業店舗立地件数 （定義） （根拠）商業統計（H24、29予定）における市街化区域内の調査票配布枚数（※商業統計は、平成26年度実施。） （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H19）：　244件　　現状：　250件　　５年後：　250件 （目標値３年）平成28年度：　250件　　平成29年度：　250件　　平成30年度：　250件 （指標名）★宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数 （定義）宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数 （根拠）宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　件　　現状：　0件　　５年後：　5件 （目標値３年）平成28年度：　1件　　平成29年度：　2件　　平成30年度：　3件 （指標名）★店舗等立地促進補助金受給件数 （定義）店舗等立地促進補助金受給件数 （根拠）店舗等立地促進補助金受給件数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　件　　現状：　－　件　　５年後：　5件 （目標値３年）平成28年度：　1件　　平成29年度：　2件　　平成30年度：　3件 （指標名）★空き店舗活用補助金受給件数 （定義）空き店舗活用補助金受給件数 （根拠）空き店舗活用補助金受給件数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　－件　　現状：　4件　　５年後：　15件 （目標値３年）平成28年度：　3件　　平成29年度：　6件　　平成30年度：　9件			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	5　空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施	固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守	同左
	経費（千円）	0	130	130

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
空き家バンクの年間登録数による定住件数【4-77】	目標		2	2	2	3	5	5
	実績	3	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 空き家バンクに登録された空き家における入居決定した件数の約倍増を想定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		40%					

H27取組状況	固定資産税納付者に対し、空き家バンク制度のPRを実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 登録物件数を増やすことが課題と捉えています。空き家所有者に空き家バンク制度の周知に取り組み物件を増やすとともに、移住相談の機会を増やすよう取り組みます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	40%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守	固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守	固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守
	経費（千円）	130	130	130

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）空き家バンクによる定住件数 （定義）空き家バンクに登録された空き家における入居決定した件数 （根拠）宅建業者からの報告をもとに、平成27年度は転入者数の1％、平成32年は転入者数の2％を見込む （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：3件　現状：2件　5年後：5件 （目標値3年）平成28年度：　2件　平成29年度：　2件　平成30年度：　3件

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	6　★新たな土地区画整理事業等を推進します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・候補地の調査 ・まちづくり勉強会の開催	・まちづくり勉強会の開催 ・土地利用に関するアンケート調査の実施 ・具体的なまちづくり手法の検討	・まちづくり勉強会の開催 ・土地利用計画の作成 ・地域住民の合意形成
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数【1-25】	目標		0	0	0	0	70	70
	実績	―	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 中野地区にある一団の未利用地の面積より設定	目標数値の達成度	単年度	0%					
		最終年度	0%					

H27取組状況	・候補地の調査を行うとともに、地域の課題を把握するためのまちづくり勉強会を開催しました。（2回）
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・引き続き、まちづくり勉強会を開催するとともに、土地利用に関するアンケート調査を実施し、地域住民の合意形成が得られる土地利用計画の作成や整備手法の検討を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	地元調整	－	－	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・まちづくり勉強会の開催 ・土地利用に関するアンケートの実施 ・具体的なまちづくり手法の検討	・まちづくり勉強会の開催 ・土地利用計画の作成 ・地域住民の合意形成	・測量・設計
	経費（千円）	0	0	0
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数 （定義）同上 （根拠）中野地区にある一団の未利用地の面積より設定 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　戸　　現状：　0戸　　5年後：　70戸 （目標値3年）平成28年度：　0戸　　平成29年度：　0戸　　平成30年度：　0戸			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	7　★市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。 8　★市街化区域での低未利用地の利用促進による土地の流動化を図り、住宅地の供給量を確保します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	住宅建築等のために自己の所有する市街化区域内の土地を売却した者に対して、譲渡所得の3%相当額を補助。	同左	同左
	経費（千円）	2,948	4,000	4,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積（㎡）【1-27】	目標		10,000	13,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	実績	―	10,028					
（指標及びH32目標値の設定理由） 「住宅建築のための宅地供給促進補助金」の交付を受けた対象土地の面積を指標とし、補助制度の期限のH29年度まで面積が増加する見込み。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		67%					

H27取組状況	住宅建築のための宅地供給促進補助金の交付により、市街化区域の土地の流動化を図り、住宅建築による定住促進を推進しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 サンセット方式により、当該補助制度は平成28年12月31日までに売却したものまでを対象とするが、その後の西高室区画整理における保留地等の売却状況や民間によるミニ開発等の状況を踏まえながら、中長期的に市街化区域の土地の流動化について検討していく必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	67%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	住宅建築等のために自己の所有する市街化区域内の土地を売却した者に対して、譲渡所得の3%相当額を補助。	同左	―
	経費（千円）	4,000	4,000	0
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積 （定義）住宅建築のための宅地供給促進補助金の交付を受けた対象土地の面積 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　㎡　現状：　10,000㎡　5年後：　15,000㎡ （目標値3年）平成28年度：13,000㎡　平成29年度：15,000㎡　平成30年度：15,000㎡			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	9　★賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間（単身用については10年間）補助	同左	同左
	経費（千円）	4,511	8,137	8,137

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数【1-28】	目標		110	200	300	300	300	300
	実績	ー	106					
（指標及びH32目標値の設定理由） 定住促進を推進するため、賃貸共同住宅建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数を現状の約3倍増を想定	目標数値の達成度 単年度		96%					
	目標数値の達成度 最終年度		35%					

H27取組状況	賃貸共同住宅建設促進補助金の交付により賃貸共同住宅の戸数の確保を図り、賃貸共同住宅建設による定住促進を推進しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 賃貸共同住宅の建設促進により、市民ニーズや市内企業の求める戸数の確保が一定図ることが出来ました。当該制度はサンセット方式となっており、平成28年12月31日までに完成した賃貸共同住宅までを対象とするが、今後は築年数が経過した賃貸共同住宅を借上型市営住宅等で利活用する等、既存ストックの利活用も含めた賃貸共同住宅の在り方について検討する必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	96%	35%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間（単身用については10年間）補助	同左	同左
	経費（千円）	8,137	8,137	8,137
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数 （定義）賃貸共同住宅等建設促進補助金の交付対象となった賃貸共同住宅の戸数 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　戸　　現状：　110戸　　5年後：　300戸 （目標値3年）平成28年度：200戸　　平成29年度：300戸　　平成30年度：300戸			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	10　★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	・空き家・空き店舗助成 ・プロモーション方針 ・ビジョン作成	・先行事業実施 ・改修助成検討
	経費（千円）		6,912	

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★空き家・空き店舗年間助成数【4-74】	目標		―	－	－	1	1	1
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 28年度中に、ブランディングの方針を定め、29年度に助成施策を決定し30年度以降1件の助成を目指す。	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	―
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 28年度中に、ブランディングの方針を定め、29年度に改修助成施策を決定し、30年度以降1件の助成を目指します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・空き家・空き店舗助成 ・プロモーション方針 ・ビジョン作成	・先行事業実施 ・改修助成検討	・同左
	経費（千円）	17,712	17,820	17,820

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★空き家・空き店舗年間助成数 （定義）地域活性化のために必要な空き家・空き店舗の活用に必要な助成を行った件数 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　件　　現状：　―　件　　5年後：　1件 （目標値3年）平成28年度：　－件　　平成29年度：　1件　　平成30年度：　1件

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	12　魅力ある中心市街地の形成
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。
関連課名	管財課、都市計画課、産業振興課、人口増政策課

基本計画	11　★住環境整備による定住促進を図ります。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・まちづくり勉強会の開催 ・空き家除却 ・狭あい道路整備	・まちづくり勉強会の開催 ・空き家除却 ・狭あい道路整備	・まちづくり勉強会の開催 ・空き家除却 ・狭あい道路整備
	経費（千円）	7,707	20,150	26,150

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数【4-78】	目標		2	9	16	23	30	30
	実績	―	4					
（指標及びH32目標値の設定理由） 年間の空き家除却及び狭あい道路整備件数から推測した数値を設定（目標値、実績値は延べ戸数）	目標数値の達成度 単年度		200%					
	目標数値の達成度 最終年度		13%					

H27取組状況	・制度の周知及び市民協働のまちづくりをすすめるために、勉強会を4回開催しました。これにより、不良住宅3件・狭隘道路沿道空き家1件を除却するとともに狭あい道路拡幅整備工事を3件実施した。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・引き続き、制度の周知を図るとともに、対象路線・助成内容の拡充を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	200%	13%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・まちづくり勉強会の開催 ・空き家除却 ・狭あい道路整備	・まちづくり勉強会の開催 ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備	・まちづくり勉強会の開催 ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備
	経費（千円）	20,150	26,150	26,150
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数 （定義）空き家除却又は狭あい道路整備を図った住宅戸数 （根拠）年間の空き家除却及び狭あい道路整備件数から推測した数値を設定 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　戸　　現状：　2戸　　5年後：　30戸 （目標値3年）平成28年度：　8戸　　平成29年度：　14戸　　平成30年度：　20戸			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	1　移住体験施設（お試し住宅）の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・創造会議等にお試し住居の運営等の打診。住居の借上げ。	・同左	・同左
	経費（千円）			

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①★お試し滞在施設数【3-63】	目標		―	1	1	2	3	3
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市北部、市街地、南部の3ヶ所で、創造会議による立ち上げを目指す	目標数値の達成度 単年度		－					
	目標数値の達成度 最終年度		－					
②★移住マッチング支援相談年間件数【3-64】	目標		5	25	30	35	50	50
	実績	―	20					
（指標及びH32目標値の設定理由） 移住相談会等への参加体制を整えることで年間50件の相談を受けることを目指す	目標数値の達成度 単年度		400%					
	目標数値の達成度 最終年度		40%					
③★空き家改修年間助成数【4-76】	目標		1	3	3	3	5	5
	実績	―	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 制度の周知を図り、登録物件を増やし、マッチングの成果を年間5件と設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		20%					

H27取組状況	創造会議にお試し住宅の運営等について説明を行いました。 お試し住居の運営を行ってもらうに当たって必要な制度の検討を始めました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 各地域の移住受入の機運を高めることが最初の課題と捉えています。そのうえで、創造会議に地域にお試し住居を用意する意義を理解いただき、お試し住居運営への機運を高めるとともに、必要な行政の施策・支援策を検討します。 創造会議運営以外のお試し住居の整備について検討を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
①	①未着手	H28新規	－	－	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	400%	40%		
③	②実行中	A：予定通り進行	100%	20%		

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	お試し住居の整備 創造会議等にお試し住居運営の打診	同左	同左
	経費（千円）			
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★お試し滞在施設数 （定義）　お試し滞在を希望する移住希望者が数か月滞在できる施設 （根拠）　お試し住居の必要性を認識いただくよう努め、年間1件の増を目指す （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　棟　現状：　ー　棟　５年後：　3棟 （目標値３年）平成28年度：　1棟　平成29年度：　1棟　平成30年度：　2棟 （指標名）★移住マッチング支援相談年間件数 （定義）　移住希望者の相談を受けた件数 （根拠）　年間3～5回の出張相談会を実施し、各回10件程度の相談を受けることを目指す （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　件　現状：　5件　５年後：　50件 （目標値３年）平成28年度：　25件　平成29年度：　30件　平成30年度：　35件 （指標名）★空き家改修年間助成数 （定義）　利用の決まった空き家への改修補助の実施件数 （根拠）　移住マッチングの増加と空き家の活用意義の普及により年間3件の空き家活用を目指す （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　件　現状：　1件　５年後：　5件 （目標値３年）平成28年度：　3件　平成29年度：　3件　平成30年度：　3件			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	2　県の特別指定区域制度 における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・ベルデしもさと第2弾となる、若者世帯の定住促進に向けた新たな受託団地の造成候補地の調査。	・ベルデしもさと第2弾候補地を決定し、特別指定区域制度又は地区計画制度を活用した候補地における市街化調整区域の建築制限の緩和。	・ベルデしもさと第2弾候補地の特別指定区域又は地区計画の指定。 ・ベルデしもさと第2弾の設計。
	経費（千円）	201	1,576	1,300

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
新規居住者地区住宅戸数	目標		3	4	4	6	8	10
	実績	0	3					
（指標及びH32目標値の設定理由） 宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しによる区域拡大等の販売を見込んで設定（目標値、実績値は延べ戸数）	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		30%					

H27取組状況	・定住促進まちづくり助成制度に基づく公共施設整備助成を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直し検討のためのまちづくり勉強会の開催と住民主体による土地利用計画の策定が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	30%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・まちづくりコンサルタント派遣による地元の合意形成 ・公共施設整備助成	・まちづくりコンサルタント派遣による土地利用計画の策定	・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直し案及び宇仁小跡地土地利用計画に沿った特別指定区域を指定する。
	経費（千円）	1,026	750	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）新規居住者地区住宅戸数 （定義）特別指定区域制度における新規居住者の住宅区域の住宅建築戸数 （根拠）宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しによる区域拡大を見込んで設定 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　0戸　　現状：　3戸　　5年後：　10戸 （目標値3年）平成28年度：　4戸　　平成29年度：　4戸　　平成30年度：　6戸

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	3　若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・若者世帯定住促進補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度	・同左	・同左
	経費（千円）	26,393	43,550	43,550

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数【1-26】	目標		35	40	40	45	50	50
	実績	7	37					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内に持家を取得した若者世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	106%					
		最終年度	74%					
②★新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数【1-30】	目標		52	60	60	65	70	70
	実績	ー	57					
（指標及びH32目標値の設定理由） 将来市内に持家を取得する可能性のある新婚世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定	目標数値の達成度	単年度	110%					
		最終年度	81%					

H27取組状況	新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。定住促進施策として、産業（工業）団地及び市外在住者等へ制度の周知を図りました。
課題と今後の取組	新婚世帯向け家賃補助制度及び若者世帯定住促進住宅補助制度を活用し、若者世帯の流出を防ぐとともに、加西市への定住促進施策として、産業（工業）団地及び市外在住者等へ周知徹底していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	S：予定より早く進行	106%	74%	A：目標を上回って達成	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	110%	81%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・若者世帯定住促進補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度	同左	同左
	経費（千円）	43,550	43,550	43,550
変更する内容				

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数 （定義）加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数 （根拠）加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　7件　　現状：　35件　　５年後：　50件 （目標値３年）平成28年度：　40件　　平成29年度：　40件　　平成30年度：　45件 （指標名）★新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数 （定義）新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数 （根拠）新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　件　　現状：　52件　　５年後：　70件 （目標値３年）平成28年度：　60件　　平成29年度：　60件　　平成30年度：　65件

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	4　交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度の活用を検討する。	・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度又は地区計画制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。	・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度又は地区計画制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★加西インター周辺の土地利用計画の作成数【4-75】	目標		―	0	0	0	1	1
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 土地利用計画の策定数	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	・県総合農政課、都市計画課、加古川流域土地改良事務所等とほ場整備事業と整合した土地利用のあり方について協議しました。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・ほ場整備事業と整合を図りつつ具体的な土地利用についての検討を進めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	調査	－	－	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。	・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。	・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。
	経費（千円）	0	0	0
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★加西インター周辺の土地利用計画の作成 （定義）同上 （根拠）土地利用計画の策定数 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　　現状：　―　　5年後：　作成 （目標値3年）平成28年度：　―　平成29年度：　－　平成30年度：　－			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	5　鵜野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・払い下げ手続き、審議会対応	・事業実施	・同左
	経費（千円）	24,430	184,900	214,153

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★鵜野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数【3-53】	目標		8000	8000	8000	8000	16000	16000
	実績	―	8000					
（指標及びH32目標値の設定理由） 都市再生整備計画の目標値（現状の倍増）を設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		50%					

H27取組状況	・飛行場跡地の払下げ手続きや審議会対応を行いました。 ・事業の実施に先立ち、地域住民とともに整備計画を策定し、観光ルート・緑道・防空壕整備の実施設計を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・都市再生整備計画に基づく事業実施を行うとともに、更なる交流人口増を目指して（仮称）鵜野ミュージアムや地域活性化施設の整備を図る必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	50%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・都市再生整備計画に基づく事業実施 ・交流のまちづくり促進事業に基づく（仮称）鵜野ミュージアム及び地域活性化施設の基本計画策定及び戦争遺産調査委託	・都市再生整備計画に基づく事業実施 ・交流のまちづくり促進事業	・都市再生生命計画に基づく事業実施 ・交流のまちづくり促進事業
	経費（千円）	204,900	252,235	162,277

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★鵜野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数 （定義）同上 （根拠）都市再生整備計画の目標値（現状の倍増）を設定 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　　現状：　8,000人　　5年後：　16,000人 （目標値3年）平成28年度：　8,000人　　平成29年度：　8,000人　　平成30年度：　8,000人

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	6　住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR ・「ベルデしもさと」のPR	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市街化調整区域における新築住宅戸数	目標		40	40	40	40	40	40
	実績	ー	43					
（指標及びH32目標値の設定理由） 周辺地域の定住促進の状況を示すもので、過去5年の平均値を設定	目標数値の達成度 単年度		108%					
	目標数値の達成度 最終年度		108%					

H27取組状況	・市ホームページや広報で、地縁者の住宅区域や新規居住者の住宅区域のPRを行いました。 ・市ホームページで定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・市ホームページや広報で、地縁者の住宅区域や新規居住者の住宅区域のPRを行います。 ・市ホームページで定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	108%	108%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市街化調整区域における新築住宅戸数 （定義）同上 （根拠）建築許可等による新築住宅建築戸数 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　戸　　現状：　40戸　　5年後：　40戸 （目標値3年）平成28年度：　40戸　　平成29年度：　40戸　　平成30年度：　40戸

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	7　★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・ベルデしもさとの販売 ・ベルデしもさと第2弾となる候補地の選定 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施	・ベルデしもさと第2弾候補地を決定し、特別指定区域制度又は地区計画制度を活用して、市街化調整区域の建築制限の緩和を図る。 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発可能性の調査を行う。	・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発候補地の選定
	経費（千円）	998	5,000	5,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数【1-24】	目標		28	60	100	150	200	200
	実績	ー	28					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市街化区域内での開発見込み戸数＋市街化調整区域内の各小学校区毎での開発目標戸数※実績はH27からの合計戸数です（目標値、実績値は延べ戸数）	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	14%					

H27取組状況	・ベルデしもさとの販売を行い、全28区画完売となりました。 ・ベルデしもさと第2弾となる候補地の選定を行いました。 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づく協議を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・ベルデしもさと第2弾の開発を行う民間事業者の募集、決定。 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発可能性について調査を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	14%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・ベルデしもさと第2弾候補地を決定し、特別指定区域制度又は地区計画制度を活用して、市街化調整区域の建築制限の緩和を図る。 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発可能性の調査を行う。	・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発候補地の選定	・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定
	経費（千円）	5,000	5,000	5,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数 （定義）同上 （根拠）市街化区域内での開発見込み戸数＋市街化調整区域内の各小学校区ごとでの開発目標戸数 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　戸　　現状：　28戸　　5年後：　200戸 （目標値3年）平成28年度：　60戸　　平成29年度：　90戸　　平成30年度：　120戸

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	8　★定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	不動産会社が実施する定住事業のバックアップ事業	同左	同左
	経費（千円）	0	0	1

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★かさいふたリズム推進事業年間利用件数【1-29】	目標		6	6	6	6	10	10
	実績	ー	6					
（指標及びH32目標値の設定理由）現状6件の利用件数を5ヵ年で10件に増加させる	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		60%					

H27取組状況	若者応援パートナー制度に基づく制度　平成28年度にパートナー登録更新に伴い、新しい誘致制度の確立に向け、担当者間で協議中です。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 あくまで、産官連携による制度であるため、今後さらに民間企業の連携参入を促進する必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	60%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	他県の民泊制度を参考にした市内導入を検討	まちづくり会社（仮）を創設し、民泊制度を活用して空き家対策を兼ねた移住制度を構築する。	同左
	経費（千円）	0	1,000	1,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★かさいふたリズム推進事業年間利用件数 （定義）かさいふたリズム推進事業年間利用件数 （根拠）同上 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　件　　現状：　6件　　5年後：　10件 （目標値3年）平成28年度：　5件　　平成29年度：　10件　　平成30年度：　15　件			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	13　周辺地域の定住促進
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課、都市計画課、産業振興課、ふるさと創造課

基本計画	9　★近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	ひょうご田舎暮らし・多自然地域支援協議会に加入。 ｶﾑﾊﾞｯｸひょうご事業に参加。	同左	同左
	経費（千円）	61	220	220

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★出張相談会年間参加数【2-35】	目標		1	3	3	3	3	3
	実績	ー	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 移住希望者に対する相談・PRを神戸・大阪・東京の3箇所で開催することを想定	目標数値の達成度 単年度		200%					
	目標数値の達成度 最終年度		67%					

H27取組状況	ひょうご田舎暮らし・多自然地域支援協議会に加入し、担当者会議等に出席しました。 （ふるさと回帰フェア（大阪ｼﾃｨﾌﾟﾗｻﾞﾎﾃﾙ、8/22）、ひょうご田舎暮らしｾﾐﾅｰ（ﾐﾝﾄ神戸、2/21））
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 平成27年度より兵庫県出身者を東京から呼び戻すという取り組みとして、カムバックひょうご東京ｾﾝﾀｰを立ち上げ、平成28年度より県下市町をブロックに分けて東京で相談会を開催することとなりました。 引き続き、多自然地域支援協議会にも加入し、年間3回程度の移住相談会に参加できる体制となっています。 移住に関するセクションが明確でない為、PRパンフ等が不足しており、他の自治体に後れを取っている状況です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	200%	67%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	大阪及び東京にて相談会に参加	大阪及び東京にて相談会に参加	大阪及び東京にて相談会に参加
	経費（千円）	220	220	220
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★出張相談会年間参加数 （定義）出張相談会年間参加数 （根拠）出張相談会年間参加数（神戸・大阪・東京の3回） （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　回　　現状：1回　　5年後：3回 （目標値3年）平成28年度：　3回　　平成29年度：　3回　　平成30年度：　3回			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14　公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	1　都市核と地域核を結ぶ市内幹線路線の効率化を図ります。 2　市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。 6　交通結節点（駅・バス停）の整備を進めます。 9　★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
実施スケジュール	取組内容	コミバス再編の実施 ・コミバス車両1台購入 ・ダイヤ改正	情報提供、利用促進活動	情報提供、利用促進活動
	経費（千円）	17,865	2,800	3,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
コミバス等の年間利用者数（千人）【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30
	実績	ー	18					
（指標及びH32目標値の設定理由） 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	95%					
		最終年度	60%					
②北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380
	実績	ー	351					
（指標及びH32目標値の設定理由） 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	98%					
		最終年度	92%					

H27取組状況	H26実施コミバス再編検討調査結果に基づき、H27年4月（コミバスねっぴ～号運行時間帯の拡大とフラワーセンター線を運行開始）、10月（青野原病院線を九会線に改正、市街地線イオン11：55発を1便増便）に再編しました。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 公共交通不便地域の解消を目指す各施策と調整しながら、効率的な交通網をめざし、公共交通活性化協議会で協議の上、随時コミバス路線の見直し・再編を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	95%	60%	C：目標を下回っている	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	98%	92%		

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	加西市公共交通活性化協議会において、コミバスの状況を確認・検証する。	加西市公共交通活性化協議会において、コミバスの状況を確認・検証する。 公共交通網形成計画の策定検討。	加西市公共交通活性化協議会において、コミバスの状況を確認・検証する。 公共交通網形成計画の策定検討。
	経費（千円）	2,800	3,000	3,000
変更する内容				

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14　公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）コミバス等の年間利用者数 （定義）市営コミュニティバス及び住民運営バスの年間乗客数 （根拠）事業者からの乗降調査データ集計値 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H21）：14.7千人　現状：18千人　５年後：30千人 （目標値３年）平成28年度：20千人　平成29年度：22千人　平成30年度：24千人 （指標名）北条鉄道の年間利用者数 （定義）北条鉄道の年間乗客数 （根拠）事業者からの実績データ集計値 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H21）：306千人　現状：351千人　５年後：380千人 （目標値３年）平成28年度：364千人　平成29年度：368人　平成30年度：372人

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14　公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	3　民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・バス対策費補助	・同左	・同左
	経費（千円）	21,171	22,553	23,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
コミバス等の年間利用者数（千人）【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30
	実績	―	18					
（指標及びH32目標値の設定理由）広域幹線のフィーダー路線となるコミバスの利用者数を設定しました。	目標数値の達成度 単年度		95%					
	目標数値の達成度 最終年度		60%					

H27取組状況	市内公共交通網の幹線路線である神姫バス路線に対し、国・県と協調して補助を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 幹線路線のひとつである神姫バス路線沿線に存在する公共交通不便地域の解消を目指す各施策と調整しながら、効率的な交通網形成を目指します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	95%	60%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	バス対策費補助	同左	同左
	経費（千円）	22,553	23,000	23,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）コミバス等の年間利用者数 （定義）市営コミュニティバス及び住民運営バスの年間乗客数 （根拠）事業者からの乗降調査データ集計値 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H21）：14.7千人　現状：18千人　5年後：30千人 （目標値3年）平成28年度：20千人　平成29年度：22千人　平成30年度：24千人

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14　公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	4　公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	公共交通活性化協議会補助 ・総合時刻表の作成	・同左	・同左
	経費（千円）	1,847	1,847	1,847

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①コミバス等の年間利用者数（千人）【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30
	実績	―	18					
（指標及びH32目標値の設定理由）公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	95%					
		最終年度	60%					
②北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380
	実績	―	351					
（指標及びH32目標値の設定理由）公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	98%					
		最終年度	92%					

H27取組状況	公共交通活性化協議会事業として、市内総合時刻表「かさいおでかけナビ」を作成配布しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 公共交通が移動の選択肢となるよう、定期的に情報提供を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	95%	60%	C：目標を下回っている	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	98%	92%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	公共交通活性化協議会補助 ・総合時刻表の作成	公共交通活性化協議会補助 ・総合時刻表の作成	公共交通活性化協議会補助 ・総合時刻表の作成
	経費（千円）	1,847	1,847	1,847
変更する内容				

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14　公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）コミバス等の年間利用者数 （定義）市営コミュニティバス及び住民運営バスの年間乗客数 （根拠）事業者からの乗降調査データ集計値 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H21）：14.7千人　現状：18千人　５年後：30千人 （目標値３年）平成28年度：20千人　平成29年度：22千人　平成30年度：24千人 （指標名）北条鉄道の年間利用者数 （定義）北条鉄道の年間乗客数 （根拠）事業者からの実績データ集計値 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H21）：306千人　現状：351千人　５年後：380千人 （目標値３年）平成28年度：364千人　平成29年度：368人　平成30年度：372人

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14　公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	5　北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・北条鉄道軌道安全輸送設備等整備費事業費補助 ・北条鉄道設備等整備費補助	・同左	・同左
	経費（千円）	5,587	5,000	5,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380
	実績	―	351					
（指標及びH32目標値の設定理由） 北条鉄道の利用促進効果をはかるため利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	98%					
		最終年度	92%					

H27取組状況	北条鉄道の経営基盤の安定と安全輸送を実現するため、踏切設備更新や枕木交換などについて、国・県・小野市と協調し補助を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 市内公共交通の幹線のひとつである北条鉄道の経営基盤の安定と安全輸送のための補助を通じ、北条鉄道等市内交通事業者と協働し、市内交通網の構築を目指します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	98%	92%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	北条鉄道設備等整備補助	同左	同左
	経費（千円）	5,000	5,000	5,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）北条鉄道の年間利用者数 （定義）北条鉄道の年間乗客数 （根拠）事業者からの実績データ集計値 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H21）：306千人　現状：351千人　5年後：380千人 （目標値3年）平成28年度：364千人　平成29年度：368人　平成30年度：372人

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14　公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

基本計画	7・8	自動車を気軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。 ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どもの保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
実施スケジュール	取組内容	―	・制度検討 ・コミバス・路線バス運賃軽減	コミバス・路線バス運賃軽減
	経費（千円）	0	1,000	2,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①コミバス等の年間利用者数（千人）【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30
	実績	―	18					
（指標及びH32目標値の設定理由）運賃軽減による効果をコミバスの利用者数で測ります。	目標数値の達成度 単年度		95%					
	目標数値の達成度 最終年度		60%					
②北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380
	実績	―	351					
（指標及びH32目標値の設定理由）コミバスの運賃軽減による北条鉄道への波及効果を利用者数で測ります。	目標数値の達成度 単年度		98%					
	目標数値の達成度 最終年度		92%					

H27取組状況	－
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
①	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続
②	①未着手	H28新規	－	－		

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・制度検討 ・コミバス・路線バス運賃軽減	コミバス・路線バス運賃軽減	同左
	経費（千円）	1,000	2,500	2,500
変更する内容				

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	14　公共交通網の構築
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。
関連課名	人口増政策課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）コミバス等の年間利用者数 （定義）市営コミュニティバス及び住民運営バスの年間乗客数 （根拠）事業者からの乗降調査データ集計値 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H21）：14.7千人　現状：18千人　５年後：30千人 （目標値３年）平成28年度：20千人　平成29年度：22千人　平成30年度：24千人 （指標名）北条鉄道の利用者数 （定義）北条鉄道の年間乗客数 （根拠）北条鉄道中期経営計画（平成H20～24）の目標30万人を維持する観点から設定 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H21）：306千人　現状：351千人　５年後：380千人 （目標値３年）平成28年度：364千人　平成29年度：368人　平成30年度：372人

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15　住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	1　都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・指定管理者の活用による適切な公園管理 ・指定管理者の更新	・指定管理者の活用による適切な公園管理 ・公園長寿命化計画に基づく整備基本計画策定	・指定管理者の活用による適切な公園管理 ・公園長寿命化計画に基づく整備実施設計策定 ・整備実施設計に基づく公園長寿命化工事費の国費要望
	経費（千円）	18,946	25,958	29,870

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
都市公園利用者数	目標		27500	28000	28500	29000	29500	30000
	実績	ー	27500					
（指標及びH32目標値の設定理由） 安心・快適な施設の目安としてH22年度の都市公園の利用者数を越えることを目標に設定した	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		92%					

H27取組状況	・指定管理者を活用した適切な公園管理に努めました。 ・施設の経年劣化に対処した修繕を適時実施しました。 ・指定管理者において利用者数増加に資するイベントを開催しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・利用者数の更なる増加に向けての取組が必要です。 ・施設の経年劣化に対する迅速な対応に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	92%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・指定管理者の活用による適切な公園管理 ・都市再生整備計画に基づく整備事業の実施設計 ・イベント開催等	・指定管理者の活用による適切な公園管理 ・都市再生整備計画に基づく整備事業工事 ・イベント開催等	・同左
	経費（千円）	25,958	29,870	30,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）都市公園利用者数 （定義）同上 （根拠）安心・快適な施設の目安として都市公園の利用者数を設定した （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー人　現状：　27,500人　5年後：　30,000人 （目標値3年）平成28年度：　28,000人　平成29年度：　28,500人　平成30年度：　29,000人

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15　住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	2　史跡を計画的に整備し、活用を図ります。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・史跡整備基本計画策定	・史跡整備実施設計策定費算出 ・国費要望	・史跡整備実施設計策定
	経費（千円）	1,910	0	6,003

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数	目標				1	2	3	4
	実績	ー	－					
（指標及びH32目標値の設定理由） 史跡整備基本計画による整備スケジュールに基づく	目標数値の達成度 単年度		－					
	目標数値の達成度 最終年度		－					

H27取組状況	史跡整備基本計画の策定を完了しました。
課題と今後の取組	策定した基本計画に従い、H29年度に笹塚古墳の実施設計を行い、設計を基に年度末に第一期工事（伐採等）に着手します。 以降、基本計画に従い順次史跡整備（笹塚古墳・マンジュウ古墳・玉丘古墳）を実施します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	計画策定	－	－	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	史跡整備実施設計策定費算出 国費要望	笹塚古墳 史跡整備実施設計策定 第一期工事（伐採等）	笹塚古墳 第二期工事（本工事） マンジュウ古墳 史跡整備実施設計策定 第一期工事（伐採等）
	経費（千円）	0	6,003	81,050

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数 （定義）整備する古墳の基数 （根拠）史跡玉丘古墳群整備基本計画による整備スケジュール （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー基　現状：　ー基　5年後：　ー基 （目標値3年）平成28年度：　ー基　平成29年度：　1基　平成30年度：　2基

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15　住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	3　国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・西谷坂元線（BOX）、鵜野飛行場線、都市計画2号線、野田3号線、尾崎5号線外	・西谷坂元線、鵜野飛行場線、都市計画2号線、窪田吸谷線、山下鎮岩線外	・西谷坂元線、鵜野飛行場線、豊倉日吉線、窪田吸谷線、山下鎮岩線、大村笠原線外
	経費（千円）	512,082	320,725	412,789

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①基幹道路網の整備延長距離（km）【4-70】	目標		0.2	1.0	1.7	2.5	4.0	4.5
	実績	―	0.2					
（指標及びH32目標値の設定理由）事業実施計画に基づき、基幹道路の計画整備延長を目標値に設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		4%					
②集落道路の改良延長距離（km）【4-70】	目標		0.5	0.9	1.2	2.4	4.5	4.5
	実績	―	0.5					
（指標及びH32目標値の設定理由）事業実施計画に基づき、集落道路の計画改良延長を目標値に設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		11%					

H27取組状況	地域の生活や産業を支える基盤となっている基幹道路網整備と集落道路の改良工事に取り組みました。
課題と今後の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に道路網整備を実施していくとともに、現道の適切な維持管理に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
①	②実行中	A：予定通り進行	100%	4%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	11%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・西谷坂元線、鵜野飛行場線、都市計画2号線、窪田吸谷線、山下鎮岩線外	・西谷坂元線、鵜野飛行場線、豊倉日吉線、窪田吸谷線、山下鎮岩線、大村笠原線外	・鵜野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、中野網引線、中野家塚線、畑窪田線外
	経費（千円）	320,725	412,789	509,500
変更する内容	事業実施計画に基づき、道路網整備を行う路線を追加する。			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15　住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）基幹道路網の整備延長距離 （定義）同上 （根拠）事業実施計画に基づく （担当者）土木課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　km　　現状：　－　　km　　５年後：　4.0km （目標値３年）平成28年度：1.0km　　平成29年度：1.7km　　平成30年度：2.5km （指標名）集落道路の改良延長距離 （定義）同上 （根拠）事業実施計画に基づく （担当者）土木課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　km　　現状：　－　　km　　５年後：　4.5km （目標値３年）平成28年度：0.9km　　平成29年度：1.2km　　平成30年度：2.4km

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15　住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	4　自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・玉丘常吉線歩道設置	・西谷坂元線、鵠野飛行場線、都市計画2号線、玉丘常吉線	・西谷坂元線、鵠野飛行場線、豊倉日吉線
	経費（千円）	10,000	5,000	5,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
歩道設置総延長（m）	目標		34,500	34,820	35,140	35,460	35,780	36,100
	実績	32,808	34,500					
（指標及びH32目標値の設定理由） 事業実施計画に基づき、基幹道路整備に伴う計画歩道整備延長を目標値に設置	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		96%					

H27取組状況	基幹道路を利用する自転車歩行者の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。
課題と今後の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に歩道整備を実施していくとともに、交通反則金充当事業を活用し、ガードレール等の安全施設整備に積極的に取り組んでいきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	96%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・西谷坂元線、鵠野飛行場線、都市計画2号線、玉丘常吉線	・西谷坂元線、鵠野飛行場線、豊倉日吉線	・鵠野飛行場線、豊倉日吉線
	経費（千円）	123,000	116,000	145,000

変更する内容	事業実施計画に基づき、主要幹線道路整備に伴う歩道設置延長を追加する。
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）歩道設置総延長 （定義）国道・県道・市道における歩道設置総延長 （根拠）歩道整備計画及び事業実施計画に基づく （担当者）土木課長 （目標値10年）当初（H22）：　32,808m　　現状：　34,500,　　5年後：　36,100m （目標値3年）平成28年度：34,820m　　平成29年度：35,140m　　平成30年度：35,460m

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15　住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	5　長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・橋梁修繕（5橋）	・橋梁修繕（4橋）	・橋梁修繕（4橋）
	経費（千円）	25,126	25,000	25,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修繕工事を実施する橋梁数（橋）	目標		5	9	13	17	21	25
	実績	―	9					
（指標及びH32目標値の設定理由） 長寿命化計画に基づき、計画橋梁修繕工事箇所数を目標値に設定	目標数値の達成度 単年度		180%					
	目標数値の達成度 最終年度		36%					

H27取組状況	橋梁利用者の安全確保のため、橋梁修繕工事に取り組みました。
課題と今後の取組	長寿命化計画に基づき、計画的に橋梁修繕工事を実施していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	180%	36%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・橋梁修繕（4橋）	・橋梁修繕（4橋）	・橋梁修繕（4橋）
	経費（千円）	25,000	25,000	25,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）修繕工事を実施する橋梁数 （定義）同上 （根拠）橋梁長寿命化計画に基づく （担当者）土木課長 （目標値10年）当初（H22）：ー橋　現状：9橋　5年後：25橋 （目標値3年）平成28年度：9橋　平成29年度：13橋　平成30年度：17橋			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15　住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	6　河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・佐谷川（佐谷町） ・キトラ川（下若井町） ・比延田川（河内町）	・河川浚渫	・同左
	経費（千円）	24,090	1,000	1,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
河川修繕工事及び河川浚渫の実施（箇所）	目標		2	3	4	5	6	7
	実績	―	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 標準的な年間浚渫要望箇所数を目標値に設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		29%					

H27取組状況	河川修繕工事及び河川浚渫に取り組みました。
課題と今後の取組	河川修繕工事及び河川浚渫を実施していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	29%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・河川浚渫等	・同左	・同左
	経費（千円）	1,000	1,000	1,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）河川修繕工事及び河川浚渫の実施（箇所） （定義）同上 （根拠）河川修繕、浚渫の要望に基づく、実施箇所数 （担当者）土木課長 （目標値10年）当初（H22）：ー箇所　現状：2箇所　5年後：7箇所 （目標値3年）平成28年度：3箇所　平成29年度：4箇所　平成30年度：5箇所			

平成27年度

基本政策	4　都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
施策	15　住みよい住環境
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。
関連課名	都市計画課、生涯学習課、土木課

基本計画	7　公共施設等に関するわかりやすい案内表示板等、ユニバーサルデザイン の導入を推進します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・予定なし	・案内表示板等　1箇所	・同左
	経費（千円）	0	100	100

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
案内表示版等、ユニバーサルデザインの導入（箇所）	目標		0	1	2	3	4	5
	実績	―	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 1箇所/年（必要に応じて適宜実施）	目標数値の達成度	単年度	0%					
		最終年度	0%					

H27取組状況	なし。
課題と今後の取組	必要に応じて、計画的に実施していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・案内表示版等　1箇所	・同左	・同左
	経費（千円）	100	100	100

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）案内表示版等、ユニバーサルデザインの導入の実施（箇所） （定義）同上 （根拠）必要に応じて適宜実施 （担当者）土木課長 （目標値10年）当初（H22）：ー箇所　現状：ー箇所　5年後：ー箇所 （目標値3年）平成28年度：ー箇所　平成29年度：ー箇所　平成30年度：ー箇所

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16　社会参加を通した生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	1　定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実	・同左	・同左
	経費（千円）	733	850	850

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者講座年間受講者数	目標		460	470	470	480	490	500
	実績	426	493					
（指標及びH32目標値の設定理由）「かしの木学園」「生き活き元気塾」受講者実数。当初から2割増加と設定。	目標数値の達成度 単年度		107%					
	目標数値の達成度 最終年度		99%					

H27取組状況	昨年度に比べ、高齢者学級「かしの木学園」の受講者数が増加しました。また22%にあたる89名の方が1度も休まず、合同閉講式で皆勤賞を受賞しました。運営委員会の自主運営で事業を実施したり、企画に参画するなど、活性化が進んでいる館もあります。
課題と今後の取組	引き続き、魅力ある講座の開催や情報提供を図るとともに、高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。「生き活き元気塾」は公民館の主催講座となって2年目になり、参加者も増え、高齢者の健康増進に資する役割を果たしているが、ボランティアの確保が難しくなっています。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	107%	99%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実	・同左	・同左
	経費（千円）	850	850	850
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）高齢者講座年間受講者数 （定義）市内4公民館のかしの木学園等受講者数 （根拠）市内4公民館のかしの木学園等受講者数から算定 （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：　426人　　現状：　460人　　5年後：　500人 （目標値3年）平成28年度：470人　　平成29年度：470人　　平成30年度：480人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16　社会参加を通した生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	2　シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・シルバー人材センター運営補助	・同左	・同左
	経費（千円）	9,400	9,280	11,501

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
シルバー人材センター会員数	目標		440	425	445	465	485	500
	実績	517	404					
（指標及びH32目標値の設定理由） H27年度の数値を基準として目標値を設定	目標数値の達成度 単年度		92%					
	目標数値の達成度 最終年度		81%					

H27取組状況	シルバー人材センターに対し、運営補助及びセンター事業の普及啓発を行いました。
課題と今後の取組	各企業における再任雇用制度の普及により、シルバー人材センターへの会員登録年齢が高くなっていることに伴い会員の確保が課題となっているが、生活支援・介護サポーター養成講座の開催による家事援助サービスへの従事登録者を増やすとともに、シルバー人材センターによる生活支援サービスの創出を実現化し、登録者の増加につなげます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	92%	81%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	シルバー人材センター運営補助	同左	同左
	経費（千円）	9,280	11,501	11,501
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）シルバー人材センター会員数 （定義）シルバー人材センター会員登録数実績 （根拠）会員減少傾向のため、5年後数値は10年前会員数を設定、10年後数値は50増を設定 （担当者）長寿介護課長 （目標値10年）当初（H22）：　517人　　現状：　440人　　5年後：　500人 （目標値3年）平成28年度：425人　　平成29年度：445人　　平成30年度：465人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16　社会参加を通した生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	3　高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・介護予防リーダー養成講座	・介護ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ制の導入 ・生活支援・介護ｻﾎﾟｰﾀｰ養成講座 ・介護予防ﾘｰﾀﾞｰ養成講座	・同左
	経費（千円）	97	1,900	1,900

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者ボランティア数	目標		450	485	520	575	610	650
	実績	350	453					
（指標及びH32目標値の設定理由） 高齢者ボランティア数を当初の約倍増となる300人増を設定	目標数値の達成度 単年度		101%					
	目標数値の達成度 最終年度		70%					

H27取組状況	介護予防ﾘｰﾀﾞｰ養成講座を開催しました。参加者は、「あったか推進のつどい」や「いきいきサロン」など高齢者が地域で集まる機会に講座で学んだことを実践するなど地域ぐるみの介護予防の普及啓発に努めました。
課題と今後の取組	様々な養成講座受講後、ボランティア登録をされても活動につながっていないことも多いため、介護ボランティアポイント制度導入によりその意欲と新規ボランティアの発掘、育成につなげ、実活動人数増加に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	101%	70%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・介護予防ﾘｰﾀﾞｰ養成講座 ・生活支援・介護ｻﾎﾟｰﾀｰ養成講座 ・介護ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾎﾟｲﾝﾄ制導入	・介護予防ﾘｰﾀﾞｰ養成講座 ・生活支援・介護ｻﾎﾟｰﾀｰ養成講座 ・介護ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾎﾟｲﾝﾄ制運営	同左
	経費（千円）	1,900	1,900	1,900
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）高齢者ボランティア数 （定義）ボランティア活動を行っている高齢者の数 （根拠）社会福祉協議会に登録しているボランティア数より目標年次の見込数を設定 （担当者）長寿介護課長 （目標値10年）当初（H22）：　350人　　現状：　450人　　5年後：　650人 （目標値3年）平成28年度：　485人　　平成29年度：　520人　　平成30年度：　575人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16　社会参加を通した生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	4　障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・障害者社会参加促進事業（サロン事業）の実施	・同左	・同左
	経費（千円）	600	700	700

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
障がい者サロン年間参加者数	目標		450	460	470	480	490	500
	実績	430	540					
（指標及びH32目標値の設定理由） 事業の浸透とともに参加者が徐々に増加しているため、さらに50人増を設定	目標数値の達成度 単年度		120%					
	目標数値の達成度 最終年度		108%					

H27取組状況	6団体において社会見学や料理教室、体操教室など実施し、障がい者への理解の普及と社会参加支援に取り組みました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 障がい者福祉に取り組む新規団体の参加を促し、参加団体の固定化に対応していくとともに、より多くの障がい者の社会参加や市民の障がい者に対する理解が進むように支援を続けます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	120%	108%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	障がい者社会参加促進事業（サロン事業）の実施	同左	同左
	経費（千円）	700	700	700
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）障がい者サロン年間参加者数 （定義）障がい者の社会参加の場として実施された事業への参加者数 （根拠）同上 （担当者）地域福祉課長 （目標値10年）当初（H22）：　430人　　現状：　450人　　5年後：　500人 （目標値3年）平成28年度：460人　　平成29年度：470人　　平成30年度：480人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16　社会参加を通した生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	5　社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課
実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・就労支援機関の連携を促し、情報交換や意見交換を行える仕組みづくりを支援 ・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援。	・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援	・同左
	経費（千円）	21,150	24,365	24,365

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
就労系サービス利用者数（延月人数）	目標		1445	1520	1640	1760	1880	2000
	実績	ー	1445					
（指標及びH32目標値の設定理由） 就労系サービス人数を示すもので、H27年度から5年間で555人増の数値を設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		72%					

H27取組状況	障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と連携しての就労支援、定着支援を行いました。また、市役所内外における職業訓練事業による就労支援や庁内バザーを継続して実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 障害者雇用に不安を持つ企業も存在するため、そのような企業に対し、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行っていきます。就労支援員と連携し、特別支援学校の生徒の進路指導を支援します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	72%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援	同左	同左
	経費（千円）	24,365	24,365	24,365
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）　就労系サービス利用者数（延月人数） （定義）　障がい者の就労の場として就労系サービス（就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型）の利用者数 （根拠）　利用者数 （担当者）地域福祉課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー人　現状：1,445人　５年後：2,000人 （目標値３年）平成28年度：1,520人　平成29年度：1,640人　平成30年度：1,760人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	16　社会参加を通した生きがいづくり
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。
関連課名	生涯学習課、長寿介護課、地域福祉課、人口増政策課

基本計画	6	★シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいCCRC構想の具体化を図ります。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	検討	調査研究
	経費（千円）	0	0	5,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★CCRC整備構想とりまとめ【3-61】	目標			―	0	0	0	1	1
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 構想推進のための基本構想のとりまとめが第1段階の目標となる	目標数値の達成度	単年度	－						
		最終年度	－						

H27取組状況	―
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 CCRC構想の具体化に向けた調査研究の前段階として、事例等の資料収集を行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	検討	調査研究	同左
	経費（千円）	0	5,000	5,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★CCRC整備構想とりまとめ （定義）CCRC整備構想策定数 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　施設　　現状：　―　施設　　5年後：　1施設 （目標値3年）平成28年度：　―　施設　　平成29年度：　―　施設　　平成30年度：　―　施設

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	1　特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・町ぐるみ健診で子宮頸がん検診アンケートの実施 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・公民館・JAでの乳がん検診実施 ・集団大腸がん検診の実施	・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・無料クーポン券対象者に「がん検診受診意向調査」を実施 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・公民館・JAでの乳がん検診実施	・同左
	経費（千円）	25,536	40,839	40,839

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値 当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①がん検診受診率（%）	目標			胃 9.3 大腸 23.4 肺 29.6 子宮 13.9 乳 16.0	胃 11.0 大腸 25.0 肺 30.0 子宮 13.9 乳 16.6	胃 13.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 14.0 乳 18.0	胃 15.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 16.0 乳 20.0	胃 17.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 18.0 乳 22.0	胃 19 大腸 26 肺 30 子宮 21 乳 23
	実績		胃 12.6 大腸 22.4 肺 28.2 子宮 13.3 乳 11.6	胃 9.4 大腸 23.8 肺 31.2 子宮 11.1 乳 14.9					
（指標及びH32目標値の設定理由） 健康かさい21計画（国の目標値に準拠）	目標数値の達成度	単年度		98%					
		最終年度		76%					
②★がん検診の無料クーポン利用率（%）【5-80】	目標			男14.8 女36.0	男15.0 女37.0	男16.5 女38.0	男18.0 女39.0	男20.0 女40.0	男20 女40
	実績		―	男15.8 女45.5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市重点事業として5%の増を目指す	目標数値の達成度	単年度		120%					
		最終年度		87%					

H27取組状況	5月末に41歳男女を対象にがん検診無料クーポン券を配布しました。10月時点で未利用の者には、がん検診勧奨文書（ハガキ）を送付し受診を促しました。また休日健診、託児サービス、身近な場所での健診を計画し、若い世代にも受診しやすい体制を整備しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・今後も市民ががん検診を受診しやすい体制を整備していきます。 ・がん検診無料クーポン券を配布し、がんや健診への関心を高めると共に継続して受診してもらえるよう啓もうしていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
①	②実行中	A：予定通り進行	98%	76%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	120%	87%		

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・無料クーポン券対象者に「がん検診受診意向調査」を実施 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・公民館・JAでの乳がん検診実施	・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・公民館・JAでの乳がん検診実施	・同左
	経費（千円）	40,839	40,839	40,839
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）がん検診受診率 （定義）平成17年度国勢調査に基づく指針対象者数(暫定推計対象者数)を用いた受診率（～H22） 平成22年度国勢調査に基づく指針対象者数(暫定推計対象者数)を用いた受診率（H23～） （根拠）がん検診実績により算出・設定 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：胃12.6%　大腸22.4%　肺28.2%　子宮13.3%　乳11.6% 現状：胃9.3%　大腸23.4%　肺29.6%　子宮13.9%　乳16.6% ５年後：胃19%　大腸26%　肺30%　子宮21%　乳23% （目標値３年）平成28年度：胃11%　大腸25%　肺30%　子宮12%　乳16% 平成29年度：胃13%　大腸25.5%　肺30%　子宮14%　乳18% 平成30年度：胃15%　大腸25.5%　肺30%　子宮16%　乳20% （指標名）★がん検診の無料クーポン利用率 （定義）41歳がん検診無料クーポン券配布事業 （根拠）41歳がん検診無料クーポン券を利用し、1項目以上がん検診を受診した者 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　現状：男14.8%　女36%　５年後：男20%　女40% （目標値３年）平成28年度：男15.0%　女32.0%　平成29年度：：男16.5%　女34.0%　平成30年度：：男18.0%　女36.0%			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	2　予防接種の助成制度を拡充します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	検討	制度設計
	経費（千円）			

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★接種助成制度の創設数【1-2】	目標			―	―	―	1	1	1
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 当面は、種類の追加を目指す	目標数値の達成度	単年度	－						
		最終年度	－						

H27取組状況	高齢者肺炎球菌ワクチンの接種助成を継続しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 現在実施していない乳幼児の任意予防接種のうち、罹患を予防することが望ましい予防接種に対し、助成を検討します。 予防接種の種類としては、季節性インフルエンザ・おたふくかぜ・ロタを検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	乳幼児期の任意予防接種の接種状況を4ヵ月3歳児健診にてアンケートで確認（3ヶ月間）し市内乳幼児の接種状況を把握する。 近隣先進市の助成等の状況把握	アンケート結果を踏まえ助成対象の予防接種種類や助成の方法などを検討 医師会との調整	実施予定
	経費（千円）	3	10	1,002

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★接種助成制度の創設数 （定義）　助成の実施状況 （根拠）　年度当初実施決定予防接種数 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　疾病　　現状：　―　疾病　　5年後：　1疾病 （目標値3年）平成28年度：　―　　疾病　　平成29年度：　―　　疾病　　平成30年度：　1　疾病

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	3　健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・「健診のお知らせ」（全戸配布）に健診後の健康相談場の情報提供 ・スマイル健康相談（個別相談）の実施　24回/年 ・健診結果説明会　2回/年 ・病態別教室の実施	・「健診のお知らせ」（全戸配布）に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施　24回/年 ・健診結果説明会　2回/年 ・病態別教室の実施 ・運動短期教室での実施 ・運動ポイント事業の開始	・同左
	経費（千円）	2,192	2,548	2,530

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①運動を心がけている人の割合（%）	目標			31.4	（5年に1回の調査）				35
	実績		34	－					
（指標及びH32目標値の設定理由） 第2次健康かさい21	目標数値の達成度	単年度		－					
		最終年度		－					
②健康相談事業の利用者数	目標			574	1000	1025	1050	1075	1100
	実績		―	574					
（指標及びH32目標値の設定理由） スマイル健康相談、町ぐるみ健診結果説明会、町ぐるみ健診個別相談利用者数	目標数値の達成度	単年度		100%					
		最終年度		52%					

H27取組状況	健診結果説明会、およびスマイル健康相談を実施し、日常生活での改善点について助言し、運動習慣の定着につながるような動機づけ指導、個人レベルで取り組める運動の提案、健康福祉会館の運動教室利用等を勧めた。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 町ぐるみ健診等の結果を意識し、より健康的な生活の実現に向け健康相談や、短期教室等を充実していきます。これらの事業を利用する者が増加することにより。適切な食生活、運動習慣の定着に結びつくことから評価指標に追加します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	－	－	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	52%		

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・「健診のお知らせ」（全戸配布）に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施　24回/年 ・健診結果説明会　2回/年 ・病態別教室の実施 ・運動短期教室での実施 ・運動ポイント事業の開始	同左	同左
	経費（千円）	2,548	2,530	2,530

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）運動を心がけている人の割合 （定義）健康かさい21策定時の市民意識調査（5年に1回調査） （根拠）市民意識調査、或いは事業内でのアンケート調査により算出・設定 （担当者）課長 （目標値10年）当初（H22）：　34%　　現状：　31.4%　　5年後：　35% （目標値3年）毎年度評価が困難なため設定不可 （指標名）健康相談等の利用者数 （定義）スマイル健康相談、健診結果説明会、特定保健指導直営教室、病態別教室、運動短期教室の利用者数、運動ポイント事業参加者 （根拠）各事業の利用実績 （担当者）課長 （目標値10年）当初（H22）：−%　　現状：574人　　5年後：1100人 （目標値3年）平成28年度：1000人　　平成29年度：1050人　平成30年度：1050人

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	4　地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課・国保医療課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・いずみ会：食育活動を継続実施（食育教室、食育の日の普及等） ・ゆうゆう会：体操やウォーキングを会員が市民へ普及できるよう支援する。	・同左	・同左
	経費（千円）	27	91	91

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
自主組織（いずみ会・ゆうゆう会）による健康づくり普及実績数（健康課との共同実施した事業）	目標		2499	2550	2600	2650	2700	2750
	実績	―	2499					
（指標及びH32目標値の設定理由） 健康づくり普及実績数の増減がみられるため維持向上を目標とする。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		91%					

H27取組状況	いずみ会は「旬の野菜をもう一皿」をテーマに、野菜レシピの配布・若い世代への野菜料理の普及・3歳児健診会場での野菜入り手作りおやつの紹介など、野菜摂取普及に努めました。 ゆうゆう会は健康福祉まつりにおいて多くの方へ運動の効果を普及啓発しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 いずみ会は野菜の摂取と合わせて、朝食の摂取においても継続的に普及しており朝食摂取率は向上していますが、バランスに偏りがあるため、朝食の質の向上を目指した活動が今後重要です。 ゆうゆう会は広く運動の効果を普及するため、健康福祉まつり等のイベントにおいて多くの方へ普及啓発を継続する必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	91%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	いずみ会は地域での活動において、より多くの方にバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発する。 ゆうゆう会は健康福祉まつりでの運動普及を継続する。	同左	同左
	経費（千円）	91	91	91
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）自主組織（いずみ会・ゆうゆう会）による健康づくり普及実績数（健康課との共同実施した事業） （定義）いずみ会、ゆうゆう会活動のうち、市と共同して実施した事業の参加者数 （根拠）各事業の実績（日報による把握） （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　人　現状：　2499　人　5年後：　2750　人 （目標値3年）平成28年度：　2550　人　平成29年度：　2600　人　平成30年度：　2650　人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	5　健康づくりのための拠点施設を充実します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・健康相談・健康教育・運動事業の実施。会館の運営、維持管理	・同左	・同左
	経費（千円）	60,122	66,990	61,990

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
運動事業参加者　実人員	目標		364	380	400	420	440	460
	実績	ー	364					
（指標及びH32目標値の設定理由） 健康福祉会館事業のため。毎年5%の利用者増	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	79%					

H27取組状況	健康福祉会館の運営、会館事業としての「運動事業」の実施。健康相談・健康教育を実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 健康福祉会館で実施する運動事業の新規利用者を増やし、運動の効果を普及します。 地域へ出向いて実施する保健事業と運動事業や地域の健康相談窓口機能の充実に努めます。 会館修繕計画を策定し、優先順位を付けて改修工事に取り組みます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	79%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	運動事業の推進、保健事業の実施 会館修繕計画策定の委託	運動事業の推進、保健事業の実施	運動事業の推進、保健事業の実施
	経費（千円）	66,990	61,990	61,990
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）運動事業参加者実人数 （定義）健康福祉会館で実施する運動事業（通年教室・自主トレ・短期教室）の参加者実人数 （根拠）運動事業参加者名簿記載人数 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　現状：　364人　5年後：　460人 （目標値3年）平成28年度：　380人　平成29年度：　400人　平成30年度：　420人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	6　こころの健康についての理解を深め、こころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・ゲートキーパー研修開催 ・こころの健康に関する普及啓発 ・若い世代への自殺対策として成人式でﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ等配布	・自殺対策強化週間・月間の普及啓発に庁外にも啓発の場を設ける。 ・睡眠・休養の講座でこころの健康づくりについて周知する。	・同左
	経費（千円）	450	570	600

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
自殺率の減少（3か年・人口10万対）【減少指標】	目標		24.7	24.0	23.0	22.0	21.0	20.0
	実績	ー	24.7					
（指標及びH32目標値の設定理由） ・加西市は自殺率が県下でも高く推移していた。現在は減少傾向にあるが、動向を確認していく必要がある。 ・自殺率は3か年ごとに評価。1年前のデータが最新となるため1年前の数値とする。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	124%					

H27取組状況	・自殺対策強化週間・月間に合わせて本庁・健康福祉会館・図書館（月間のみ）で普及啓発グッズ等を配布しました。 ・隣保回覧板にこころの健康に関する内容を掲載しました。 ・自殺対策強化月間に合わせてゲートキーパー研修を実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・自殺対策強化週間・月間の普及啓発の場を庁内だけでなく拡大し、更なる普及啓発に取り組む必要があります。 ・こころの健康を保つために睡眠と休養の大切さを周知するために睡眠・休養に関する取り組みが必要であります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	124%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・自殺対策強化週間・月間の普及啓発に庁外にも場を設ける。 ・睡眠・休養の講座でこころの健康づくりについて周知する。	同左	同左
	経費（千円）	570	600	600
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）自殺率の減少 （定義）人口動態統計での3か年比較、1年前のデータが最新となるため1年前の値で評価する。 （根拠）県いのち対策室からのデータ （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：（H19-21）29.5　現状：（H24-26）24.7　5年後：（H29-31）20.0 （目標値3年）平成28年度：（H25-27）24.0　　平成29年度：（H26-28）23.0　　平成30年度：（H27-29）22.0			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	7　健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課
実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・乳幼児健診、乳幼児保健相談、離乳食講習会、ｽﾏｲﾙ健康相談、食育教室、健康教室等の場を通じた教育を継続して実施 ・生活習慣病予防の教育実施 ・野菜摂取普及のための取組実施、食育計画を推進する	・同左	・乳幼児健診、乳幼児保健相談、離乳食講習会、ｽﾏｲﾙ健康相談、食育教室、健康教室等の場を通じた教育を継続して実施 ・生活習慣病予防の教育実施 ・野菜摂取普及のための取組実施、食育計画を推進する ・食育に関する市民意識調査の実施・食育計画改定
	経費（千円）	3,444	3,700	6,700

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①朝食を欠食する人の割合（%）	目標		20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代27 30歳代15 40歳代14	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代20 30歳代10 40歳代8
	実績	20歳代32.8 30歳代18.1 40歳代16.9	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－					
（指標及びH32目標値の設定理由） 若い世代での朝食欠食者が増えているため、減少を目指す。（加西市食育推進計画の目標値）	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					
②★野菜を毎食食べる人（%）の割合	目標		－	―	15	―	―	18
	実績		－					
（指標及びH32目標値の設定理由） 生活習慣病予防に欠かせない野菜の摂取量の増加を目指す。（健康かさい21の目標値）	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					
③栄養相談　実施人数	目標		545	570	600	630	660	700
	実績	－	545					
（指標及びH32目標値の設定理由） 望ましい食習慣確立のためには個別の相談で食生活の助言をしていく必要がある。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	78%					

H27取組状況	・母子健診や教室でこどもの正しい食習慣について教育・相談を実施しました。市内の幼稚園・保育所等で食育教室を開催し園児とその保護者に朝食の大切さ等を伝えました。子どもの食事を考えると同時に、保護者自身の食事を見直す機会となっています。 ・糖尿病予防教室では、参加後は野菜をもっと食べようという意識変容につながった方もありました。 ・加西市野菜を食べようプロジェクトを実施し、野菜レシピを募集し、健康福祉まつり等で紹介をしました。参加者のほとんどがレシピを持ち帰られ、作ってみたいと好評でした。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 妊婦や子どもの食生活リズムや偏食の解決方策を助言する相談の場の充実を図る必要があります。生活習慣病予防等のために成人を対象とした個別相談を実施し、本人の生活環境を考えながら個々に合った食生活改善を提案、相談できる場があることを周知し、食生活改善のための支援を継続していく必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	－	－	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	－	－		
③	②実行中	A：予定通り進行	100%	78%		

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・子育て世代への正しい食習慣についての教育等を継続。 ・加西市野菜を食べようプロジェクトは料理教室を実施。	・子育て世代への正しい食習慣についての教育等を継続。 ・加西市野菜を食べようプロジェクトは料理教室を実施。 ・食育に関する市民意識調査アンケート実施・食育計画改訂	・子育て世代への正しい食習慣についての教育等を継続。 ・加西市野菜を食べようプロジェクトは料理教室を実施。
	経費（千円）	3,700	6,700	3,700
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）朝食を欠食する人の割合 （定義）食育推進計画 策定時の市民意識調査 （根拠）市民意識調査により算出・設定 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：20歳代32.8%　30歳代18.1%　40歳代16.9% 現状：20歳代－%　30歳代－%　40歳代－% 5年後：20歳代20%　30歳代10%　40歳代8% （目標値3年）平成28年度：20歳代　%　30歳代　%　40歳代　% 平成29年度：20歳代　27%　30歳代　15%　40歳代　14% 平成30年度：20歳代　%　30歳代　%　40歳代　% （指標名）★野菜を毎食食べる人の割合 （定義）健康かさい21策定時の市民意識調査 （根拠）市民意識調査により算出、設定 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　－%　現状：　13.3%　5年後：　18% （目標値3年）平成28年度：　%　平成29年度：　15%　平成30年度：　% （指標名）栄養相談実施人数 （定義）栄養相談利用者延べ人数（母子：すくすく相談、健診教室後の相談　成人：電話・窓口相談、スマイル相談、教育後相談） （根拠）相談利用者記録データ （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　－人　現状：　545人　5年後：　700人 （目標値3年）平成28年度：　570人　平成29年度：　600人　平成30年度：　630人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	8　★特定不妊治療に対する支援を行います。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	兵庫県指定医療機関で体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）を受け、、兵庫県特定不妊治療費の助成を受けている夫婦に対し、その治療費から県の１回あたりの助成額を控除した額の助成を行う。（上限５万円）	同左	同左
	経費（千円）	2,065	3,000	3,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★特定不妊治療助成年間件数【1-19】	目標		45	48	51	54	60	60
	実績	ー	44					
（指標及びH32目標値の設定理由） 補助実績件数による推計（約25%増）	目標数値の達成度	単年度	98%					
		最終年度	73%					

H27取組状況	兵庫県指定医療機関で体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）を受け、兵庫県特定不妊治療費の助成を受けている夫婦に対し、その治療費から県の１回あたりの助成額を控除した額の助成を行いました。（上限5万円）
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・助成回数制限の撤廃 ・不育症治療費の助成事業

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	98%	73%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	兵庫県指定医療機関で体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）を受けられる夫婦に対し、医療費の助成を行う。（上限5万円）	同左	同左
	経費（千円）	3,000	3,000	3,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★特定不妊治療助成年間件数 （定義）助成の実施状況 （根拠）特定不妊治療助成件数 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　件　　現状：　45件　　5年後：　60件 （目標値3年）平成28年度：　48件　　平成29年度：　51件　　平成30年度：　54件			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	17　こころとからだの健康づくり
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。
関連課名	健康課

基本計画	9　★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	運動ポイント事業 歩くまちづくり条例に基づく。自ら運動目標を立て、実践できればポイントが付く。ポイント数に応じて記念品と交換する。	ポイント付与システムを導入し、歩くことでポイントが付与され、ポイントを電子マネーや地元商品券等と交換できる。	同左
	経費（千円）	220	16,321	16,321

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★健幸ポイント事業参加者数【5-79】	目標		250	500	750	1000	1000	1000
	実績	―	250					
（指標及びH32目標値の設定理由） 500人定員とし、徐々に増やし倍増を想定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		25%					

H27取組状況	歩くまちづくり条例を推進していくため実施しました。運動ポイント事業は、自ら運動目標を立て、実践できればポイントを付与し、運動教室、健康講座に参加することでもポイントを付与します。貯まったポイント数に応じて記念品と交換するものです。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・参加者の増加 運動無関心層への働きかけ、歩くことを推進し、市民の健康増進に寄与します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	25%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	ポイント付与システムを導入し、歩くことでポイントが付与され、ポイントと電子マネーや地元商品券等と交換できる。	同左	同左
	経費（千円）	16,321	16,321	16,321
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★健幸ポイント事業参加者数 （定義）健幸ポイント事業実施状況 （根拠）健幸ポイント事業参加者数 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　　現状：　250人　　5年後：　1,000人 （目標値3年）平成28年度：　250人　　平成29年度：　500人　　平成30年度：　650人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18　地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	1　医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。			
主管部課	部名	加西病院	課名	
実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・地域医療フォーラムの共催、中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの医療講習会への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。 ・医療制度改革への対応（地域包括ケア病棟の導入。新専門医制度への対応）	・地域医療フォーラムの共催、中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの医療講習会への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。 ・医療制度改革への対応（地域包括ケア病棟の導入。新専門医制度への対応、病院改革プランの策定）	・同左
	経費（千円）	73	80	80

指標名	区分	当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
地域医療市民フォーラムの参加者数	目標		230	250	280	300	320	350
	実績	ー	232					
（指標及びH32目標値の設定理由） 一人でも多くの市民の方々に関心を持ってもらい、愛着をもって病院を応援して頂く方を増やすため。	目標数値の達成度 単年度		101%					
	目標数値の達成度 最終年度		66%					

H27取組状況	地域医療市民フォーラムを共催し、山邊院長がフォーラムに参加。中学生向けの救急救命講習会を4中学校で初めて実施。住民向けの講習会として、加西商工会議所等へ研修会の講師として医師を派遣。ワークライフバランスWGを開催し仕事と生活の両立を推進、県よりワークライフバランス企業表彰を受けた。看護師・研修医の就職説明会に積極的に参加、医師・看護師医療技術職員の研修を積極的に受け入れた。地域包括ケア病棟を11月開設。内科専門医研修プログラムを作成し、認可申請を行った。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	101%	66%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの医療講習会への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。積極的に医師確保を図る。・地域包括ケア病棟の運営、新内科専門医研修プログラムの認可を受けて、募集開始。	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの医療講習会への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。積極的に医師確保を図る。・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の育成。病院改革プランの策定	同左
	経費（千円）	73	80	80
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）地域医療市民フォーラムの参加者数 （定義）　フォーラムの参加者数 （根拠）　安心して医療にかかれるまちづくりを目指すために、市民病院の経営の安定が必要であり、病院に関心を持つ方を増やし、愛着をもって応援して頂ける方を増やすことが必要なため。 （担当者）　加西病院事務局総務課 （目標値10年）当初（H22）：　　人　現状：232人　5年後：350人 （目標値3年）平成28年度：　250人　平成29年度：　280人　平成30年度：　300人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18　地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	2　高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。			
主管部課	部名	加西病院	課名	
実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・病・診連携の推進 ・地域医療連携事業（きずなネット）拡大支援 ・高度医療機器更新事業	・同左	・同左
	経費（千円）	98,571	139,000	100,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西病院への年間紹介患者数	目標		6900	7000	7100	7200	7500	7900
	実績	6100	6782					
（指標及びH32目標値の設定理由） 診療所等から加西病院への紹介患者数を後期5ヵ年で1,000人増を目指す	目標数値の達成度	単年度	98%					
		最終年度	86%					

H27取組状況	紹介患者を増やすために、開業医への病院ホットライン（直通電話）を引き続き運用。また、紹介患者を増やしてゆくために、今年も近隣市の開業医、病院を訪問。近隣市診療所へ、医師の紹介パンフ、病院だよりを送付。救急連携強化のため、近隣消防署を訪問し意見交換。高度医療機器更新として、超音波画像診断装置、生体情報モニター等の医療機器を更新した。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	B：予定より遅延	98%	86%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの検討・実施。近隣市開業医・病院訪問、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新。照会患者の受け梨れ促進と逆紹介の促進	同左	同左
	経費（千円）	139,000	100,000	100,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）加西病院への年間紹介患者数 （定義）診療所等から加西病院への紹介患者数 （根拠）市立加西病院改革プランに基づく周辺診療所等との医療連携体制を踏まえた数値を設定 （担当者）加西病院地域医療室長 （目標値10年）当初（H22）：　6,100人　　現状：　6,900人　　5年後：　7,900人 （目標値3年）平成28年度：　7,550人　　平成29年度：　　人　　平成30年度：　　人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18　地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	3　県、医師会、病院との連携を強化します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課・福祉企画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・保健事業の推進検討会の開催（健康かさい21策定） ・地域医療市民フォーラムの開催	・同左	・同左
	経費（千円）	20	20	20

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
病院・診療所数	目標		32	32	32	33	34	35
	実績	27	32					
（指標及びH32目標値の設定理由） 地域医療の維持の観点から設定。医療機関が不足しているため。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		91%					

H27取組状況	・地域医療市民フォーラムを開催して、地域医療の課題を共有しました。 ・地域医療市民フォーラム開催時等にあわせて、かかりつけ医の普及に努めました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・日々の保健事業等の業務連携を通じて、医療の現状の把握が必要です。 ・地域医療の現状と課題について、検討をする場が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	91%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催	同左	同左
	経費（千円）	20	20	20
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）病院・診療所数 （定義）病院・診療所数 （根拠）加東健康福祉事務所把握数 （担当者）課長 （目標値10年）当初（H22）：　27件　　現状：　32件　　5年後：　35件 （目標値3年）平成28年度：　32件　　平成29年度：　32件　　平成30年度：　33件			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18　地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	4　保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	福祉企画課、健康課、長寿介護課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・関係機関、団体への情報提供 ・地域医療市民フォーラムの開催	・関係機関、団体への情報提供 ・地域医療市民フォーラムの開催 ・地域包括ケアシステム推進部会の設置	・同左
	経費（千円）		440	440

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域医療市民フォーラム参加者数	目標		320	340	360	380	400	420
	実績	ー	320					
（指標及びH32目標値の設定理由） 保健、医療、福祉、介護等各サービスの現状や課題、展望についてフォーラムにて周知を行うため。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	76%					

H27取組状況	地域医療市民フォーラムを開催し、保健、医療、福祉、介護等についての課題を共有しました。
課題と今後の取組	保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、各々の現状把握を行い、課題整理を行うために、保健福祉推進協議会に地域包括ケアシステム推進部会を設置し、具体的に医療と介護の連携のあり方を検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	76%	B：目標を達成	③見直し

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会の設置	同左	同左
	経費（千円）	440	440	440
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）地域医療市民フォーラム参加者数 （定義）地域医療市民フォーラム当日の来場者 （根拠）地域医療市民フォーラム参加者数をカウント （担当者）福祉企画課長 （目標値10年）当初（H22）：　　人　現状：320人　5年後：　420人 （目標値3年）平成28年度：340人　平成29年度：360人　平成30年度：　380人			

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18　地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	5　医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・医師会の協力により、休日の急患に対応するための在宅当番体制を維持 ・歯科医師会による年末年始の休日診療の実施	・同左	・同左
	経費（千円）	4,880	4,880	4,880

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持	目標		2	2	2	2	2	2
	実績	ー	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 医療体制確保の実績のため	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	加西市医師会に加えて、平成27年度より、加西市歯科医師会による、年末年始の休日歯科診療を実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 平成27年度より開始した、年末年始休日歯科診療の市民への普及が必要です。 体制を維持しつつも、適正な受診行動を市民に促すため「医療のかかり方」を周知する必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	休日・年末年始の診療体制の維持 医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知	同左	同左
	経費（千円）	4,880	4,880	4,880

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持 （定義）市民が安心して過ごせるように、休日・年末年始の診療体制を維持する （根拠）市内で休日・年末年始の診療業務実施団体数 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　1団体　現状：　2団体　5年後：　2団体 （目標値3年）平成28年度：　2団体　平成29年度：　2団体　平成30年度：　2団体

平成27年度

基本政策	5　誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
施策	18　地域医療体制の充実
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。
関連課名	加西病院、健康課、福祉企画課、長寿介護課、人口増政策課

基本計画	6	★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	・補助制度の検討 ・補助金交付要綱の制定	産婦人科医院等の誘致
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★産婦人科医院等の開設【1-4】	目標		―	0	0	1	1	1
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 産婦人科医院等の開設数が指標として適当であり、現在市内にない産婦人科医院をまず1施設開設させることが必要である。	目標数値の達成度 単年度		－					
	目標数値の達成度 最終年度		－					

H27取組状況	―
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 加西市には市立加西病院以外に産婦人科がなく、出産予定の女性の多くは市外の産婦人科医院に通院している状況です。加西市が目指す5万人都市再生のためには、出生者数の増加を必ず達成しなければならない課題であり、そのためには加西病院以外の産婦人科医院が必要であると考えます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・補助制度の検討 ・補助金交付要綱の制定	産婦人科医院等の誘致	産婦人科医院等へ補助
	経費（千円）	0	0	20,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★産婦人科医院等の開設 （定義）産婦人科医院等の開設数 （根拠）産婦人科医院等の開設に係る補助制度利用実績数 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　か所　　現状：　―　か所　　5年後：　1か所 （目標値3年）平成28年度：　―　か所　　平成29年度：　―　か所　　平成30年度：1か所

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19　地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	1　高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課、地域福祉課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託	・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体の設置 ・生活支援コーディネーターの配置	・同左
	経費（千円）	29,041	37,397	37,397

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①生活介護サービス利用者数（延月人数）	目標		1547	1560	1620	1680	1740	1800
	実績	ー	1547					
（指標及びH32目標値の設定理由） 生活介護サービスの利用者数を示すもので、H27年度の数値を基準として設定	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	86%					
②一時相談窓口に寄せられた相談者数	目標		2235	2,300	2,370	2,440	2,510	2,580
	実績	ー	2,235					
（指標及びH32目標値の設定理由） 一時相談窓口への年間延べ相談者を指標とし、H27年度の数値を基準として設定	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	87%					

H27取組状況	・障がい者の日中の居場所提供となるサービスにおいて、地域活動支援センターに対して支援を行いました。 ・地域包括支援センターの総合相談機能を補完するため、高齢者の身近な相談窓口として中学校区に1ケ所の一時相談窓口を設置し、高齢者の支援に努めました。
課題と今後の取組	・創作的活動または生産活動の機会の提供、生活に関する相談、助言を行う場として、生活介護サービス及び地域移行支援の拠点となるグループホーム棟の設置支援が必要です。 また、高齢者支援については、地域包括支援センターと一時相談窓口との連携を密にし対応していきたいと考えます。 ・地域包括ケアシステムの実現のため、協議体を設置し、生活支援コーディネーターを配置することにより様々な生活支援サービスの充実を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	100%	86%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	87%	B：目標を達成	③見直し

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19　地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体の設置 ・生活支援コーディネターの設置	・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体・生活支援コーディネターによる生活支援サービスの企画立案	同左
	経費（千円）	37,397	37,397	37,397
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）　生活介護サービス利用者数（延月人数） （定義）　生活の場として、生活介護サービスの利用者数 （根拠）　利用者数 （担当者）　地域福祉課長 （目標値10年）当初（H22）：　　ー人　現状：1547人　５年後：1800人 （目標値３年）平成28年度：1560人　平成29年度：1620人　平成30年度：1680人 （指標名）総合相談件数 （定義）一時相談窓口に寄せられた相談件数 （根拠）同上 （担当者）長寿介護課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　現状：2,235人　５年後：2,580人 （目標値３年）平成28年度：2,300人　平成29年度：2,370人　平成30年度：2,440人			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19　地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	2　ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・配食サービス	・同左	・同左
	経費（千円）	7,118	8,107	8,107

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
配食サービス配食数	目標		400	400	400	400	400	400
	実績	―	295					
（指標及びH32目標値の設定理由） 理論上最大配食数を目標値として設定	目標数値の達成度 単年度		74%					
	目標数値の達成度 最終年度		74%					

H27取組状況	一時利用者の管理を的確に行うよう努め、実配食数の確保につなげました。しかし、どうしても一時利用休止者や当日キャンセル等があり、理論上の最大配食数（400食）には到達しませんでした。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 配食希望者の増加により、要望に即時対応できないことも多く、一時利用休止者の的確な把握に努めるとともに配食サービスの拡大についても検討していく必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	74%	74%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	配食サービスの実数	配食サービスの実数	配食サービスの実数
	経費（千円）	8,107	8,107	8,107
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）配食サービス配食数 （定義）1日平均配食数 （根拠）年間総配食数を年間配食日数で割り出し算出 （担当者）長寿介護課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　食　　現状：　400食　　5年後：　400食 （目標値3年）平成28年度：400食　　平成29年度：400食　　平成30年度：400食			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19　地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	3　要援護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課、地域福祉課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・高齢者等外出支援サービス	・同左	・同左
	経費（千円）	1,151	1,501	1,501

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数	目標		300	300	300	300	300	300
	実績	ー	291					
（指標及びH32目標値の設定理由） 開庁日稼働件数を目標値として設定	目標数値の達成度	単年度	97%					
		最終年度	97%					

H27取組状況	制度の広報に努め、利用者の拡大を図りました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 さらなる利用者の拡大に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	97%	97%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	高齢者等外出支援サービス	高齢者等外出支援サービス	高齢者等外出支援サービス
	経費（千円）	1,501	1,501	1,501
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数 （定義）高齢者外出支援サービス事業利用延べ件数 （根拠） （担当者）長寿介護課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　件　　現状：　300件　　５年後：　300件 （目標値3年）平成28年度：　300件　　平成29年度：　300件　　平成30年度：　300件			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19　地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	4　地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定	・同左	・同左
	経費（千円）	160	300	300

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
介護予防リーダー養成数	目標		300	340	380	420	460	500
	実績	73	301					
（指標及びH32目標値の設定理由） 前期、後期にそれぞれ4回コースの講座を開催	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		60%					

H27取組状況	社会福祉協議会と共催して、年2度（前期4回、後期4回）のﾘｰﾀﾞｰ養成講座を開催した。参加者は、「あったか推進のつどい」や「いきいきサロン」など高齢者が地域で集まる機会に講座で学んだことを実践するなど地域ぐるみの介護予防の普及啓発に努めた。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 養成講座の広報を継続して実施し、新規養成リーダー数の増加を図る。また、講座を修了されたリーダーが、市介護予防事業への協力やサロン等の自主グループへの参加など、地域での介護予防活動を推進する。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	60%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定	・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定	・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定
	経費（千円）	300	300	300
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定 （定義）介護予防リーダー養成講座修了者数 （根拠）介護予防リーダー養成講座修了者見込延べ人数 （担当者）長寿介護課長 （目標値10年）当初（H22）：　73人　　現状：　300人　　5年後：　500人 （目標値3年）平成28年度：　340人　　平成29年度：　380人　　平成30年度：　420人			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19　地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	5　★大学等との連携による高齢者の介護支援（介護予防）を進めます。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	認知症カフェの立ち上げ支援	認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援	認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援
	経費（千円）	－	－	150

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★連携カフェ年間開催数【5-81】	目標		―	2	4	8	16	16
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 大学生や子育て中の母親と連携したカフェをH32に16回開催を目指します。	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	市内における認知症カフェの立ち上げ支援を行い、3ヶ所の認知症カフェが設立しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 大学生や子育て中の母親などと高齢者のふれあいが図れるよう認知症カフェとの連携を図っていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援	同左	同左
	経費（千円）	－	150	300

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★連携カフェ年間開催数 （定義）連携カフェ年間開催数 （根拠）大学生や子育て中の母親と連携したカフェの年間開催数 （担当者）長寿介護課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　回　　現状：　―　回　　5年後：　16回 （目標値3年）平成28年度：　2回　　平成29年度：　4回　　平成30年度：　8回

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	19　地域で支え合う安心の暮らし
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
関連課名	長寿介護課、地域福祉課

基本計画	6　★あったか声かけ作戦を推進します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	長寿介護課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	あったか声かけ作戦の実施	同左	同左
	経費（千円）	300	330	330

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
あったか声かけ作戦の実施地区数	目標		8	11	11	11	11	11
	実績	ー	10					
（指標及びH32目標値の設定理由） 全校区においてあったか声かけ作戦を実施	目標数値の達成度 単年度		125%					
	目標数値の達成度 最終年度		91%					

H27取組状況	加西市社会福祉協議会に補助し、あったか声かけ作戦を10地区で実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 声かけ作戦だけではなく、SOSネットワークを活用した捜索訓練に取り組んでいきます。また公共交通事業者などとも連携を図り、事業の拡大に取り組み、地域全体で認知症高齢者等を見守る体制整備を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	125%	91%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	あったか声かけ作戦の実施	同左	同左
	経費（千円）	330	330	330
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）あったか声かけ作戦の実施地区数 （定義）あったか声かけ作戦を実施した地区数 （根拠） （担当者）長寿介護課長 （目標値10年）当初（H22）：　-　回　　現状：　10地区　　5年後：　11地区 （目標値3年）平成28年度：　11地区　　平成29年度：11地区　　平成30年度：　11地区			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20　防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	1　災害時要援護者の登録推進を図ります。			
主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定	・同左	・同左
	経費（千円）	360	360	360

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
災害時要援護者台帳登載率（%）	目標		61.5	63	64	65	66	67
	実績	ー	61.5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 支援希望の有無について回答のない方198名のうち2/3を台帳に搭載すると想定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		92%					

H27取組状況	・要介護度3以上及び重度障がい者で災害時要援護者でない者に対して申請書類を送付しました。 ・社会福祉協議会に委託して福祉委員（民生委員）により訪問調査を実施しました。 ・災害時要援護者台帳を作成し、自治会、民生委員、社会福祉協議会及び消防署に配布しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 災害時要援護者数は1,344人（H28.2時点）であるが、支援希望の有無について回答がない潜在災害時要援護者198名について状況を把握するとともに、支援不要と回答があった未登録災害時要援護者643名についても状況の変化について継続的に確認していかなければならないことから、今後も福祉委員（民生委員）の協力を得ながら、取り組んでいきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	92%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定	・同左	・同左
	経費（千円）	360	360	360

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）災害時要援護者台帳登載率（%） （定義）災害時要援護者の対象者（要介護度3以上、重度障がい者）のうち、台帳に登載されている人数の割合 （根拠）加西市災害時要援護者避難支援計画 （担当者）危機管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　%　現状：61.5%　5年後：67% （目標値3年）平成28年度：63%　平成29年度：64%　平成30年度：65%

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20　防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	2　北はりま消防組合との連携や自主防災組織、消防団を支援により強化し、地域防災力の向上に努めます。			
主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課
実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 ・図上訓練	・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助30地区 ・土のうづくり訓練 ・図上訓練	・同左
	経費（千円）	1,479	2,324	2,324

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
① ★防災訓練・研修年間開催数【5-89】	目標		35	44	53	62	71	71
	実績	ー	34					
（指標及びH32目標値の設定理由） 自主防災組織が2年に1度は訓練実施するように設定	目標数値の達成度	単年度	97%					
		最終年度	48%					
② ★資器材補助団体数	目標		10	12	14	16	18	20
	実績	ー	26					
（指標及びH32目標値の設定理由） 資機材補助団体数の倍増	目標数値の達成度	単年度	260%					
		最終年度	130%					

H27取組状況	資機材整備補助制度を見直し、毎年50,000円を上限に補助（1/2）することとしました。 出水期前に土のう作り訓練を実施し、地震発生を想定した図上訓練及び兵庫県・播磨広域合同訓練の一環として避難所設置・運営訓練を実施しました。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 訓練を実施する自主防災組織が固定化しているため、実施していない地域への普及啓発を行いたいと考えます。 また、平成27年度に実施した避難所設置・運営訓練を他地区でも実施し、災害時のスムーズな避難所設置・運営につなげます。資機材補助団体数は、補助制度を見直したこともあり、当初の目標を既に達成していますが、今後も維持又は増加するように啓発していきたいと考えます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	97%	48%	A：目標を上回って達成	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	260%	130%		

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20　防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 ・図上訓練	・同左	・同左
	経費（千円）	2,324	2,324	2,324
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★防災訓練・研修年間開催数 （定義）市主催防災訓練回数、自主防災訓練実施数 （根拠）市主催防災訓練実施回数と自主防災訓練補助申請数の合計 （担当者）危機管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　回　　現状：　35回　　5年後：　71回 （目標値3年）平成28年度：　43回　　平成29年度：　50回　　平成30年度：　57回 （指標名）★資器材補助団体数 （定義）消防防災施設等整備事業補助金申請数 （根拠）消防防災施設等整備事業補助金交付要綱 （担当者）危機管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　団体　　現状：　10団体　　5年後：　20団体 （目標値3年）平成28年度：　12団体　　平成29年度：　14団体　　平成30年度：　16団体			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20　防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	3　通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。			
主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・LED防犯灯の新設	・同左	・同左
	経費（千円）	14,170	15,846	16,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
LED防犯灯設置数	目標		3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200
	実績	―	3,691					
（指標及びH32目標値の設定理由） 通学路のLED防犯灯を増設して児童の安全を図るために各中学校区に100灯程度を目標に設置	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	88%					

H27取組状況	地元自治会や学校の要望により、71灯の防犯灯を新設しました。また、通学路を点検し、防犯灯を必要とする箇所をリストアップしました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 電柱がない場所、農作物に影響を及ぼすと考えられる場所等、設置の困難な場所の安全をどのように確保するか、研究・検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	88%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置します。	・同左	・同左
	経費（千円）	15,846	16,000	16,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）防犯灯設置数 （定義）市が設置するLED防犯灯数 （根拠）年間100灯を目指す （担当者）危機管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　灯　　現状：　3,700灯　　5年後：　4,200灯 （目標値3年）平成28年度：3,800灯　　平成29年度：3,900灯　　平成30年度：4,000灯

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20　防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	4　青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。			
主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・登下校時見守り ・防犯パトロール	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
年間のパトロール実施回数	目標		190	190	190	190	190	190
	実績	―	190					
（指標及びH32目標値の設定理由） 毎日計画的に青色防犯パトロールを実施します。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	総合教育センターと連携して、通学路のパトロールを実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 パトロール員を増員することは困難であるため、防犯カメラとの併用で効果を上げていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）青色防犯パトロールの実施回数 （定義）登下校時の児童の安全と防犯に繋げる （根拠）パトロール員の勤務日数 （担当者）危機管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー人　　現状：190人　　5年後：190人 （目標値3年）平成28年度：190人　　平成29年度：190人　　平成30年度：190人

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20　防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	5　警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。			
主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・普及啓発促進	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者における人身事故加害者率（%）【減少指標】	目標		0.44	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
	実績	0.49	0.44					
（指標及びH32目標値の設定理由）高齢者の運転免許保持者が人身事故を起こす割合を現在の水準より上げない	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	102%					

H27取組状況	免許更新時、交通安全講習会（16回開催）時に推奨しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 加西市において自動車は主たる移動手段であることから、公共交通等の充実整備を図り、また返納するインセンティブを充実させることが必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	102%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発する	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）高齢者における人身事故加害者率 （定義）65歳以上免許保有人口における人身事故加害者の割合 （根拠）65歳以上人身事故加害者数（H26.1～12）　40／65歳以上人口（H26.12）13,404＝0.30% （担当者）危機管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　0.49%　　現状：　0.44%　　5年後：　0.43% （目標値3年）平成28年度：0.43%　　平成29年度：0.43%　　平成30年度：0.43%

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20　防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	6　★老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。			
主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・老朽危険空き家を除却し、跡地を有効利用する自治会に補助 ・老朽危険空き家の所有者に助言・指導を行う。	同左	同左
	経費（千円）	2,198	2,000	2,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
老朽危険空き家所有者への年間助言・指導数	目標		5	5	5	5	5	5
	実績	―	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 危険空き家の増加を抑制する。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	空家を除却して、跡地を有効利用する3自治会に対して補助を行った。また、自治会から相談を受けた老朽危険空き家の管理者に対して5件の助言・指導を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 空き家は、年々増加してきていると思えるが、所有者の死亡後相続人が権利放棄していたり、所有者に解体撤去する資力がないなどの阻害要因があります。放置することにより、住民に危険が及んだり環境を損ねる可能性があるため、安全安心のまちづくりのために行政として施策を講じなければならないが、公費を投じることの公平性や市民モラルを考慮しての対策を検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	空き家の実態調査 所有者への助言・指導 自治会への除却補助	空き家対策計画策定 所有者への助言・指導 自治会への除却補助	所有者への助言・指導 自治会への除却補助
	経費（千円）	2,000	2,000	2,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）老朽危険空き家所有者の指導 （定義）倒壊等保安上危険となる、衛生上有害、著しく景観を損なっているなど周辺の生活環境に悪影響がある （根拠）加西市空き家等の適正管理に関する条例 （担当者）危機管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　　現状：5回　　5年後：5回 （目標値3年）平成28年度：5回　平成29年度：5回　　平成30年度：5回			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	20　防犯・防災のまちづくり
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。
関連課名	危機管理課

基本計画	7　★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。			
主管部課	部名	総務部	課名	危機管理課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	主要交差点に防犯カメラを設置し併せて防犯活動に取り組む団体に設置補助	同左	同左
	経費（千円）	1,110	1,400	2,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
防犯カメラ設置台数	目標		7	15	20	30	40	50
	実績	―	8					
（指標及びH32目標値の設定理由） 主要な交差点20カ所 30団体の設置を支援	目標数値の達成度 単年度		114%					
	目標数値の達成度 最終年度		16%					

H27取組状況	加西ハイツ第１及び谷の交差点に合計４機の防犯カメラを設置し、４自治会に対し、防犯カメラ設置の補助金を交付しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 防犯カメラは犯罪抑止に有効ではあるが、認知症の方や子どもに配慮したシステムも考える必要があります。また、行政だけではなく各種団体にも協力を要請していく必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	114%	16%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	主要交差点に重点的に設置し、必要とする自治会に設置補助	同左	同左
	経費（千円）	1,400	2,000	2,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）防犯カメラ設置台数 （定義）市と自治会が設置する総数 （根拠）主要交差点20カ所に設置　30団体の設置を支援 （担当者）危機管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　カ所　　現状：7台　　５年後：50台 （目標値３年）平成28年度：15台　　平成29年度：20台　　平成30年度：30台

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	1　★加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施	・同左	・同左
	経費（千円）	40,656	40,774	40,774

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】	目標		5	6	6	6	5	5
	実績	―	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	・子育てに関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習等の実施を行いました。 ・子育てひろばとして「ねひめキッズ」、「ほくぶキッズ」、「ぜんぽうキッズ」の各事業の重複や行事の整理を行い、各園の特色を活かした親子交流の場の提供に努めました。年間延べ利用者は平成26年度20,942人から平成27年度25,690人へと大きく伸びました。
課題と今後の取組	・子育てに関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習等の充実を進めます。 ・来園者の登録制度やグループ活動を促進し、新たな利用者を増やす工夫が求められます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施	同左	同左
	経費（千円）	40,774	40,774	40,774
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）子育てひろば事業・児童館の充実 （定義）子育てひろば事業・児童館数 （根拠）子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 （担当者）こども未来課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　か所　　現状：　5か所　　5年後：　5か所 （目標値3年）平成28年度：　6か所　　平成29年度：　6か所　　平成30年度：　6か所			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	2　健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・新生児訪問・未熟児訪問 ・すくすく子育て相談窓口 ・乳幼児保健相談 ・プレママ教室、パパママクラブ	・すくすく相談窓口開設 ・新生児訪問・未熟児訪問 ・乳幼児保健相談 ・プレママ教室、パパママクラブ	同左
	経費（千円）	28,497	28,420	28,430

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★妊婦健診の年間受診延べ件数【1-20】	目標		3664	3682	3699	3716	3750	3750
	実績	―	3493					
（指標及びH32目標値の設定理由） 妊婦数及び妊娠期の健康管理の状況を示すもので、増加を目指す。	目標数値の達成度 単年度		95%					
	目標数値の達成度 最終年度		93%					

H27取組状況	育児困難が予想される妊婦を「特定妊婦」として把握し、地区担当保健師を中心に、妊娠期から支援に取り組みました。 健康かさい21計画の中で、健やか親子21として母子保健に関する計画を策定し、10年後の目標値を設定しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 子育て支援をより充実するためには子育て期からではなく妊娠期から早期に把握する必要があります。すくすく子育て相談窓口機能をより充実させ、関係機関との連携を十分にとり、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目ない支援を行う仕組みづくりが必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	95%	93%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・すくすく相談窓口（子育て世代包括支援センター）の立ち上げ ・プレママ教室、パパママクラブ	・すくすく相談窓口の充実 ・プレママ教室、パパママクラブ	・同左
	経費（千円）	28,420	28,430	28,515
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★妊婦健診の年間受診延べ件数 （定義）妊婦健診の年間受診延べ件数 （根拠）妊婦健診助成券使用状況及び償還払い件数 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　件　　現状：3,664件　　5年後：3,750件 （目標値3年）平成28年度：3682 件　　平成29年度：3699　件　　平成30年度：3716　件			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	3　教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・こども未来課へ所管替え ・児童療育室と他部署との連携強化	・児童療育室と他部署との連携強化	・同左
	経費（千円）	18,173	20,527	20,527

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】	目標		5	6	6	6	5	5
	実績	ー	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	・発達相談等のあった3歳児以上の園児44名を対象に、個々の実態調査を行ったうえ支援担当職員17名の配置を決定しました。また、私立園には加配職員配置助成措置を講じました。 ・発達支援児個別の指導計画を基に個々の支援ファイルを作成し、研修会や特別支援ネットワーク会議で、保幼小職員相互で支援ファイルをもとに情報伝達を行うことで支援の継承を図りました。
課題と今後の取組	・療育機関等の関係機関との連携を密にすることで情報を早期に共有化し、個々の発達状況を客観性をもって把握し、より適切な支援ができるように保育者の資質向上に努める必要があります。 ・特別支援児支援担当職員を臨時職員で対応しているが、まだ職員は恒常的に不足状態であり、職員確保が喫緊の課題です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・児童療育室と他部署との連携強化	・同左	同左
	経費（千円）	20,527	20,527	20,527

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）子育てひろば事業・児童館の充実 （定義）子育てひろば事業・児童館数 （根拠）子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 （担当者）こども未来課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　か所　　現状：　5か所　　5年後：　5か所 （目標値3年）平成28年度：　6か所　　平成29年度：　6か所　　平成30年度：　6か所

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	4　地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・児童虐待防止の広報、啓発 ・要保護児童対策地域協議会の充実 ・民生委員児童委員、主任児童委員との連携強化	・同左	・同左
	経費（千円）	9,635	10,790	10,790

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
相談窓口啓発カードの配布枚数	目標		350	400	500	600	700	800
	実績	29	350					
（指標及びH32目標値の設定理由） 相談窓口の周知は早期発見・対応に不可欠であり、配布枚数は啓発の進捗状況を示す。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		44%					

H27取組状況	・相談窓口がわからないとの声を受け、相談窓口啓発カードを作成、配布しました(赤ちゃん訪問事業、各種会議等)。 ・要保護児童対策地域協議会にアドバイザーを招き、充実させました。初めて協議会主催で児童虐待防止推進月間に講演会を開催、児童虐待防止推進に努めました。民生委員児童委員、主任児童委員との連携を強化し個々の対応に努めました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 児童虐待相談を含む子育てに関する相談は年々増加しています。身近に相談者・協力者がいない家庭も多い状況です。 育児の孤立化、育児不安の防止、虐待が深刻化する前の早期発見・早期対応に努めることが児童虐待防止推進につながっていくため、さまざまな機会を通して相談窓口の周知、相談体制の整備・充実に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	44%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	相談窓口啓発カードの作成・配布。 相談体制整備、充実。 養護児童対策地域協議会の充実。	相談窓口啓発カードの作成・配布。 相談体制整備、充実。 養護児童対策地域協議会の充実。	相談窓口啓発カードの作成・配布
	経費（千円）	10,790	10,790	10,790
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）相談窓口啓発カードの配布枚数 （定義）家庭児童相談室における配布枚数 （根拠）家庭児童相談室における配布枚数 （担当者）地域福祉課長 （目標値10年）当初（H22）：　－枚　　現状：　350枚　　5年後：　800枚 （目標値3年）平成28年度：400枚　　平成29年度：500枚　　平成30年度：600枚			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	5　学校との連携を強化し、学童保育を充実します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・北条東学童保育園専用棟の建設	・11園の運営	・同左
	経費（千円）	109,471	78,327	78,327

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
学童保育受入率（%）【1-23】	目標		100	100	100	100	100	100
	実績	82.9	100					
（指標及びH32目標値の設定理由） 11園で運営し受入枠を拡充	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	・対象年齢を小学6年生まで拡充し、平成26年4月1日時点で225人から平成27年は293人に児童数が増えました。 ・手狭となった北条東小学校には学童保育専用棟を平成28年3月に整備し、利用の確保を行いました。 ・指導員の確保・充実を図るため、毎月の連絡会を活用した指導や新人研修、県の資格認定研修（5名）への参加機会を拡充しました。
課題と今後の取組	・各校区とも学童保育の利用者が増加し、定員に空きがないため、入園受入を保留する児童も発生しています。 ・小学校内の空き教室も乏しく、旧幼稚園舎等を利活用するなど園舎と指導員の確保が課題です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・11園の運営	同左	同左
	経費（千円）	78,327	78,327	78,327

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）学童保育受入率 （定義）学童保育受入率 （根拠）学童保育希望者における受入児童の割合　総申込数で入園決定を行った数で割ったもの 平成22年155人（決定数）/187人（申込数）＝82.9% （担当者）こども未来課長 （目標値10年）当初（H22）：　82.9%　　現状：　100%　　5年後：　100% （目標値3年）平成28年度：　100%　　平成29年度：　100%　　平成30年度：　100%

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	6　認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・北条東こども園の開設 ・認定善防こども園の開設	・認定こども園の普及	・（仮称）加西こども園の開設
	経費（千円）	60,412	29,371	565,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
認定こども園の普及（園）【1-22】	目標		5	5	6	7	7	7
	実績	―	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） H29年に1ヶ所、H30年に1ヶ所認定こども園を開設	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		71%					

H27取組状況	・平成27年4月、北条東こども園、泉幼児園を開設しました。私立園では認定善防こども園、認定多聞こども園、認定愛の光こども園が開設しました。市内の認定こども園は5園となり、そのうち幼保連携型こども園は3園となりました。また、九会幼児園と別府幼児園を統合して整備する（仮称）加西こども園では、保護者や地域との協議を重ね、園舎整備にあわせた区画道路の都市計画の変更承認を受け、平成28年2月、仮設園舎整備に着手しました。
課題と今後の取組	・幼保施設の再編によるこども園整備は地域事情、児童数の推移等、慎重に協議を進める必要があるが、泉中学校区における幼保一体化の対応、協議が急がれます。 ・公設による施設整備には建設に係る財源確保が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	71%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・認定こども園の普及	・（仮称）加西こども園の開設	・北条西保育所と北条幼稚園を統合し、認定こども園として開設
	経費（千円）	29,371	565,000	30,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）認定こども園の普及 （定義）認定こども園の開設数 （根拠）認定こども園の開設数 （担当者）こども未来課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　園　　現状：　5園　　5年後：　7園 （目標値3年）平成28年度：　5園　　平成29年度：　6園　　平成30年度：　7園

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	7　保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。			
主管部課	部名	教育委員会 ふるさと創造部	課名	こども未来課 人口増政策課

		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
実施スケジュール	取組内容	4･5歳児の保育料無料化	4･5歳児の保育料無料化 子育て応援券の検討	4･5歳児の保育料無料化 子育て応援券の配布
	経費（千円）			10,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★保育料等の無料化対象年齢【1-12】	目標			―	4･5歳	4･5歳	4･5歳	4･5歳	4･5歳
	実績		―	4･5歳					
（指標及びH32目標値の設定理由） 4･5歳児保護者の負担軽減を維持する	目標数値の達成度	単年度		100%					
		最終年度		100%					
②★子育て応援券制度対象者数【1-7】	目標			―	―	900	1,300	1,300	1,500
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 子育て応援券制度対象者の増加を図る	目標数値の達成度	単年度		－					
		最終年度		－					

H27取組状況	・保育料の負担軽減を図るため、4･5歳児の保育所保育料の上限額を月額2万円から給食費相当分となる5千円に引き下げ、実質的な保育料の無料化を実施するための制度設計を行いました。 ・多子世帯に対する保育料軽減は、第2子58名、第3子92名の申請を受理し、負担軽減を行いました。
課題と 今後の取組	【保育料等の無料化】 ・今後の保育料の設定については近隣市の動向と国の動向を注視する必要があります。 ・対象年齢を3歳以下に広げるには、保育利用の児童数増加が見込まれるため、設備や保育士の確保が課題です。 【子育て応援券】 ・子育て支援サービス提供事業者の把握と整理に基づいた事業規模を検討する必要がある。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続
②	①未着手	H28新規	－	－		

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	・4･5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券の検討	・4･5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券の配布	同左
	経費（千円）	―	10,000	12,000
変更する内容				

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★保育料等の無料化対象年齢 （定義）保育料等の無料化対象年齢 （根拠）保育料等の無料化対象年齢 （担当者）こども未来課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　　現状：　ー　　５年後：　4・5歳 （目標値３年）平成28年度：　4・5歳　平成29年度：　4・5歳　平成30年度：　4・5歳 （指標名）★子育て応援券制度対象者数 （定義）子育て応援券制度対象者数 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　　現状：　ー　人　　５年後：　1,500人 （目標値３年）平成28年度：　ー　人　　平成29年度：900人　　平成30年度：1,100人

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	8　子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・病児保育の実施	・同左	・同左
	経費（千円）	13,122	11,228	11,228

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
病児病後児保育施設年間利用者数【1-13】	目標		300	400	400	400	500	500
	実績	ー	411					
（指標及びH32目標値の設定理由） H27年の実績を基に目標を設定する	目標数値の達成度	単年度	137%					
		最終年度	82%					

H27取組状況	・市内の子育てひろばや保育園、幼稚園に訪問し、病児保育事業の周知を図りました。 ・病児・病後児保育園の利用者は平成26年度307人から平成27年度には411人となり、制度の周知によって利用人数が増加しました。
課題と今後の取組	・病児・病後児保育事業は、病気の流行により利用者の人数が左右されやすく、継続的な利用が見込みにくいが、引き続きPRに努め、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	S：予定より早く進行	137%	82%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・病児保育の実施	・同左	・同左
	経費（千円）	11,228	11,228	11,228
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）病児病後児保育施設年間利用者数 （定義）病児病後児保育施設年間利用者数 （根拠）病児病後児保育施設年間利用者数 （担当者）こども未来課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　　現状：　300人　　5年後：　500人 （目標値3年）平成28年度：　400人　　平成29年度：　400人　　平成30年度：　400人			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	9　地域の保育サポーターやプレイリーダーを養成します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・会員養成講座の充実、交流会の充実による会員増と利用増を図る。	・同左	・同左
	経費（千円）	2,559	3,300	3,300

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ協力会員数【1-21】	目標		60	61	62	63	65	65
	実績	29	60					
（指標及びH32目標値の設定理由） 協力会員数は、地域の保育サポーターを示すもの。現状より会員増（約1人／年）を設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		92%					

H27取組状況	・会報（ファミサポだより）発行による活動状況等の周知に努めました。 ・安心して活動が行るよう会員養成講座を開催。協力会員の資質向上を図りました。また、会員増と利用増を図るため、会員交流会を開催しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 学童保育の拡大等他の子育て支援施策の充実により、27年度以降実働回数は見込みより減少しています。しかし、ファミリーサポートクラブでしか担えない活動のニーズは増加していくと考えられるため、協力会員の増を図り、事業周知を行い実働につなげていきます。また、養成講座を充実させ、会員の資質向上を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	92%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	会員養成講座、会員交流会の充実。 会報発行等を通じて活動の周知を図る。	会員養成講座、会員交流会の充実。 会報発行等を通じて活動の周知を図る。	会員養成講座、会員交流会の充実。 会報発行等を通じて活動の周知を図る。
	経費（千円）	3,300	3,300	3,300
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ協力会員数 （定義）ファミリーサポートセンターの協力会員の数 （根拠）ファミリーサポートセンター登録会員数 （担当者）地域福祉課長 （目標値10年）当初（H22）：　29人　　現状：　60人　　5年後：　65人 （目標値3年）平成28年度：　61人　　平成29年度：　62人　　平成30年度：　63人			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	10　中学3年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	国保医療課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・中学3年生までの医療費無料化継続実施 ・公費負担医療助成事業の新設	・同左	・同左
	経費（千円）	159,690	174,699	174,699

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
中学3年生までの医療受診件数【1-18】	目標		82,496	83,000	83,500	84,000	84,500	85,000
	実績	ー	81,456					
（指標及びH32目標値の設定理由） 子どもの増加に伴い、受診件数が増えることが予想されるため、受診件数を評価指標としています。	目標数値の達成度 単年度		99%					
	目標数値の達成度 最終年度		96%					

H27取組状況	中学3年生までの医療費無料化を継続して実施するとともに、4月には指定難病等の他の公費で助成を受けている対象者に対して、自己負担額を助成する制度を新設しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 H28.7.1現在、中学3年生までの医療費無料化は県内41市町中34市町に及び、所得制限撤廃の市町も増加傾向であり、市町の独自色を出すため、高校生までの無料化を実施する市町もあります。そのため、今後とも他市町の動向を注視し、財政事情を踏まえて制度改正について継続的な検討を要します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	99%	96%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・中学3年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施	・同左	・同左
	経費（千円）	174,699	174,699	174,699

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）中学3年生までの医療受診件数 （定義）乳幼児等、こども医療費助成の対象者における受診件数 （根拠）年度末の月報における各助成事業対象者の受診件数 （担当者）国保医療課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　　現状：　82,496人　　5年後：　85,000人 （目標値3年）平成28年度：　83,000人　　平成29年度：　83,500人　　平成30年度：　84,000人

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	11　★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	未実施	産後ケア事業	同左
	経費（千円）	0	1,425	1,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★産後ケア事業の利用率（%）【1-3】	目標		―	3	6	8	10	10
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 事業についての周知が広がることで利用者が増加することを見込む	目標数値の達成度 単年度		－					
	目標数値の達成度 最終年度		－					

H27取組状況	平成28年度からの新規事業のため実施はしていないが、他市町の実施状況等を確認し、実施に向けた準備を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 産婦人科へのチラシ設置や母子手帳交付時や健診でのチラシの配布、広報掲載や民生委員への周知など広く市民への周知に努めます。 医療機関や地域福祉課・子ども未来課と連携を深めていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	産後ケア事業を新規実施	産後ケア事業の継続	同左
	経費（千円）	1,425	1,500	1,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★産後ケア助成制度の利用率 （定義）特定妊婦の産後ケア事業利用率 （根拠）すくすく相談窓口（子育て世代包括支援センター）でのケース把握 （担当者）健康課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　%　　現状：　―　%　　5年後：　10% （目標値3年）平成28年度：　3%　　平成29年度：　6%　　平成30年度：　8%			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	12　★ひとり親家庭の支援を行います。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・現行事業の実施。	・現行事業の実施。 ・ひとり親家庭のニーズ調査実施	・現行事業の実施。 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備。
	経費（千円）	1,380	3,141	3,141

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★ひとり親家庭の支援制度のﾒﾆｭｰの充実【1-5】	目標		―	0	0	0	1	1
	実績	―	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） ひとり親家庭の支援施策整備のための追加メニュー数	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	・現行事業を実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 現行事業の実施とともに、ひとり親家庭のニーズ調査を実施します。調査結果を踏まえ、必要な制度の整備をします。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・現行事業の実施。 ・ひとり親家庭のニーズ調査実施。	・現行事業の実施。 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備。	・現行事業の実施。 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備。
	経費（千円）	3,141	3,141	3,141

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★ひとり親家庭の支援制度のﾒﾆｭｰの充実 （定義）ひとり親家庭の子育て環境整備 （根拠）ひとり親家庭の支援制度のﾒﾆｭｰの充実 （担当者）地域福祉課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　メニュー　　現状：　―　メニュー　　5年後：　1メニュー （目標値3年）平成28年度：　0メニュー　　平成29年度：　0メニュー　　平成30年度：　0メニュー

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	13　★子育て応援企業の支援を行います。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	－	・実態把握	・セミナーの実施
	経費（千円）	0	0	50

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★子育て応援企業セミナー年間参加者数【1-8】	目標		―	－	30	30	30	30
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 子育て応援に取り組む企業の支援数で、年間30名の参加を目標設定。	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	平成28年度より実施
課題と今後の取組	子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援するため、関係機関と連携し、アンケート等により実態把握のうえ、育休等の取得を促進するセミナー等を開催します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・実態把握	・セミナーの実施	・セミナーの実施
	経費（千円）	0	50	50

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★子育て応援企業セミナー年間参加者数 （定義）子育て応援企業セミナー年間参加者数 （根拠）子育て応援企業セミナー年間参加者数 （担当者）産業振興課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　　現状：　―　人　　5年後：　30人 （目標値3年）平成28年度：　―　人　　平成29年度：　30人　　平成30年度：　30人

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	14　★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。			
主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・公共施設の授乳室、おむつ交換台等の設置状況調査	・必要設備設置済の公共施設について「赤ちゃんの駅」に指定する。 ・民間施設への説明、協力依頼。	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼。
	経費（千円）	0	50	50

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★「赤ちゃんの駅」設置数【1-9】	目標		―	5	7	10	13	15
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 子育て家庭の外出支援の充実を図るもの。	目標数値の達成度 単年度		－					
	目標数値の達成度 最終年度		－					

H27取組状況	・公共施設の授乳室、おむつ交換台等の設置状況調査を実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。「赤ちゃんの駅」指定に必要な設備を備えている施設に加え、未整備施設についても所管課と協議のうえ、整備し「赤ちゃんの駅」指定へつなげていきます。 ・民間施設への制度説明、理解に努め、「赤ちゃんの駅」指定へつなげていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・必要設備設置済の公共施設について「赤ちゃんの駅」に指定する。 ・民間施設への説明、協力依頼。	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼。	・同左
	経費（千円）	50	50	50
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★「赤ちゃんの駅」設置数 （定義）子育て世帯の外出支援 （根拠）「赤ちゃんの駅」設置数 （担当者）地域福祉課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　か所　　現状：　―　か所　　5年後：　15か所 （目標値3年）平成28年度：　5か所　　平成29年度：　7か所　　平成30年度：　10か所			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	15　★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	検討	調査研究
	経費（千円）	0	0	2,000

指標名	区分		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★屋内遊具施設の誘致【1-10】	目標			―	―	―	―	1	1
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 屋内遊具施設の誘致数が指標に適している。	目標数値の達成度	単年度		－					
		最終年度		－					

H27取組状況	―
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 屋内遊具の設置場所については集客力のある施設内に設置をしないと、設置による効果が十分に発揮できないと思われるので、市内の商業施設との調整を並行して行う必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	検討	調査研究	誘致
	経費（千円）	0	2,000	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★屋内遊具施設の誘致 （定義）屋内遊具施設の設置数 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　か所　　現状：　―　か所　　5年後：　1か所 （目標値3年）平成28年度：　―　か所　　平成29年度：　―　か所　　平成30年度：　―　か所

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	16　★空き家を活用した子育て支援を行います。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	検討	・ニーズや受け皿に関する情報収集
	経費（千円）	―	―	―

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★空き家を活用した子育て支援施設数【1-11】	目標			―	0	0	0	1	1
	実績		―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由） 必要が生じた時点で目標年度を設定する	目標数値の達成度	単年度		－					
		最終年度		－					

H27取組状況	なし
課題と今後の取組	

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	③見直し

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	検討	・ニーズや受け皿に関する情報収集	同左
	経費（千円）	―	―	―

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★空き家を活用した子育て支援施設数 （定義）空き家を活用した子育て支援施設数 （根拠）空き家を活用した子育て支援施設数 （担当者）こども未来課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　か所　現状：　―　か所　5年後：　1か所 （目標値3年）平成28年度：　　か所　平成29年度：　　か所　平成30年度：　　か所

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	17　★子育て情報の発信に努めます。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・子育てNAVIによる子育て情報の発信	同左	同左
	経費（千円）	713	713	713

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★「子育てNAVI」1日平均閲覧数【1-14】	目標		60	60	100	150	300	300
	実績	ー	50					
（指標及びH32目標値の設定理由） 登録数により5倍増を設定	目標数値の達成度 単年度		83%					
	目標数値の達成度 最終年度		17%					

H27取組状況	子育てハンドブックの大幅なリニューアルを行い、最新の子育て情報や写真に改め、視覚的にわかりやすい情報発信に努めました。 あわせてメール配信サービスの配信頻度を高め、子育て広場に関する情報発信の強化に努めました。
課題と今後の取組	・子育て広場の来園者の登録制度やグループ活動を促進し、新たな利用者を増やす工夫が求められます。 ・加西市ならではの子育て支援情報を発信していき、登録者を増やす工夫が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	83%	17%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・子育てNAVIによる子育て情報の発信	同左	同左
	経費（千円）	713	713	713

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★「子育てNAVI」1日平均閲覧数 （定義）「子育てNAVI」1日平均閲覧数 （根拠）「子育てNAVI」1日平均閲覧数 （担当者）こども未来課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　件　　現状：　60件　　5年後：　300件 （目標値3年）平成28年度：　60件　　平成29年度：　100件　　平成30年度：　150件

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	18　★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免。	同左	同左
	経費（千円）	10,773	10,719	10,700

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★下水道基本料金の減免年間世帯数【1-15】	目標		560	590	620	650	700	700
	実績	ー	630					
（指標及びH32目標値の設定理由） 様々な子育て支援策を講じることにより多子世帯数を年々30名程度増加させる。	目標数値の達成度	単年度	113%					
		最終年度	90%					

H27取組状況	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 加西市における多子世帯の状況を踏まえ、第3子以降が適当なのか、第2子以降が適当なのか等を考慮しながら、制度の見直しや減免の範囲等について検討する必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	S：予定より早く進行	113%	90%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免。	同左	同左
	経費（千円）	10,719	10,700	10,800
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★下水道基本料金の減免年間世帯数 （定義）下水道基本使用料の減免世帯数 （根拠）同上 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　世帯　　現状：　560世帯　　5年後：　700世帯 （目標値3年）平成28年度：590世帯　　平成29年度：620世帯　　平成30年度：650世帯			

平成27年度

基本政策	6　身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
施策	21　安心できる子育て支援
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。
関連課名	こども未来課、地域福祉課、国保医療課、健康課、人口増政策課、産業振興課

基本計画	19　★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	乳幼児保護者世帯（3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯）や生活保護世帯等に対し指定ごみ袋の支給を行う。	同左	同左
	経費（千円）	1,227	1,433	1,600

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★ごみ袋年間支給枚数（万枚）【1-16】	目標		12	12.5	13	13.5	15	15
	実績	―	10					
（指標及びH32目標値の設定理由） 様々な子育て支援施策等の実施により乳幼児保護者世帯を年々増加させ、支給枚数を2割増加させる。	目標数値の達成度	単年度	83%					
		最終年度	67%					

H27取組状況	乳幼児保護者世帯（3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯）や生活保護世帯等に対し指定ごみ袋の支給を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ごみ処理の広域化等によるごみ袋の販売金額、出生者数の状況及び生活保護世帯への支援内容等を踏まえながら制度の見直しを行う必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	B：予定より遅延	83%	67%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	乳幼児保護者世帯（3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯）や生活保護世帯等に対し指定ごみ袋の支給を行う。	同左	同左
	経費（千円）	1,433	1,600	1,650
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★ごみ袋年間支給枚数 （定義）乳幼児保護者世帯や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋の年間支給枚数 （根拠）5か年で2割増加を想定 （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　万枚　　現状：　12万枚　　5年後：　15万枚 （目標値3年）平成28年度：12.5万枚　　平成29年度：13万枚　　平成30年度：13.5万枚			

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22　自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	1　住民参加による地域の里山整備を支援します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・林道や散策道路等の整備、又は森林の間伐	・同左	・同左
	経費（千円）	800	1,000	1,000

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
里山整備箇所数（毎年）	目標		10	10	10	10	10	10
	実績	0	8					
（指標及びH32目標値の設定理由） 予算の範囲内で小学校区に1つ程度の整備を想定	目標数値の達成度	単年度	80%					
		最終年度	80%					

H27取組状況	（実績）8団体 （内訳）町単位：4団体　、森林ボランティア単位：4団体
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 事業内容の市内各町および森林ボランティア団体への周知により、地元主体の里山整備の推進を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	B：予定より遅延	80%	80%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理	同左	同左
	経費（千円）	1,000	1,000	1,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）里山整備箇所数（毎年） （定義）里山整備に関する経費　定額（上限10万円） 　　助成回数は、同一の団体・申請者に対し3回まで （根拠）加西市農林畜産振興事業補助金交付規則第2条 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　0箇所　　現状：　10箇所　　5年後：　10箇所 （目標値3年）平成28年度：10箇所　　平成29年度：10箇所　　平成30年度：10箇所

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22　自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	2　企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	活動フィールド候補地の申出	企業による森づくり活動	同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
企業の森面積（ha）	目標		4	8	8	8	8	8
	実績	0	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 市内の活動フィールド候補地面積	目標数値の達成度 単年度		0%					
	目標数値の達成度 最終年度		0%					

H27取組状況	いこいの村はりまから候補地としての申請があり、市が現地調査の上、兵庫県緑化推進協会に進達したところ、関西電力労働組合の平成28年度からの森林整備活動地として協議が始まりました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 環境保全等社会貢献に関心の高い企業による加西市内の森林活動を推進・支援します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	－	－	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	森づくり活動協定締結 企業による森づくり活動	企業による森づくり活動	同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）企業の森面積 （定義）企業と連携して行う里山整備（企業の森）の面積 （根拠）兵庫県の「企業の森づくり」についての政策上の位置付けにより、兵庫県緑化推進協会が決定 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　0ha　　現状：　4ha　　5年後：　8ha （目標値3年）平成28年度：　8ha　　平成29年度：　8ha　　平成30年度：　8ha

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22　自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	3　市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・あびき湿原の保全活動及び地域活性化への活用への支援 ・兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業	・同左	・同左
	経費（千円）	2,291	4,439	439

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数（親子向けに夏休み等に実施している環境を学ぶバスツアー）	目標		108	54	54	54	54	54
	実績	ー	108					
（指標及びH32目標値の設定理由） ・自然環境の保全の関心を喚起した人数としました。目標値は参加可能人数としています（マイクロバス2台分）。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		200%					

H27取組状況	【あびき湿原関係】兵庫県・加西市で創設した補助金により、あびき湿原の中で最大の面積を有する第2、第3湿原の周囲300mに防鹿柵の設置を完了しました。 【兵庫県立人と自然の博物館関係】夏休み、冬休みの2回バスツアーを実施しました。冬休みのバスツアーではヤクルト本社兵庫三木工場への工場見学も行いました。H27は、各回54名、2回計108名の参加がありました。
課題と今後の取組	【あびき湿原関係】ハード面、ソフト面と保全・活用体制が整備され、全国的に評価が上がっています（環境省「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」に選定）。あびき湿原だけでなく、他の自然資源についても保全・活用を推進する仕組み作りが必要となっています。 【兵庫県立人と自然の博物館関係】毎回、参加希望者が参加可能人数を大幅に超過し、抽選となっています。しかし、①レンタルバス料金も値上がりし（H25は25,000円/台→H27は54,000円/台）、実施回数を減らしています。また、②一回の受入施設の上限人数が決まっていることから、より多くの方に参加していただくための工夫が必要となっています。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	100%	200%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・あびき湿原の保全活動及び地域活性化への活用への支援 ・兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業	・同左	・同左
	経費（千円）	4,439	439	・同左
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数 （定義）親子向けに夏休み等に実施している環境を学ぶバスツアーの参加人数 （根拠）自然環境について関心を喚起した人数とした。 （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：0人　現状：108人（H27実績）　5年後：54人 （目標値3年）平成28年度：54人　平成29年度：54人　平成30年度：54人			

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22　自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	4　老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・県営ため池改修（設計）6池 ・県営ため池改修　1池着工	・県営ため池改修 3池着工	・県営ため池改修 4池着工
	経費（千円）	55,100	73,000	169,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ため池改修箇所数（件）	目標		1	4	8	11	13	15
	実績	―	1					
（指標及びH32目標値の設定理由） 危険ため池が21箇所あり、H32までに半数以上を改修する。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		7%					

H27取組状況	県営土地改良事業のガイドラインに基づき、6池の調査設計と1池の改修工事に着工しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 平成24～26年にかけて実施した、ため池定期点検・一斉点検において、「要改修」の点検結果が出ている21箇所のため池を地元住民との協議して計画的に改修していきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	B：予定より遅延	100%	7%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・県営ため池改修 3池着工	・県営ため池改修 4池着工	・県営ため池改修 3池着工
	経費（千円）	73,000	169,000	132,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）ため池改修事業費 （定義）県営土地改良事業におけるため池改修事業費 （根拠）事業管理計画 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　現状：　1件　5年後：　2件 （目標値3年）平成28年度：　3件　平成29年度：　4件　平成30年度：　3件

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22　自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	5　有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業	・同左	・同左
	経費（千円）	47,301	50,528	45,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
有害鳥獣年間被害額（千円） 【減少指標】	目標		25,000	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000
	実績	27,284	18,963					
（指標及びH32目標値の設定理由） 農業被害額を5年間で2割削減を目指す。	目標数値の達成度 単年度		76%					
	目標数値の達成度 最終年度		95%					

H27取組状況	獣害防護柵を15.5km／13町に渡って設置しました。また特定外来生物（アライグマ、ヌートリア）を270匹駆除しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 獣害防護柵の設置推進、維持管理及び狩猟者の世代交代が課題です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	76%	95%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業
	経費（千円）	50,528	45,000	45,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）有害鳥獣年間被害額 （定義）有害鳥獣による経済的被害額 （根拠）加西市鳥獣被害防止計画に基づき鳥獣駆除件数や捕獲檻貸出時の聞き取りにより、被害額を算出 （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　27,284千円　　現状：　25,000千円　　5年後：　20,000千円 （目標値3年）平成28年度：　24,000千円　　平成29年度：　23,000千円　　平成30年度：　22,000千円			

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	22　自然と共生する里地里山づくり
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。
関連課名	農政課、環境課

基本計画	6　耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。			
主管部課	部名	地域振興部	課名	農政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・耕作放棄地調査の実施 ・農地貸し借り相談会の実施 ・農地利用集積円滑化事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
耕作放棄地面積（ha） 【減少指標】	目標		10	10	9	9	8	8
	実績	16	11					
（指標及びH32目標値の設定理由） 農地パトロールの結果と営農組合組織率から設定。	目標数値の達成度 単年度		110%					
	目標数値の達成度 最終年度		138%					

H27取組状況	集落営農組織化、新規就農者の参入等を積極的に推進しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 果樹就農希望者の増に伴う耕作放棄樹園地の再整備が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	110%	138%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・耕作放棄地調査の実施 ・農地利用集積円滑化事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動	・耕作放棄地調査の実施 ・農地利用集積円滑化事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動	・耕作放棄地調査の実施 ・農地利用集積円滑化事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）耕作放棄地面積 （定義）耕作放棄地の面積 （根拠）農業委員会の農地パトの結果より算出、10年後に25%削減をめざす （担当者）農政課長 （目標値10年）当初（H22）：　16ha　　現状：　10ha　　5年後：　8ha （目標値3年）平成28年度：　10ha　　平成29年度：　9ha　　平成30年度：　9ha

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23　加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	1　市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・データ収集・整理・編集	・データ・パンフレットの作成	・ガイドブックの作成
	経費（千円）	2,180	1,500	1,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西市の地域資源を掘り起し、整理したパンフレット・ガイドブックを作成する	目標		5	6	7	8	9	10
	実績	ー	5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 毎年一種類は新しく掘り起こしたガイドブックを作成することを目標とする。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		50%					

H27取組状況	・市内の観光情報を集めた加西市観光まちづくり協会の四季報「ぶらっと加西」を年4回発行しました。 ・市内の飲食店76店舗を集めた「加西ふーど記Ⅱ」を発行しました。 ・その他、定住自立圏連携事業において、3市1町それぞれ3登山コースを集めた「のぼってみよう北はりま」を発行しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて 今後も市民の方々に愛着と誇りを持っていただくため、加西市の地域資源に光を当てていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	50%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・観光ガイドブックの更新 ・加西ふーど記Ⅲの作成 ・定住自立圏ドライブマップの作成 ・赤穂義士関連パンフレットの作成	・加西ふーど記Ⅳの作成 ・定住自立圏ガイドブックの作成等	・定住自立圏ガイドブックの作成等
	経費（千円）	1,500	1,500	1,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）観光関連パンフレット、ガイドブックを作成 （定義）観光関連パンフレット、ガイドブックの作成状況 （根拠）観光関連パンフレット、ガイドブックの作成数をカウントする （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　現状：５種類　５年後：１０種類 （目標値3年）平成28年度：６種類　平成29年度：７種類　平成30年度：８種類			

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23　加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	2　ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	文化・観光・スポーツ課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・ふるさと加西フォトコンテスト ・ガイド養成講座	・同左	・同左
	経費（千円）	423	500	500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
フォトコンテストへの出品数	目標		190	200	210	220	230	240
	実績	ー	190					
（指標及びH32目標値の設定理由） 加西市の良さを発見してもらうフォトコンテストを行い、出品数の3割増を設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		79%					

H27取組状況	ふるさと加西のまつりと、あなたに伝えたい景色をテーマにフォトコンテストを計4回開催しました。展示会を行うともに、市民の方々に投票をしていただきました。最優秀賞の写真を使用したカレンダーも作成し、販売を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 毎年テーマを決め、フォトコンテストを開催し、加西市の自分の好きな風景を切り取っていただき、より加西市に愛着と誇りをもっていただく事業を継続して実施していきます。誰もが参加できるような仕組みづくりが課題です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	79%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	ふるさと加西「あなたに伝えたい景色」フォトコンテストを年3回開催。 優秀賞を集めてフォトカレンダーを作成	テーマを決めて、年3回フォトコンテストを開催するとともに、カレンダーを作成する。	テーマを決めて、年3回フォトコンテストを開催するとともに、カレンダーを作成する。
	経費（千円）	500	500	500

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）フォトコンテストへの出品数 （定義）　年3回開催するフォトコンテストに参加する人を増やしていく （根拠）　フォトコンテストへの出品数をカウントする （担当者）文化・観光・スポーツ課長 （目標値10年）当初（H22）：　　現状：　190点　　5年後：　240点 （目標値3年）平成28年度：　200点　　平成29年度：　210点　　平成30年度：220点

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23　加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	3　広告物の表示については、景観との調和に努めます。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時に、屋外広告物条例に基づく指導により、景観との調和に努める	・同左	・同左
	経費（千円）	5,113	5,433	5,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
屋外広告物手続き件数	目標		40	100	60	120	80	140
	実績	ー	55					
（指標及びH32目標値の設定理由） 手続き件数を増加することで広告物と景観との調和を図ることを目標に設定	目標数値の達成度 単年度		138%					
	目標数値の達成度 最終年度		39%					

H27取組状況	・違反広告物パトロールを北播地区合同で実施しました。 ・新規申請及び更新手続きを遅滞無く行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・新規申請の増加に努めます。 ・違反広告物の指導に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	138%	39%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時に、屋外広告物条例に基づく指導により、景観との調和に努める	・同左	・同左
	経費（千円）	5,433	5,500	5,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）屋外広告物手続き件数 （定義）同上 （根拠）手続き件数を増加することで景観との調和に努める。 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　95件　　現状：　55件　　5年後：　140件 （目標値3年）平成28年度：　100件　　平成29年度：　60件　　平成30年度：　120件			

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23　加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	4　開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・開発調整条例に基づき、実態に即した適切な指導と助言により、景観や環境に配慮した土地利用に努める	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
開発調整条例に基づく事前協議件数	目標		30	30	30	30	30	30
	実績	―	35					
（指標及びH32目標値の設定理由） 近年の協議件数の動向から設定	目標数値の達成度 単年度		117%					
	目標数値の達成度 最終年度		117%					

H27取組状況	・事業の工期にも配慮しつつ適切な土地利用に係る指導に努めました。 ・特に近年増加の傾向にある太陽光パネル設置に関するトラブル防止に努めました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・引き続いて太陽光パネル設置等開発事業に係るトラブル防止に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	117%	117%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・開発調整条例に基づき、実態に即した適切な指導と助言により、景観や環境に配慮した土地利用に努める	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）開発調整条例に基づく事前協議件数 （定義）同上 （根拠）開発事業に対し適切な助言及び指導を行うことで景観や環境に配慮した土地利用に努める。 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　0件　現状：　35件　5年後：　40件 （目標値3年）平成28年度：　35件　平成29年度：　35件　平成30年度：　35件

平成27年度

基本政策	7　自然環境の保全と特色ある景観づくり
施策	23　加西の風土を活かした景観づくり
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。
関連課名	文化・観光・スポーツ課、都市計画課

基本計画	5　花咲くまちづくりを推進します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・花づくりボランティア（フラワーセンター）にて花苗5万ポット、市老連（播磨農高）にて花苗6万ポットを育成する。	・同左	・同左
	経費（千円）	2,000	2,100	2,100

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
住民ボランティアによる植栽ポット数(万ポット)	目標		11	11	11	11	11	11
	実績	11	11					
（指標及びH32目標値の設定理由） 配布し花を植えられる施設数より設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	・花づくりボランティア（フラワーセンター）にて花苗5万ポットを育成し各公共施設へ配布、市老連（播磨農高）にて花苗6万ポットを育成し各町の花壇に配布することで、花いっぱいのまちづくりに努めた。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・育成作業に従事するボランティアの増員、育成

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・花づくりボランティア（フラワーセンター）にて花苗5万ポット、市老連（播磨農高）にて花苗6万ポットを育成する。	・同左	・同左
	経費（千円）	2,100	2,100	2,100
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）住民ボランティアによる植栽ポット数 （定義）同上 （根拠）住民ボランティアによって育成し、公共施設等に植栽された植栽ポット（苗）の数 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　11万ポット　　現状：　11万ポット　　5年後：　11万ポット （目標値3年）平成28年度：　11万ポット　　平成29年度：　11万ポット　　平成30年度：　11万ポット			

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	24　省エネ・蓄エネ・創エネの推進
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。
関連課名	環境課、都市計画課

基本計画	1　公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・デマンド監視システムの運用	・同左	・同左
	経費（千円）	0	・同左	・同左

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市庁舎の電気使用量（kwh）【減少指標】	目標		906,925	897,856	888,877	879,988	871,189	862,477
	実績	ー	900,100					
（指標及びH32目標値の設定理由）・デマンド監視システムを運用している市庁舎の電気使用量を指標としました。目標値は省エネ法に基づき年1%削減となる数値としています。	目標数値の達成度 単年度	99%						
	目標数値の達成度 最終年度	104%						

H27取組状況	デマンド監視システムを適切に運用し、夏場・冬場の空調運転の際に、一度に全空調を稼動させずに、順次稼動させて、電力負荷が上がらないように努めました。特に議会会期中は、空調稼動が集中することから市庁舎の稼動を控えるなどの対策を講じました。また、ヒートポンプチラーの温度を夏場は高めに、冬場は低めに設定することで、加熱・冷却に要する消費電力量の削減に努めました。
課題と今後の取組	現行の取組みを継続していきます。ただし、気候によって電気使用量が増加することもあります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	99%	104%	A：目標を上回って達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・デマンド監視システムの運用	・デマンド監視システムの運用	・デマンド監視システムの運用
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市庁舎の電気使用量（kwh） （定義）市庁舎の電気使用量（kwh） （根拠）省エネ法でH22年度実績を基準として年1%削減が求められていることから （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：953,664kwh　現状：906,925kwh（H27目標）　5年後：862,477kwh （目標値3年）平成28年度：897,856kwh　平成29年度：888,877kwh　平成30年度：879,988kwh

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	24　省エネ・蓄エネ・創エネの推進
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。
関連課名	環境課、都市計画課

基本計画	2　民間による環境技術、新製品研究開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・宅地分譲4月開始 ・グリーンハウス建築促進補助受付業務	・グリーンハウス建築促進補助受付業務	・グリーンハウス建築促進補助受付業務
	経費（千円）	4,200	7,200	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
グリーンハウス建築促進補助金受付件数	目標		10	28	28	28	28	28
	実績	―	10					
（指標及びH32目標値の設定理由） グリーンエナジーシティ構想に基づいた住宅団地における建築の見込み件数にて設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		36%					

H27取組状況	・ベルデしもさとの分譲においてグリーンハウス建築促進補助受付業務を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 グリーンハウス建築促進補助制度は、ベルデしもさとに限定した制度であったため、新たな制度設計の検討が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	36%	B：目標を達成	③見直し

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・グリーンハウス建築促進補助受付業務	・新たな制度設計の検討	・新たな制度設計の検討
	経費（千円）	7,200	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）グリーンハウス建築促進補助金受付件数 （定義）グリーンエナジーシティ構想に基づく住宅団地における再生可能エネルギーの活用に配慮した住宅建築促進のための補助金 （根拠）グリーンエナジーシティ構想に基づく住宅団地における建築の見込み件数にて設定 （担当者）都市計画課長 （目標値10年）当初（H22）：　0人　　現状：　0人　　5年後：　0人 （目標値3年）平成28年度：　18人　　平成29年度：　0人　　平成30年度：　0人

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	24　省エネ・蓄エネ・創エネの推進
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。
関連課名	環境課、都市計画課

基本計画	3　住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・加西市住宅用太陽光発電システム設置補助金	・同左	・同左
	経費（千円）	6,001	3,000	3,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西市内の太陽光発電導入容量（kw）	目標		37,285	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000
	実績	ー	48,083					
（指標及びH32目標値の設定理由） ・創エネの指標として導入が続いている太陽光発電の導入容量としました。目標値は、経済産業省発表の導入予定量の半分程度を見込んだ数値としました。	目標数値の達成度 単年度		129%					
	目標数値の達成度 最終年度		64%					

H27取組状況	加西市住宅用太陽光発電システム設置補助金、加西市電気自動車導入補助金を実施し、創エネ・蓄エネの取組みを支援しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、事業者に指導、助言を行い、地域の住環境に配慮した創エネの導入に努めました。
課題と今後の取組	地域の住環境に配慮した大規模太陽光発電施設の導入が進むよう、新たなルール作りが必要となっています。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	S：予定より早く進行	129%	64%	S：目標を大きく上回って達成	①完了

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・加西市住宅用太陽光発電システム設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金	・同左	・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金
	経費（千円）	4,000	4,000	1,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）加西市内の太陽光発電導入容量 （定義）加西市内に設置された太陽光発電の電力（出力）の合計値 （根拠）資源エネルギー庁公表データ （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　kw 現状：　37,285kw（H27.3末実績：後期計画策定時点で把握可能であった数値を上げています） ５年後：　75,000kw （目標値３年）平成28年度：55,000kw　平成29年度：60,000kw　平成30年度：65,000kw			

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25　水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	1　上下水道の施設や設備について費用の平準化を図り、計画的に整備を行います。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・配水管の耐震化　3,550m	・配水管の耐震化　3,000m	・配水管の耐震化　2,000m
	経費（千円）	160,000	160,000	160,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水道管路耐震化率（%）	目標		82	82.6	83.2	83.8	84.4	85
	実績	78	82					
（指標及びH32目標値の設定理由） 上水道施設アセットマネジメントによる	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		96%					

H27取組状況	配水管の耐震化 L=3,050m
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 平成29年度から新配水池整備事業に着手する予定であり、配水管布設替事業の予算が減額となり、耐震化スケジュールが遅延する可能性があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	96%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	配水管の耐震化 L=3,000m	配水管の耐震化 L=3,000m	配水管の耐震化 L=3,000m
	経費（千円）	160,000	160,000	160,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）水道管路耐震化率 （定義）水道管路における耐震化完了管路の割合 （根拠）耐震管及び耐震適合管延長÷総管路延長で算出、各年3,000mの更新を目標とする （担当者）上下水道課長 （目標値10年）当初（H22）：　78.0%　　現状：　82.0%　　5年後：　85.0% （目標値3年）平成28年度：82.6%　　平成29年度：83.2%　　平成30年度：83.8%

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25　水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	2　下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道管理課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付	・同左	・同左
	経費（千円）	8,700	18,500	18,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水洗化率（%）	目標		87.5	88.4	89.3	90.2	91.1	92
	実績	76.1	87.9					
（指標及びH32目標値の設定理由） 過去5年間の水洗化率の伸び率を勘案して設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		96%					

H27取組状況	水洗化率の低い地区における水洗化促進戸別訪問　400軒 水洗化促進補助金の交付　8,700千円（63軒）
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 高齢者世帯や生活困窮者等が未接続世帯として残っていることから、引き続き、水洗化促進の戸別訪問を頻回に行い、水洗化促進補助金を活用した接続を依頼します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	96%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付
	経費（千円）	18,500	18,500	18,500

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）水洗化率 （定義）全世帯における水洗化（公共下水・コミプラ・農集・合併浄化槽の割合） （根拠）水洗化人口÷整備人口で算出、年間約3%程度を目標とした。5年後は90% 　　他都市の状況も90%以上は伸びが見込めないため10年後は92%の目標値とする。 （担当者）上下水道管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　78.0%　　現状：　82.0%　　5年後：　92.0% （目標値3年）平成28年度：88.4%　　平成29年度：89.3%　　平成30年度：90.2%

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25　水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	3　効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・コミプラ（加西北部地区）、農集（芥田地区）統合事業　工事施行	・コミプラ（加西北部地区）、農集（芥田地区）統合事業　工事施行	
	経費（千円）	0	80,000	

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
統合施設数（ｘ／3）	目標		0	1	1	1	2	3
	実績	－	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 生活排水処理計画による	目標数値の達成度 単年度		0%					
	目標数値の達成度 最終年度		0%					

H27取組状況	生活排水処理変更計画の協議、都市計画変更決定、下水道事業変更計画決定を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 生活排水処理変更計画、都市計画変更決定、下水道事業変更計画決定を行ったので、目標数値を設定しました。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・コミプラ（加西北部地区）、農集（芥田地区）統合事業　工事施行		公共下水道接続実施設計業務
	経費（千円）	80,000		20,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）統合施設数 （定義）　統合施設の数 （根拠）　生活排水処理計画による （担当者）上下水道課長 （目標値10年）当初（H22）：　0施設　現状：　0施設　5年後：　3施設 （目標値3年）平成28年度：　1施設　平成29年度：　1施設　平成30年度：　1施設			

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25　水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	4　企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道管理課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉	・市川町からの受水単価引き下げ交渉	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
給水原価（円/㎥） 【減少指標】	目標		208.9	208.4	207.9	207.4	206.9	206.5
	実績	―	208.9					
（指標及びH32目標値の設定理由） 有収水量あたりの給水にかかる費用の割合、H28年から大規模事業が始まるためH32目標値はH27の約1%減とする。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		99%					

H27取組状況	・兵庫県企業庁に対して、兵庫県広域水道連絡協議会の構成団体と連携するなどして県水の値下げ要望を行った結果、平成28年4月から供給単価5円値下げが実現しました。加西市の効果額約17,000千円
課題と今後の取組	・平成28年度から県水の供給単価が5円引き下げられることを受けて、市川町に対しても供給単価を引下げを要望していきます。 ・平成28年度から新配水池建設がスタートするため、減価償却費、企業債利息等の費用増が見込まれます。一方で、人口減少や節水機器の普及により水需要は下がってくることが予想されます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	99%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・市川町からの受水単価引き下げ交渉	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉	・同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）給水原価 （定義）有収水量あたりの給水にかかる費用の割合 （根拠）経常経費（円）÷有収水量（㎥）で算出 （担当者）上下水道管理課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　　現状：208.9円/㎥　　5年後：206.5円/㎥ （目標値3年）平成28年度：208.4円/㎥　平成29年度：207.9円/㎥　平成30年度：207.4円/㎥

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	25　水環境のまちづくり
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。
関連課名	上下水道課、上下水道管理課、土木課

基本計画	5　公道の透水性舗装を推進します。			
主管部課	部名	都市整備部	課名	土木課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・玉丘常吉線 ・都市計画2号線	・西谷坂元線、鵠野飛行場線、都市計画2号線、玉丘常吉線	・西谷坂元線、鵠野飛行場線、豊倉日吉線
	経費（千円）	2,290	12,300	11,600

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
透水性舗装の実施（m）	目標		229	1,000	1,700	2,500	3,200	4,000
	実績	―	229					
（指標及びH32目標値の設定理由） 事業実施計画に基づき、透水性舗装の計画整備延長を目標値に設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		6%					

H27取組状況	歩道整備に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。
課題と今後の取組	計画的に透水性舗装整備に取り組んでいきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	6%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・西谷坂元線、鵠野飛行場線、都市計画2号線、玉丘常吉線	・西谷坂元線、鵠野飛行場線、豊倉日吉線	・鵠野飛行場線、豊倉日吉線
	経費（千円）	12,300	11,600	14,500

変更する内容	事業実施計画に基づき、主要幹線道路歩道整備に伴う、透水性舗装を実施する。
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）透水性舗装の実施（m） （定義）同左 （根拠）事業実施計画に基づく （担当者）土木課長 （目標値10年）当初（H22）：　―m　現状：229m　5年後：4,000m （目標値3年）平成28年度：　1,000m　平成29年度：1,700m　平成30年度：2,500m

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26　ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

基本計画	1　レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマー を推奨する事業者の割合を増やします。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・協力事業者依頼（マイバッグ（エコバッグ）の作成費用）	・同左	・同左
	経費（千円）	379	432	432

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
レジ袋削減協力事業者数（量販店のみ）	目標		9	9	9	9	9	10
	実績	9	9					
（指標及びH32目標値の設定理由） 新規量販店協力依頼は経営に影響を及ぼすため10を設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		90%					

H27取組状況	ねっぴ-をデザインしたマイバッグ（エコバック）を作成・配布し、消費者側からのレジ袋削減への取組みを実施しました。 平成27年度はマイバッグ（エコバッグ）390枚を補充作成しました。また、配付実績は339枚でした。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 新規出店の量販店への協力依頼の実施とマイバッグ（エコバック）を利用してもらう習慣の啓発を併せて行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	90%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ（エコバック）作成 ・チラシ等による啓発	・同左	同左
	経費（千円）	432	450	450
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）レジ袋削減協力事業者数（量販店にかかる） （定義）加西市レジ袋削減に向けた取り組みに関する協力事業者（量販店）の数 （根拠）同上 （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：　9社　　現状：　9社　　5年後：　10社 （目標値3年）平成28年度：　9社　　平成29年度：　9社　　平成30年度：　9社			

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26　ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

基本計画	2　ごみの分別（現23分類）、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業開始 ・小型家電収集委託業務継続	・同左 ・リサイクルプラザ運営業務	・同左
	経費（千円）	6,362	8,710	8,710

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①住民1人1日あたりのゴミ　排出量（g） 【減少指標】	目標		783	780	776	773	769	766
	実績	794	793					
（指標及びH32目標値の設定理由） 当初値より、ごみ排出量500tの減量を設定	目標数値の達成度	単年度	101%					
		最終年度	104%					
②ゴミのリサイクル率（%）	目標		21	21	21	21	21	22
	実績	20	20					
（指標及びH32目標値の設定理由） ごみ搬出量を減量し、搬入リサイクル量を増加	目標数値の達成度	単年度	95%					
		最終年度	91%					

H27取組状況	・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業開始 ・小型家電収集委託業務継続
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 3Rの啓発（リデュース「廃棄物の発生抑制」・リユース「再使用」・リサイクル「再資源化」に努めます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	101%	104%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	95%	91%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・リサイクルプラザ運営業務	・同左	・同左 ・新規リサイクル事業の拡充
	経費（千円）	8,710	8,710	12,000
変更する内容				

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26　ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）住民１人１日あたりのゴミ　排出量 （定義）クリーンセンターの年間ゴミ処理量から算出する加西市民１人１日あたりのゴミ排出量 （根拠）平成21年度住民１人１日ゴミ排出量＝ （H21年度のごみ総収集量＋直接搬入量＋資源集団回収量）÷加西市総人口÷365日＝794g 平成26年度末までに普及啓発に努め、ゴミ排出量を減量(予定数量200ﾄﾝ) （12,108ﾄﾝ＋2,034ﾄﾝ－200ﾄﾝ）÷（48,774人）÷365日≒783g 平成31年度末までに更なるリサイクルにより減量(予定数量300ﾄﾝ) （12,108ﾄﾝ＋2,034ﾄﾝ－500ﾄﾝ）÷（48,774人）÷365日　≒766g （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：　794g　　現状：　783g　　５年後：　766g （目標値３年）平成28年度：　780g　　平成29年度：　776g　　平成30年度：　773g （指標名）ゴミのリサイクル率 （定義）市全体のゴミ処理量の内、リサイクルされた物の割合（重量換算） （根拠）平成21年ゴミのリサイクル率 ＝(総資源化量＋資源集団回収量)÷(総ゴミ処理量＋資源集団回収量)×100≒20% 平成27年度までに普及啓発に努め、ゴミ排出量を減量(予定数量200ﾄﾝ) H27ゴミのリサイクル率 ＝（847ﾄﾝ＋2,034ﾄﾝ）÷（12,108ﾄﾝ＋2,034ﾄﾝ－200ﾄﾝ）≒21% 平成32年度までに搬入外リサイクルを開始しゴミ処理量の減量を図る。 （搬入外数量100ﾄﾝ ゴミ処理数量200ﾄﾝ） H32ゴミのリサイクル率 ＝（847ﾄﾝ＋2,034ﾄﾝ＋100ﾄﾝ）÷（12,108ﾄﾝ＋2,034ﾄﾝ－400ﾄﾝ）≒22% （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：　20%　　現状：　21%　　５年後：　22% （目標値３年）平成28年度：　21%　　平成29年度：　21%　　平成30年度：　21%

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26　ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

基本計画	3	剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。		
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続	・同左	・同左
	経費（千円）	524	691	691

指標名	区分	当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
廃食用油の回収量（千ℓ）	目標		13.0	13.3	13.6	13.9	14.2	14.5
	実績	ー	12.6					
（指標及びH32目標値の設定理由） 一般家庭で手軽に実行できて、水環境の改善につながるので指標として設定し、1割増を目指す。	目標数値の達成度 単年度		97%					
	目標数値の達成度 最終年度		87%					

H27取組状況	家庭用の廃食用油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施しました。H27年度の回収実績は12,595L、廃食用油売捌収入は24,515円でした。「与作プロジェクト」の一環としては、市内間伐ボランティアや市内福祉法人（ゆたか会希望の郷）と協力し、30tの間伐材が薪に加工されました。「かぐや姫プロジェクト」では、放置竹林の整備の実施に伴い、樹木粉砕機の貸出しを行いました（22団体）。
課題と今後の取組	H25年度をもって市外回収、BDF生産を終了した結果、回収量が減少しました。しかし、一方で市内の一般家庭からの廃食用油の回収は市民に浸透しており、リサイクル意識の啓発にも繋がっているため、継続して実施していきます。H26年度回収量12,073L、H27年度回収量12,595Lと微増状態となっています。中食が多くなっており、家庭での食用油の利用が一層減少していくことが想定される中で、いかに、回収量を増やしていくか、広報、回収方法などの再検討が必要であると思われます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	97%	87%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続	・同左	・同左
	経費（千円）	691	691	691
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）廃食用油の回収量 （定義）廃食用油回収システムに基づく回収量 （根拠）廃食用油地区回収実績 （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　千ℓ　現状：13千ℓ　5年後：14.5千ℓ （目標値3年）平成28年度：13.3千ℓ　平成29年度：13.6千ℓ　平成30年度：13.9千ℓ			

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	26　ゴミ減量と資源リサイクルの推進
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。
関連課名	環境課

基本計画	4　美バースへの補助金を継続します。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続	・同左	・同左
	経費（千円）	1,531	2,500	2,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
資源物集団回収登録団体による年間回収量（t）	目標		1,506	1,510	1,515	1,520	1,525	1,530
	実績	―	1,506					
（指標及びH32目標値の設定理由） 資源物集団回収物の減少傾向に歯止めをかけ、資源物回収の増量（毎年5t増）を目指す。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	98%					

H27取組状況	要綱改正後の「資源物1kgあたり1円」及び「売り払い額が5円未満の場合、5円との差額」を回収量に応じて交付しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 市内全域にわたる無人回収BOX設置により美バース回収量は年々減少傾向にあるが、啓発に努め今後も引続き改正した単価で奨励金を交付し、地域におけるごみ減量とリサイクルの推進を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	98%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続	・同左	・同左
	経費（千円）	2,500	2,500	2,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）資源物集団回収団体登録の年間回収量 （定義）資源物集団回収団体登録の年間回収量 （根拠）資源物集団回収団体登録者の奨励金交付決定集計値 （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：－t　現状：1,506t　5年後：1,530t （目標値3年）平成28年度：1,510t　平成29年度：1,510t　平成30年度：1,515t　人			

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27　環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	1　親子で参加できる環境学習を推進します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・夏休みこども環境講座実施 ・環境講座の実施	・同左	・同左
	経費（千円）	20	50	50

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館におけるこども環境学習の受講者数	目標		100	130	160	190	220	250
	実績	51	25					
（指標及びH32目標値の設定理由） 生涯学習の中核機関である公民館のこども対象の環境学習講座延受講者数。当初の5倍と設定。	目標数値の達成度 単年度		25%					
	目標数値の達成度 最終年度		10%					

H27取組状況	公民館で自然環境について学び、小学生25人が参加しました。
課題と今後の取組	年々変化する市民の高度化・多様化する学習ニーズに対応した講座を多数開催しているため、公民館でのこども講座数の確保が困難になってきています。今後は公民館以外の施設や地域と連携した環境講座の開催を検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	25%	10%	D：目標を大きく下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・こども環境講座の実施	・同左	・同左
	経費（千円）	20	50	50

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）公民館におけるこども環境学習の受講者数 （定義）こども環境講座の受講者数 （根拠）こども環境講座の受講者数から算定 （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：　51人　　現状：　100人　　5年後：　250人 （目標値3年）平成28年度：130人　　平成29年度：160人　　平成30年度：190人

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27　環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	2　環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・環境講座の開催 ・リーダー養成講座の開催	・同左	・同左
	経費（千円）	107	110	110

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数	目標		200	210	220	230	240	250
	実績	123	115					
（指標及びH32目標値の設定理由） 公民館の環境学習の延受講者数。当初の倍増と設定。	目標数値の達成度 単年度		58%					
	目標数値の達成度 最終年度		46%					

H27取組状況	高齢者学級で環境学習を開催し、55人が身近な環境問題を学習しました。H27から環境課や地域と連携し、貴重な自然環境を守る環境保全ボランティア養成講座「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催しました。60人が10回にわたり、環境講座や視察、保全活動実習を学習しました。
課題と今後の取組	今後も継続して、毎年異なるテーマで環境講座を開催します。 「あびき湿原レンジャー養成講座」については講座受講生が実際の地域活動に参加するのを促進し、関係団体と連携協力し、数年内に自主活動への移行を目指します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	B：予定より遅延	58%	46%	D：目標を大きく下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・環境講座の開催 ・リーダー養成講座の開催	・同左	・同左
	経費（千円）	110	110	110

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数 （定義）環境講座の受講者数 （根拠）環境講座の受講者数から算定 （担当者）生涯学習課長 （目標値10年）当初（H22）：　123人　　現状：　200人　　5年後：　250人 （目標値3年）平成28年度：210人　　平成29年度：220人　　平成30年度：230人

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27　環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	3　様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・環境体験学習（小学3年生） ・環境学習（小・中学校）	・同左	・同左
	経費（千円）	2,014	1,942	1,942

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
環境学習実施学校数	目標		15	15	15	15	15	15
	実績	―	15					
（指標及びH32目標値の設定理由） 環境学習を実施している学校数を示しており、全小・中学校の学校数で設定。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	100%					

H27取組状況	市内小中学校全15校で環境体験学習を実施しました。校区の特性を生かした、里山保全活動、希少生物調査活動、稲作等の農作業体験などを通して、身近にある自然やそれを取り巻く環境について充実した学習活動が展開できました。特に、地域住民の協力や専門家による指導、高校との連携等、幅広い人材の活用によって、成果を上げることができました。
課題と今後の取組	兵庫県教育委員会の推進する「兵庫型体験学習」の一環として、小学3年生での環境体験学習を実施し、成果を上げています。今後は、小・中学校9年間を見通した各発達段階における環境学習の実施や各校区の特色を踏まえたカリキュラム整備や人材バンク等の情報の蓄積が必要です。その一環として、平成28年度は、整備された「あびき湿原」での実地体験学習を展開し、新たな学習教材の開発に努めていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・環境体験学習（小学3年生） ・環境学習（小・中学校）	・同左	・同左
	経費（千円）	1,942	1,942	1,942
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）環境学習実施学校数 （定義）各校のおける環境学習の推進 （根拠）各校の教育課程に位置づけられた環境学習の実施実態 （担当者）学校教育課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　校　　現状：　15校　　5年後：　15校 （目標値3年）平成28年度：　15校　　平成29年度：　15校　　平成30年度：　15校			

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27　環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	4　環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。			
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・加西商工会議所と連携したｴｺｱｸｼｮﾝ21（EA21）ｾﾐﾅｰの実施 ・ｴｺｱｸｼｮﾝ21自治体ｲﾆｼｬﾃｨﾌﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの実施	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ISO14001、エコアクション21取得企業団体数	目標		53	53	53	53	53	53
	実績	32	52					
（指標及びH32目標値の設定理由） ・普及啓発の効果として環境経営に努める事業者の数としました。目標値は取得できる事業者が限られていることから、現状維持の数値としました。	目標数値の達成度 単年度		98%					
	目標数値の達成度 最終年度		98%					

H27取組状況	平成27年度は、5月に商工会議所と連携して「エコアクション21普及セミナー」を実施し、先進事例の紹介を行いました。また、10月には、環境省が中小企業向けに策定した環境経営システム「エコアクション21」の10周年記念大会に加西市が招待され、ｴｺｱｸｼｮﾝ21自治体ｲﾆｼｬﾃｨﾌﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑに長年取り組んだことに対して感謝状を頂きました。
課題と今後の取組	環境経営システムは、認証取得に数十万円から百数十万円の費用がかかることから、取り組める事業者が限られています。 また、一度認証を受けても、次回更新しない事業者が増えています。 このため、実績として認証事業者の総数が横ばい傾向となっており、少ない費用負担で環境に配慮した経営を継続してもらえる仕組みの検討が必要となっています。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	98%	98%	B：目標を達成	③見直し

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	エコアクション21地域事務局ひょうごEMSセンターと連携して実施してきたエコアクション21自治体イニシャティブプログラムについて、平成28年度から広域実施の方針となったことから、加西市では実施しないこととなったため、取組み内容を変更し、事業者が環境経営システムの認証を受けるための問い合わせ等への助言を行っています。代替となる新たな普及啓発の方法を検討する必要があります。
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）ISO14001、エコアクション21取得企業団体数 （定義）ISO14001・エコアクション21を認証・取得した企業の数 （根拠）ISO14001は(財)日本適合性認定協会、エコアクション21は一般財団法人持続性推進機構のホームページ （担当者）環境課長 （目標値10年）当初（H22）：　32件　　現状：　53件　　5年後：　53件 （目標値3年）平成28年度：　53件　　平成29年度：　53件　　平成30年度：　53件

平成27年度

基本政策	8　循環型社会をめざす生活環境づくり
施策	27　環境学習の推進
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。
関連課名	生涯学習課、学校教育課、環境課、総合教育センター

基本計画	5　教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。			
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課、総合教育センター

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・教職員講座における環境教育講座の充実	・同左	・同左
	経費（千円）	3	15	15

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
教員を対象とした環境学習に関する研修	目標		2	2	3	4	4	5
	実績	―	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 教員を対象とした環境学習に関する研修講座の回数を示し、当初値の倍増を設定	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		40%					

H27取組状況	次の取組を実施しました。 ・講話「プラスティックごみの分類とリサイクルに関する環境問題」（兵庫教育大学　福田学長）の実施 ・企業見学「家電リサイクルの実際」（パナソニック エコテクノロジー センター）の実施
課題と今後の取組	各学校の環境教育担当者以外にも広く受講を促すとともに、地域と連携した研修内容を検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	40%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	教職員研修講座における環境教育講座の充実	教職員研修講座における環境教育講座の充実	教職員研修講座における環境教育講座の充実
	経費（千円）	15	15	15
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）教員を対象とした環境学習に関する研修 （定義）教員を対象にした研修の開催 （根拠）教員を対象にした研修会の開催数 （担当者）総合教育センター所長 （目標値10年）当初（H22）：　―　回　　現状：2回　　5年後：5回 （目標値3年）平成28年度：　　2回　　平成29年度：　3回　　平成30年度：4回			

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28　情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	1　自立的な地域づくりのために、地域おこし協力隊等の採用を進めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・地域おこし協力隊制度等への拡大化	・同左	・同左
	経費（千円）	5,566	10,043	14,063

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①地域づくりコーディネーター数	目標		2	2	4	4	4	4
	実績	ー	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 地域おこし協力隊の活動の内、コーディネーターとして配置する人員数。	目標数値の達成度	単年度	0%					
		最終年度	0%					
②★地域おこし協力隊員数【6-91】	目標		2	4	6	6	6	6
	実績	ー	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 最大6名体制を2年取り組んだ後、事業の収束をはかる。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	33%					

H27取組状況	総務省からの財政支援の無い中、地域おこし協力隊を2名採用しました。地域に居を構え、地域住民とともに地域課題に取組み、市内外の若い世代へ刺激を与えています。交流人口を増やし、加西の良さをPRしました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 全国的に地域おこし協力隊の募集に困難を極めており、隊員の活動実績・魅力ある地域であることをPRしないと、計画とおりに隊員が集まりません。ただ、目標を達成するために採用するのではなく、募集して適任者がいない場合、採用しないこととし、より良い人材を確保していきます。また、1年毎の更新、最長3年という枠組みで実施し、評価によっては更新しないケースも想定しています。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	①未着手	B：予定より遅延	0%	0%	C：目標を下回っている	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	100%	33%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	地域おこし協力隊を採用し、地域活性化に取り組ませる。	地域おこし協力隊を採用し、地域活性化に取り組ませる。	地域おこし協力隊を採用し、地域活性化に取り組ませる。
	経費（千円）	5,566	10,043	14,063
変更する内容				

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28　情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）地域づくりコーディネーター数 （定義）地域コーディネーター数 （根拠）専門化・細分化した地域づくりに対応するために加西市の人材を生かした自前のコーディネーターの発掘と連携が重要 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　人　　現状：2人　　５年後：4人 （目標値３年）平成28年度：　０人　　平成29年度：　４人　　平成30年度：　４人 （指標名）★地域おこし協力隊員数 （定義）地域おこし協力隊数 （根拠）ふるさと創造会議と連携を進め、地域資源を活用した地域活性化事業を進める。 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　人　　現状：2人　　５年後：6人 （目標値３年）平成28年度：　４人　　平成29年度：　６人　　平成30年度：　６人

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28　情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	2　社会活動の促進を図るため、各種法人や個人起業家の育成を進めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・若者ターミナルスポット運営事業 ・起業支援	・同左	・同左
	経費（千円）	3,750	3,750	3,750

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①NPO法人数	目標		21	20	25	25	25	35
	実績	11	19					
（指標及びH32目標値の設定理由） NPO法人立ち上げ支援等により着実に増えており、今後は、ふるさと創造会議の受け皿としても期待できるため当初の3倍を想定。	目標数値の達成度	単年度	90%					
		最終年度	54%					
②★加西サポーター登録者数【6-90】	目標		24	100	150	200	300	300
	実績	ー	24					
（指標及びH32目標値の設定理由） 総務省とともに行ったマチホメコミュニティによる都市部のファンづくりが好評で毎年50名のコミュニティが期待できるため。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	8%					

H27取組状況	UJIターン者による起業や地方創生モデルとなる2地域居住など若者の起業支援・商業誘致・人材育成のプラットフォームとして機能する場となりました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 NPO法人に加え、2008年の中間法人の制度改革が進み、一般社団・一般財団法人の台頭が目立つようになってきたため、指標を中間法人数に変更する事を検討します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
①	②実行中	A：予定通り進行	90%	54%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	S：予定より早く進行	100%	8%		

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・若者ターミナルスポット運営事業 ・起業支援	同左	・マチホメ事業 ・起業支援
	経費（千円）	3,750	3,750	3,000
変更する内容	平成30年より、メイン事業として「マチホメ」・「起業支援（ビジコン）」等に取り組み内容をシフトさせる。			

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28　情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）NPO法人数 （定義）内閣府データ・内閣府NPO 法人検索システム登録数 （根拠）北播磨最大の三木市が15～20 で推移すると仮定し、同様のセクター機能を担保する （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　11法人　　現状：　19法人　　5年後：　35法人 （目標値3年）平成28年度：　　19法人　　平成29年度：　　23法人　　平成30年度：　　35法人 （指標名）★加西サポーター登録者数 （定義）マチホメコミュニティ参加者数 （根拠）総務省との合同事業　マチホメに基づく （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　人　　現状：　24人　　5年後：　300人 （目標値3年）平成28年度：　　24人　　平成29年度：100人　　平成30年度：300人

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28　情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	3　ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・ボランティアサポート	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ボランティア活動希望登録者数	目標		0	20	100	200	200	200
	実績	0	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） ボランティア活動の充実を図るため登録者数の増加を目指す。	目標数値の達成度	単年度	－					
		最終年度	－					

H27取組状況	地域交流センターにて市民や地域の問い合わせに関して登録団体等のマッチングをしております。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 委託先の加西市社協の協力を得て、マッチング支援を行う必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・ボランティアサポート	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）ボランティア活動希望登録者数 （定義）ボランティア数、マッチング件数 （根拠）指標増＝目的のため （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　50人　　現状：　100人　　5年後：　200人 （目標値3年）平成28年度：　20人　　平成29年度：100人　　平成30年度：200人

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28　情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	4　ふるさと創造会議の立ち上げとともに小規模多機能自治への発展を進めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・各小学校区で円卓会議を実施。すでに立ち上がった地域については、運営等の助言を行う。	・同左	・同左
	経費（千円）	13,200	13,200	13,200

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ふるさと創造会議設置数【4-73】	目標		7	9	11	11	11	11
	実績	0	8					
（指標及びH32目標値の設定理由） 小学校区の数。ただし、北条は2校区を一本化。	目標数値の達成度 単年度		114%					
	目標数値の達成度 最終年度		73%					

H27取組状況	各ふるさと創造会議で、交付金を活用した取組みを実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 地域差があり、取組む内容が交流事業がメインの創造会議も存在します。事務局体制を構築してきている創造会議では、役割の分担が進み、活動の幅が出てきています。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	114%	73%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	立ち上がっている創造会議には、引き続き地域担当職員と共に支援し、立ち上がっていない地域については、担当課が積極的に関わる。	同左	同左
	経費（千円）	13,200	13,200	13,200
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）ふるさと創造会議設置数 （定義）地域ふるさと創造会議 （根拠）各小学校区に設置 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　0箇所　　現状：　7箇所　　5年後：　11箇所 （目標値3年）平成28年度：　　9箇所　　平成29年度：　　11箇所　　平成30年度：　　11箇所			

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28　情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	5	住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	秘書課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載。 ・ふれあい提案箱等に寄せられる意見・提案と回答のホームページへの掲載	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
HP掲載件数	目標		2	2	2	2	2	2
	実績	―	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） タウンミーティングが2回程度／年開催されるため	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		100%					

H27取組状況	平成27年4月14日～23日にかけて市内11小学校区において「加西ふるさと春ミーティング2015」を実施。市HPに質問及び要望とそれに対する回答を掲載しました。
課題と今後の取組	ふれあい提案箱等に寄せられる意見・提案と回答のホームページへの掲載については、これまでの傾向から、内容的に私的なものであったり、ある特定の区の要望であることが多い状況です。ふれあい提案箱設置趣旨の周知をさらに図り情報共有を進めます。（ホームページへの掲載は、タウンミーティングと合せて実施）

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	100%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）HP掲載件数 （定義）タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載件数 （根拠）同上 （担当者）秘書課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　件　　現状：　2件　　5年後：　2件 （目標値3年）平成28年度：2件　　平成29年度：2件　　平成30年度：2件

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	28　情報公開と住民自治のまちづくり
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。
関連課名	ふるさと創造課、秘書課

基本計画	6　★集落支援員の配置を進めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	―	ふるさと創造会議運営交付金の内容について検討を進める。	ふるさと創造会議運営交付金の中に、集落支援員（創造会議内での事務局職員等）の経費を計上する。
	経費（千円）		0	31,500

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★集落支援員数【4-72】	目標		0	9	11	11	11	11
	実績	―	0					
（指標及びH32目標値の設定理由） 各小学校区に1名を配置する計画	目標数値の達成度 単年度		－					
	目標数値の達成度 最終年度		－					

H27取組状況	
課題と今後の取組	―

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	①未着手	H28新規	－	－	―	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	ふるさと創造会議運営交付金の内容について検討を進める。	ふるさと創造会議運営交付金の中に、集落支援員（創造会議内での事務局職員等）の経費を計上する。	ふるさと創造会議運営交付金の中に、集落支援員（創造会議内での事務局職員等）の経費を計上する。
	経費（千円）		31,500	31,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★集落支援員数 （定義）今後、要綱等作成 （根拠）今後、要綱等作成 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　現状：0人　5年後：11人 （目標値3年）平成28年度：　0人　平成29年度：11人　平成30年度：11人			

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29　自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	1　男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・若者ターミナルスポット ・ワークショップ ・SNBセミナー開催	・同左	・同左
	経費（千円）	3,000	3,000	3,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
男女の労働力率の格差是正 女性の労働力率（%）	目標		50	50	50	50	50	60
	実績	ー	24					
（指標及びH32目標値の設定理由） 加西市は第二次産業が多く、女性が働く場はある。子育てが終わった女性の就業を想定した。	目標数値の達成度 単年度		48%					
	目標数値の達成度 最終年度		40%					

H27取組状況	若者の「はたらく」をサポートするための若者集約型ターミナルスポットの運営に関して、【UJIターン者による企業】や【地方創生モデルとなる二地域居住】、【地域若者対象のビジネススクール】の運営など若者の起業支援・商業誘致・人材育成のプラットフォームとして機能するための場所のリノベーションを行い、打合せ場所として使用しました。また、女性事業者の育成を進めビジネススクールや女性起業用助成金を活用して、女性創業者の育成を図りました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 加西市における男女の労働力率は平成22年度国調で（男性58%：女性24%）で、人口減少に最も懸念される地域の活力低下に対して産業創出と労働力不足の解消という観点から、女性の労働力率を上げる事は有用です。 そこで、WLBを進める女性が働きやすい産業を創業や起業支援の観点から進め、女性労働力活用の誘い水とします。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	48%	40%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	女性・若者起業調査助成金制度	同左	同左
	経費（千円）	750	750	750
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）男女の労働力率の格差是正　女性の労働力率 （定義）女性の社会進出、ワークライフバランスの達成 （根拠）女性の社会進出については就労数の増によりその達成度が図れるため。 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　%　　現状：　24%　　5年後：　60% （目標値3年）平成28年度：　50%　　平成29年度：　50%　　平成30年度：　50%			

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29　自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	2　女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・若者・女性・高齢者向けのソーシャルビジネス研修会	・女性チャレンジ支援事業 小学校単位のコミュニティエリアでの女性グループ活動補助金	・同左
	経費（千円）	100	400	400

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市の女性管理職登用率（%）	目標		10	10	10	10	10	15
	実績	7	3.4					
（指標及びH32目標値の設定理由） 政府目標数値30%に対して、加西市は第二次産業が多く、自治会でも男性中心で慣例があるため、政府目標の半分の数値を目標とした。	目標数値の達成度 単年度		34%					
	目標数値の達成度 最終年度		23%					

H27取組状況	市内の小学校区3地区で女性活動グループの活動に関して活動費の一部を助成しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 女性を個別のターゲットにするのではなく、「若者」に変更する事でより効果的な運用が可能になると考えます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	34%	23%	C：目標を下回っている	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	女性チャレンジ事業	同左	同左
	経費（千円）	400	400	400

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市の女性管理職登用率 （定義）市管理職における女性管理職の割合 （根拠）女性職員の経験年数等を考慮し、将来の女性管理職登用数の展望を数値化 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　7.0%　　現状：　10.0%　　5年後：　15.0% （目標値3年）平成28年度：　10.0%　　平成29年度：10.0%　　平成30年度：10.0%

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29　自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	3　在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進するとともに、教育分野との連携を進めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・外国人の子どもを持つ親のコミュニティ形成事業 ・外国人の子ども達のコミュニティ形成事業	・同左	・同左
	経費（千円）	60	100	100

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内における日本語講座の実施教室数	目標		2	3	4	4	5	5
	実績	―	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 今後市内に外国人の増加が見込まれるため、受け入れ教室を増やす必要がある。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		40%					

H27取組状況	外国人親子のための学習サポート教室と支援者人材育成のため研修会を実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・教育機関との連携を強め、外国人親子への学習サポートや支援者の増員と研修を充実させます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	40%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成
	経費（千円）	150	200	200

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市内における日本語講座の　実施教室数 （定義）市内における日本語教室 （根拠）市内のNPOやグループとネットワークを図り、幅広い日本語クラスの運営を促進する。 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　教室　　現状：　2教室　　5年後：　5教室 （目標値3年）平成28年度：　3　教室　　平成29年度：　4　教室　　平成30年度：　4　教室

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29　自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	4　国際交流協会のNPO化により活動範囲を広め、市民レベルの交流を進めます。			
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・プルマン市からの訪問団としてジョンソン市長の風土記1300年祭への受け入れ。 ・姉妹都市提携の可能性のあるスワン市のスワン高校への北条高校生の派遣。	・プルマン市への中学生等の派遣。 ・スワン市からの高校生等の受け入れ。	・プルマン市からの訪問団の受け入れ。 ・スワン市への高校生等の派遣。
	経費（千円）	458		

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内における各種外国文化関係団体の会員数	目標		30	33	35	40	45	50
	実績	―	13					
（指標及びH32目標値の設定理由） NPO法人に委託すると同時に会員が激減し、再度PRをし、会員増を目指す。	目標数値の達成度 単年度		43%					
	目標数値の達成度 最終年度		26%					

H27取組状況	H27年度より、「かさい英語村」を開催し、市内ALTと市内小学校の交流を図りました。 若手農業リーダーのブラジル研修に向けてポルトガル講座を開催しました。 運動会や忘年会をはじめ、さまざまなイベントを開催しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 ・国際交流に加え、国際理解を推進するとともに、情報発信を積極的に行います。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	43%	26%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・国際理解と情報発信 ・プルマン市への中学生等の派遣 ・スワン市からの高校生等の受入	・国際理解と情報発信 ・プルマン市への中学生等の受入 ・スワン市からの高校生等の派遣	・国際理解と情報発信 ・プルマン市への中学生等の派遣 ・スワン市からの高校生等の受入
	経費（千円）	5,597	5,800	6,000

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市内における各種外国文化関係団体の会員数 （定義）国際交流に関心のある市民会員 （根拠）市民交流の普及、拡大 （担当者）ふるさと創造課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　人　　現状：　30人　　5年後：　50人 （目標値3年）平成28年度：　33人　　平成29年度：　35人　　平成30年度：　40人

平成27年度

基本政策	9　住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
施策	29　自己実現と共生のまちづくり
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。
関連課名	ふるさと創造課、総務課、ふるさと創造課、人権推進課

基本計画	5	家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人権推進課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会 ・まちかどフォーラム ・「愛の詩」公募 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会・フィールドワーク等	・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・公民館コラボ講座 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会	・同左
	経費（千円）	9,071	9,472	9,500

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
人権学習会参加者数	目標		2400	2600	2700	2800	2900	3000
	実績	2700	2592					
（指標及びH32目標値の設定理由） 住民一人ひとりがお互いの人権を尊重するまちづくりのため、様々な人権課題を学習する機会を広げていきます。	目標数値の達成度 単年度		108%					
	目標数値の達成度 最終年度		86%					

H27取組状況	・人権文化をすすめる市民のつどい（ポスター、標語、「愛の詩」表彰式、講演会）を開催し700人が参加しました。 ・地区人権学習会を4地区で開催し381人が参加しました。 ・まちかどフォーラム（町別人権学習会）を65町で開催し、1,115人が参加しました。 ・公民館コラボ講座を4回開催し、延べ94人が参加しました。 ・その他、企業や団体などの学習会等、1,002人が参加しました。
課題と今後の取組	従来の人権学習会では、参加者は自治会の役員に固定化されてしまう傾向が強いため、学習会内容の見直しや、企業、団体等へ学習会の開催を働きかけたり、公民館コラボ講座や人権映画の上映会など自由参加型の学習会の機会を増やし、参加者の幅を広げていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	108%	86%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・公民館コラボ講座 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会	同左	同左
	経費（千円）	9,472	9,500	9,500
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）人権学習会参加者数 （定義）人権学習会への参加のべ人数 （根拠）同上 （担当者）人権推進課長 （目標値10年）当初（H22）：　2,700人　　現状：　2,400人　　5年後：　3,000人 （目標値3年）平成28年度：2,600人　　平成29年度：2,700人　　平成30年度：2,800人			

平成27年度

基本政策	10　健全な行財政運営の確立
施策	30　行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	1　定員適正化計画に基づき、必要な部門に職員を重点配置します。			
主管部課	部名	総務部	課名	総務課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・後期5カ年の定員計画の策定 ・勧奨退職の実施	・後期5カ年の定員計画のフォローアップ ・勧奨退職の実施	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市役所の正規職員総数 （消防、医療職員除く） 【減少指標】	目標		332	332	330	330	328	326
	実績	350	332					
（指標及びH32目標値の設定理由） 組織の見直しや必要な部門に職員を重点配置しつつ、職員数の純減（△6名）に取り組む。	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		102%					

H27取組状況	退職勧奨を実施し、平成27年度末に4名が早期退職しました。
課題と今後の取組	少子化対策及び子育て施策の充実のため保育士/幼稚園教諭を増員したことから、緩やかな減少となっています。 また、地方分権一括法による地方への権限移譲や、新たな行政ニーズへの対応などから、行政職を中心に業務量は年々増大しており、ワークライフバランスに配慮した人員体制の確保が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	A：予定通り進行	100%	102%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用
	経費（千円）	0	0	0
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市役所の正規職員総数 （定義）市役所の正規職員数（消防、医療職除く） （根拠）5年後の人数見込 （担当者）総務課長 （目標値10年）当初（H22）：　350人　　現状：　332人　　5年後：　326人 （目標値3年）平成28年度：　332人　　平成29年度：　330人　　平成30年度：　330人			

平成27年度

基本政策	10　健全な行財政運営の確立
施策	30　行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	2　職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。			
主管部課	部名	総務部	課名	総務課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・職員研修成果発表会の開催	・同左	・同左
	経費（千円）	0	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
職員研修成果発表回数	目標		2	2	2	2	3	3
	実績	2	2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 人事評価による成果発表会の実施対象の拡大を図る。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	67%					

H27取組状況	人事評価の結果に基づく管理職員による成果発表会のほか、マイナンバーの制度対応や、情報発信力の向上を図るなどの研修を実施しました。 また、職員が研修で学んだことのフォローアップと職場活用の機会として、内部職員を講師とした研修（ITを活用した効率化研修や接遇マナー研修）を実施しました。
課題と今後の取組	管理職員を対象に実施している成果発表会を、監督職（課長補佐・係長級）に拡大します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	67%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	職員研修成果発表会の開催 内部研修の充実	職員研修成果発表会の開催 内部研修の充実	職員研修成果発表会の開催 内部研修の充実
	経費（千円）	0	0	0

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）職員研修成果発表回数 （定義）職員研修成果発表会の開催数 （根拠）幹部職員による目標管理成果発表と各部の取組発表の合計回数 （担当者）総務課長 （目標値10年）当初（H22）：　2回　　現状：　2回　　5年後：　3回 （目標値3年）平成28年度：　2回　　平成29年度：　2回　　平成30年度：　2回

平成27年度

基本政策	10　健全な行財政運営の確立
施策	30　行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	3 8	民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。 ★定住自立圏において圏域内の暮らしを整備するとともに、連携中枢都市に基づいて広域的な視点から地域の活力向上に努める等、事務処理の共同化を進めることにより関係団体と連携・協力して効率化を図ります。		
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・第5次総合計画の中間見直し	・事務事業の見直し	・同左
	経費（千円）	1,490	0	0

指標名	区分		目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値					
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★定住自立圏構想の連携事業年間件数【6-95】	目標		28	28	28	29	30	30
	実績	ー	28					
（指標及びH32目標値の設定理由） 広域的に連携協力し効率的な行政サービスを推進するため連携事業数の増加を設定	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	93%					

H27取組状況	平成23年度に策定した第5次加西市総合計画について、5年が経過することから計画見直しと後期基本計画の策定を行いました。今回の見直しにおいては、平成27年10月に策定した人口減少問題への対応策を具体化した加西市地域創生戦略を反映させ、平成32年度の将来像を本計画に纏め上げた内容として定めました。 広域連携に関しては、姫路市を中枢都市とした播磨圏域連携中枢都市圏、加西市・加東市を中心市とした3市1町の北播磨広域定住自立圏をそれぞれ形成し連携協約等に基づき事業を開始しました。
課題と 今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 総合計画及び総合戦略の実施計画である行財政改革プランを策定するにあたり、従来のパブコメに加え、新設する市民会議での意見を踏まえて策定することとします。 広域連携に関しては、近隣自治体と協力し事業実施を行うため、その進捗管理の手法を検討する必要があります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	93%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・加西市元気なまちづくり市民会議の設立及び会議の開催 ・評価検証手法の検討・実施 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催	・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催	・同左
	経費（千円）	0	0	0
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）★定住自立圏構想の連携事業年間件数 （定義）北播磨広域定住自立圏共生ビジョンに掲げる連携事業数 （根拠）北播磨広域定住自立圏共生ビジョン （担当者）人口増政策課長 （目標値10年）当初（H22）：　ー　事業　　現状：28事業　　5年後：30事業 （目標値3年）平成28年度：28事業　　平成29年度：28事業　　平成30年度：29事業			

平成27年度

基本政策	10　健全な行財政運営の確立
施策	30　行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	4　公共施設等総合管理計画を作成し、公共施設のあり方について検討を進めます。			
主管部課	部名	総務部	課名	管財課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・市庁舎外壁修繕工事 ・固定資産台帳整備及び公共施設等総合管理計画策定（2か年）	・固定資産台帳整備及び公共施設等総合管理計画策定（2か年）	維持管理実施
	経費（千円）	9,018	9,018	

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市の公有財産の把握と、管理運営方針の策定	目標		計画策定	計画策定	維持管理			
	実績	―	―					
（指標及びH32目標値の設定理由）	目標数値の達成度 単年度		－					
	目標数値の達成度 最終年度		－					

H27取組状況	計画策定に係るコンサルタント業者の選定と庁内の資料のとりまとめを実施しました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 計画策定後の既存施設維持管理に係る経費の確保が必要です。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
	②実行中	計画策定	－	－	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28（予算額（補正含む））	H29（予定額）	H30（予定額）
	取組内容	公共施設等総合管理計画にかかるパブリックコメント実施及び計画策定	維持管理実施	同左
	経費（千円）	9,018		
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）市の公有財産の把握と、管理運営方針の決定 （定義）固定資産台帳整備及び管理運営コストの試算 （根拠）同上 （担当者）管財課長 （目標値10年）当初（H22）：　―　　5年後：　維持管理 （目標値3年）平成28年度：　事業完了　　平成29年度以降：　維持管理			

平成27年度

基本政策	10　健全な行財政運営の確立
施策	30　行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	5　行財政改革プランの見直しを行い、持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。			
主管部課	部名	総務部	課名	財政課

実施スケジュール		H27（決算額）	H28（当初予算額）	H29（予定額）
	取組内容	・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営	・同左	・同左
	経費（千円）	—	—	—

指標名	区分		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①基金残高（財政調整＋減債）（億円）	目標			26	23	24	24	24	24
	実績		18	26.5					
（指標及びH32目標値の設定理由） 行財政改革プランに基づき、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持	目標数値の達成度	単年度		102%					
		最終年度		110%					
②全会計市債残高（億円） 【減少指標】	目標			435	436	443	439	433	423
	実績		457	427					
（指標及びH32目標値の設定理由） 公債費負担適正化計画に基づき、最終年度においてH26の市債残高を下回る数値設定	目標数値の達成度	単年度		98%					
		最終年度		101%					
③実質公債費比率（%） 【減少指標】	目標			10.5	9.5	8	8	8	8
	実績		20.3	10.3					
（指標及びH32目標値の設定理由） 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の実質公債費比率を下回る数値設定	目標数値の達成度	単年度		98%					
		最終年度		129%					
④★将来負担比率（%）【6-94】 【減少指標】	目標			70	70	70	70	67	65
	実績		ー	61.6					
（指標及びH32目標値の設定理由） 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の将来負担比率を下回る数値設定	目標数値の達成度	単年度		88%					
		最終年度		95%					

H27取組状況	策定から3年を経過した行財政改革プランについて、経済情勢変化・税制改正等により、当初計画との大きな乖離が生じてきたため、H27年末に現状を反映させた計画にリニューアルしました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 今後、人口減少・高齢化が進行するなか、社会保障、子育て支援、教育、社会資本整備など、多様化し増大する住民ニーズに対する的確な対応が求められています。歳出の重点化・効率化に取り組み、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持することで、持続可能な財政運営を目指します。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度 区分	単年（H27）	最終（H32）	事業の到達度	今後の方針
①	②実行中	A：予定通り進行	102%	110%	B：目標を達成	②継続
②	②実行中	A：予定通り進行	98%	101%		
③	②実行中	A：予定通り進行	98%	129%		
④	②実行中	S：予定より早く進行	88%	95%		

平成27年度

基本政策	10　健全な行財政運営の確立
施策	30　行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
実施計画	取組内容	長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営	同左	同左
	経費（千円）	―	―	―
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）基金残高（財政調整＋減債） （定義）財政調整基金と減債基金の各年度末合計残高 （根拠）財政収支見通し （担当者）財政課長 （目標値10年）当初（H22）：　18億円　　現状：　26億円　　５年後：　24億円 （目標値３年）平成28年度：　23億円　　平成29年度：　24億円　　平成30年度：　24億円 （指標名）全会計市債残高 （定義）企業会計を含む年度末市債残高 （根拠）公債費負担適正化計画 （担当者）財政課長 （目標値10年）当初（H22）：　457億円　　現状：　435億円　　５年後：　423億円 （目標値３年）平成28年度：　436億円　　平成29年度：　443億円　　平成30年度：　439億円 （指標名）実質公債費比率 （定義）実質公債費比率　各年度確定数値（前3ヵ年平均） （根拠）公債費負担適正化計画 （担当者）財政課長 （目標値10年）当初（H22）：　20.3%　　現状：　10.5%　　５年後：　8.0% （目標値３年）平成28年度：　9.5%　　平成29年度：　8.0%　　平成30年度：　8.0% （指標名）★将来負担比率 （定義）標準財政規模に対する一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の割合 （根拠）健全化判断比率 （担当者）財政課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　%　　現状：　70.0%　　５年後：　65.0% （目標値３年）平成28年度：　70%　　平成29年度：　70%　　平成30年度：　70%			

平成27年度

基本政策	10　健全な行財政運営の確立
施策	30　行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	6　自主財源確保のため、市税及び公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。			
主管部課	部名	総務部	課名	税務課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	・市税等収納向上対策 ・市県民税特別徴収の推進 ・口座振替推進 ・滞納処分の強化	・同左	・同左
	経費（千円）	3,017	8,350	8,000

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
収納率　上段：現年分 下段：過年分	目標		98.8 18.0	98.8 18.0	98.8 18.1	98.8 18.2	98.8 18.3	98.8 18.4
	実績	－	98.8 17.9					
（指標及びH32目標値の設定理由） 現年分は高い収納率を保ちつつ、過年分の率0.1%／年を伸ばす。	目標数値の達成度	単年度	100%					
		最終年度	97%					

H27取組状況	催告書の送付、一斉徴収、夜間電話催告、分納誓約者の履行状況の監視等の徴収体制強化、事業者訪問等による特別徴収の推進、口座振替推進事業、悪質な滞納者に対する積極的な差押等滞納処分を行いました。
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 徴収率のさらなる向上・特別徴収や口座振替推進による現年滞納者の減少を目指し、徴収体制の維持及び強化をしていきます。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	97%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	・市税等収納向上対策 ・市県民税特別徴収の推進 ・口座振替推進 ・滞納処分の強化	同左	同左
	経費（千円）	8,350	8,000	8,000
変更する内容				
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）収納率 （定義）市税等の収納率 （根拠）各年度収納見込み （担当者）税務課長 （目標値10年）当初（H22）：　－　　現状：98.8%(現年分)、18.0%(過年分)　　5年後：98.8%(現年分)、18.4% （目標値3年）平成28年度：98.8%(現年分)、18.0%(過年分)　平成29年度：98.8%、18.1%　平成30年度：98.8%、18.2%			

平成27年度

基本政策	10　健全な行財政運営の確立
施策	30　行政サービスの向上と効率経営
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。
関連課名	総務課、人口増政策課、管財課、財政課、税務課

基本計画	7　国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。			
主管部課	部名	総務部	課名	管財課

実施スケジュール		H27 （決算額）	H28 （当初予算額）	H29 （予定額）
	取組内容	公契約条例の施行	・社会保険等未加入業者の入札参加排除	
	経費（千円）			

指標名	区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
一般競争入札の割合（%）	目標		19.2	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0
	実績	ー	19.2					
（指標及びH32目標値の設定理由） 入札制度の改正により一般競争入札割合の3%増を目指す	目標数値の達成度 単年度		100%					
	目標数値の達成度 最終年度		87%					

H27取組状況	公契約条例を施行しました。
課題と今後の取組	公契約条例の施行による労働環境の改善を図ります。 一般競争競争入札の機会拡大により競争性を高め、工事品質の向上を図ります。

自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年（H27）	最終（H32）		
	②実行中	A：予定通り進行	100%	87%	B：目標を達成	②継続

実施計画		H28 （予算額（補正含む））	H29 （予定額）	H30 （予定額）
	取組内容	社会保険等未加入業者の入札参加排除、入札参加資格登録の更新、最低制限価格の算出式見直し		
	経費（千円）			

変更する内容	
取り組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕	※指標・目標値等の概要を表示（変更時は変更前数値を（　）書き） （指標名）一般競争入札の割合 （定義）全入札件数に占める一般競争入札件数の割合 （根拠）入札実績 （担当者）管財課長 （目標値10年）当初（H22）：　現状：19.2%　5年後：22.0% （目標値3年）平成28年度：21.0%　平成29年度：22.0%　平成30年度：22.0%